

令和 8 年



とよたの消防

豊田市消防本部

Toyota City Fire Department



豊田市民の誓い

(前文)

わたくしたちは、七州をのぞむ美しい山河にかこまれ、輝かしい衣の里の歴史と伝統をうけつぎながら、明日に向かって伸びゆく豊田市の市民です。

(本文)

- 一. 緑をはぐくみ、川を大切にして、豊かな自然を愛しましょう。
- 一. スポーツに親しみ、教養を高めて、文化の向上につとめましょう。
- 一. 元気で働き、若い力をそだてて、幸せな家庭をつくりましょう。
- 一. 互いに助けあい、心の輪をひろげて、あたたかい町をつくりましょう。
- 一. いのちを尊び、きまりを守って、住みよい社会をつくりましょう。

「豊田市民の誓い -シンボルマーク-」

昭和53年3月、ふれあい豊かな地域社会づくりの目標として、市民共通の願いを5項目に託した「豊田市民の誓い」が誕生しました。

以後20余年を経過し、平成18年3月4日に開催された豊田市制55周年記念式典で、「豊田市民の誓い」の新シンボルマークが発表されました。

新シンボルマークは、市町村合併を機に、新しい市域の子どもを始め全市民に「市民の誓い」の理念を周知啓発し、前文と本文の5項目を市民生活と結び、実践活動の推進を図ることを目的としています。

「豊田市の花“ひまわり”の種をモチーフに、本文の5項目を明るいラインで表し、実践活動を通して、わたくしたち市民の手で、豊田市を未来に向かって育て伸ばそう」という意味を表しています。

◆◇◆<表紙写真> 中消防署に配備された新型はしご車 とよ中31 ◆◇◆

令和7年度に中署消防署へ新型はしご車を配備しました。中消防署のはしご車は、17年ぶりの更新となります。本車両は、最大35メートルまで伸長可能な大型はしご車で、豊田市消防本部に配備されているはしご車の中で最大規模を誇り、高層建物における災害対策において重要な役割を担います。

また、先端のバスケットが屈折する構造となっており、ビルが立ち並ぶ市街地においても、より柔軟で確実な活動が可能となっています。

はじめに

この年報は、令和8年4月1日現在における当市の状況と令和7年の当市における消防の現況及び火災等の発生状況等を統計的に収録し、今後の消防行政の効率的な運営に役立てるとともに、当市における消防の実態についてご理解を深めていただくことを目的として編集したものです。

なお、本書中の火災・救急・救助統計は、暦年をもって表し、予算関係及びその他の事項については、会計年度で表しています。

令和8年5月

豊田市消防本部

一 目 統 計

R8.4.1現在の数値（●印：R7年度の数値 ★印：R7年の数値）

<p>面積</p> <p>918.32km²</p> 	<p>人口 人口密度</p> <p>414,394人 451人/km²</p> <p>ミライのフツ－をつくらう</p>  <p>未来都市とよた</p>	<p>世帯数</p> <p>192,928世帯</p> 	<p>署所数</p> <p>4消防署 5分署 7出張所</p> 
<p>消防予算</p> <p>73億3,356万円 〔市民1人あたり17,697円〕</p> 	<p>消防職員数</p> <p>544人 〔市民762人に1人〕</p> 	<p>救急隊/救急救命士数</p> <p>18隊 / 163人</p> 	<p>消防団員数</p> <p>1,819人 〔市民227人に1人〕</p> 
<p>女性消防クラブ会員数</p> <p>92人</p> 	<p>少年消防クラブ会員数</p> <p>18,474人</p> 	<p>幼年消防クラブ会員数</p> <p>10,472人</p> 	<p>高校生消防クラブ会員数</p> <p>66人</p> 
<p>自主防災会の組織数</p> <p>319組織 〔組織率100%〕</p> 	<p>防火対象物●</p> <p>15,897棟</p> 	<p>危険物施設数●</p> <p>1,187施設</p> 	<p>防火危険物安全協会会員数</p> <p>315会員</p> 
<p>防災学習センター利用者数●</p> <p>23,645人 〔計 693,600人〕</p> 	<p>本部・署車両数 / 団車両数</p> <p>126台 / 127台</p> 	<p>消火栓 / 防火水槽</p> <p>5,738基 / 1,974基</p> 	<p>119番受信件数★</p> <p>29823件 〔17.6分に1件〕</p> 
<p>火災件数★</p> <p>165件 〔2.2日に1件〕</p> 	<p>救急件数★</p> <p>22,085件 〔24分に1件〕</p> 	<p>救助件数★</p> <p>349件 〔0.9日に1件〕</p> 	<p>出火原因★</p> <p>1位 たき火 〔34件〕</p> 

令和7年度（主な取組）

5月13日（南）消防2課×高美こども園合同訓練

高美こども園と合同で消防訓練を実施し、こどもたちに火の危険性について伝えました。



5月30日 第48回全国消防職員意見発表会

広島県で開催された全国消防職員意見発表会に下山出張所森久士長が出場しました。



6月15日 第3回豊田市消防団警防技術交流会

豊田市消防団が日頃の訓練成果を発揮し、警防技術を競い合う訓練大会を開催しました。



6月27日 盲導犬救急対応訓練

中部盲導犬協会の指導のもと、救急事案における盲導犬及びユーザーへの対応を学びました。



6月～10月 エイドステーションの運用開始

暑熱環境下で活動する消防職員の熱中症対策としてエイドステーションの運用を開始しました。



8月30日 第53回全国消防救助技術大会

兵庫県で開催された全国消防救助技術大会に南消防署引揚救助の隊員が出場しました。



8月31日 多数傷病者対応訓練

豊田スタジアムにて名古屋グランパス関係者及び豊田警察署と合同で訓練を実施しました。



9月1日～30日 中学生に向けた初期消火指導

足助消防署管内の中学生を対象として消火栓を使用した消火体験などの指導をしました。



10月4日 足助消防署ふれあい広場メタバースとよた

どこでも誰でも参加可能な消防本部初の取組として、仮想空間での防火イベントを開催しました。



11月14日 秋の全国火災予防週間×こども園

秋の全国火災予防週間に、こども園と合同で防火散歩を実施しました。



12月2日 三河中核市女性消防職員合同研修会

女性消防職員のキャリアや仕事について3市（豊橋市、岡崎市、豊田市）で意見交換会を実施しました。



12月18日 消防用ロボットの導入

火災や特殊な災害現場で要救助者の捜索等が実施可能な消防用ロボットを導入しました。



1月10日 豊田市消防出初・観閲式

とよた消防フェスタと同日開催され、様々な催しで会場を盛り上げました。



1月25~29日 文化財防火訓練

「文化財防火デー」に合わせて、市内の3施設（清寿院・法興寺・永福寺）で防火訓練を実施しました。



3月5日 トイレ機能を搭載した多機能車両の導入

災害発生時に活躍するトイレ機能を搭載した「多機能車両サクラ」を導入しました。



3月7日 南消防フェスタ

防火・防災知識の向上を図ることを目的に、南消防フェスタを開催しました。



目 次

〔豊田消防の現況〕

I. 豊田消防のあらまし

豊田市の概要	1
消防のあゆみ	2
消防本部・消防署の組織図	5
消防本部の分掌事務	6
消防署の分掌事務	8
消防職員配属状況	9
消防の当初予算	10

II. 消 防 施 設

消防本部施設の概要	11
● 消防本部・署所の配置図	12
消防車両の配置	13
消防水利	14
地震対策済防火水槽の設置	14
通信施設	15

III. 火 災

火災発生状況	17
出火件数及び損害額等	18
署所別出火件数	19
火災種別出火件数	19
四季別出火件数	20
月別出火件数	20
時間別出火件数	21
出火原因別出火件数等	22
発火源別出火状況	23
その他の出動件数	24

IV. 救 急 ・ 救 助

救急体制	25
救急出動件数・搬送人員	25
救急事故種別件数	26
救急隊員応急処置実施項目	26
署所別救急出動件数	27

月別救急出動件数	27
時間帯別救急出動件数	28
年齢区分別疾病分類別搬送人員	28
年齢区分別傷病程度別搬送人員	29
応急手当普及指導講習実施回数	29
救助体制	30
緊急消防援助隊	30
救助出動状況	30

V. 火災予防対策

火災予防	31
住宅防火対策	31
広報活動	31
防火管理者	33
自衛消防訓練	34
防災管理者	34
防災学習センター	36
防火対象物数	38
消防用設備等の点検報告制度	38
防火対象物定期点検報告制度	39
防災管理点検報告制度	39
消防同意・消防用設備等の検査件数	40
危険物施設設置数	41
圧縮アセチレンガス等の設置状況	42
指定可燃物等及び少量危険物の設置状況	42
製造所等に対する立入検査の状況	42

VI. 災害対策

防災	43
自主防災組織数	43
水防倉庫	43
● 水防倉庫の配置図	44
応援協定	45
消防用ドローンの活用状況	46
ヘリポートの設置	46
● ヘリポート配置図	47

Ⅶ. 消 防 団

豊田市消防団組織図	4 9
消防団格納庫	5 0
消防団車両・小型動力ポンプ等	5 4
● 消防団機械器具の配置図	5 6
消防団協力事業所表示制度	5 6
豊田市消防団応援の店	5 6
豊田市学生消防団活動認証制度	5 6

Ⅷ. 消防音楽隊・関係団体

消防音楽隊	5 7
関係団体	5 8
防火危険物安全協会	5 8
女性消防クラブ	5 8
少年消防クラブ	5 9
幼年消防クラブ	5 9
高校生消防クラブ	6 0

〔 統 計 資 料 〕

計 画

豊田市消防ビジョン ～第4次豊田市消防整備基本計画～	6 1
----------------------------	-----

財 務

一般会計予算と消防予算の推移	6 2
歳入当初予算額（消防本部）の推移	6 2
歳出当初予算額（消防本部）の推移	6 2
人口・世帯当たりの消防予算の推移	6 2

人 事

消防職員の年齢	6 3
消防職員の勤務年数	6 4
消防職員の採用状況	6 5
消防職員の資格等取得保有状況	6 5
研修実施状況	6 6
研修実施状況（消防大学校・救急救命士養成所・愛知県消防学校）	6 8

指 令

119番回線別受信状況	6 9
市民案内利用状況	6 9

口頭指導状況	69
119番誤報件数	69

火 災

月別火災状況	70
曜日別火災状況	72
時間別火災状況	72
火災種別出火原因	74
出火状況及び損害額の推移	76
主な火災の概要	77
高速道路火災出動状況の推移	78
その他の出動状況（警戒・探索・その他）	78

救 急

月別救急出動状況	79
曜日別救急出動状況	79
時間帯別救急出動状況	79
署所別・種別救急出動状況	80
救急出動状況の推移	80
発生場所別救急搬送人員	81
年齢別・性別搬送人員	81
傷病程度別搬送人員	82
医療機関告示開設別搬送人員	83
年齢別搬送人員の推移	84
高速道路救急出動状況の推移	84

救 助

救助出動状況	85
月別救助出動状況	86
救助出動状況の推移	86
火災・救急・救助件数暦年表	87

予 防

防火対象物査察実施状況	88
消防用設備等点検状況	89
中高層建築物の現況	90
消防同意件数	91
危険物規制対象物	92

消 防 団

消防団員職務報酬	9 3
消防団員出動報酬	9 3
消防団員費用弁償	9 3
消防団員退職報償金	9 3
豊田市消防団編成表	9 4

そ の 他

出動基準	9 6
消防水利状況	9 8
月別気象状況	9 9

<参 考>

豊田消防歌	1 0 0
「賛歌」豊田消防	1 0 1

〔豊田消防の現況〕

I. 豊田消防のあらまし



◆ 豊田市の概要

豊田市は、「クルマのまち」として世界にその名を知られる産業都市でありながら、四季を通じて変わりゆく美しい自然に囲まれた広大な都市で、梨や桃が県内でも有数の収穫量を誇るなど自然の恵み豊かな地域です。昭和26年3月に挙母市として市制施行以来、自動車産業の発展とともに急速に成長し、平成17年4月の「平成の大合併」では、経済圏や日常生活圏が一体となっている矢作川流域7市町村が一つとなり、新豊田市が誕生しました。

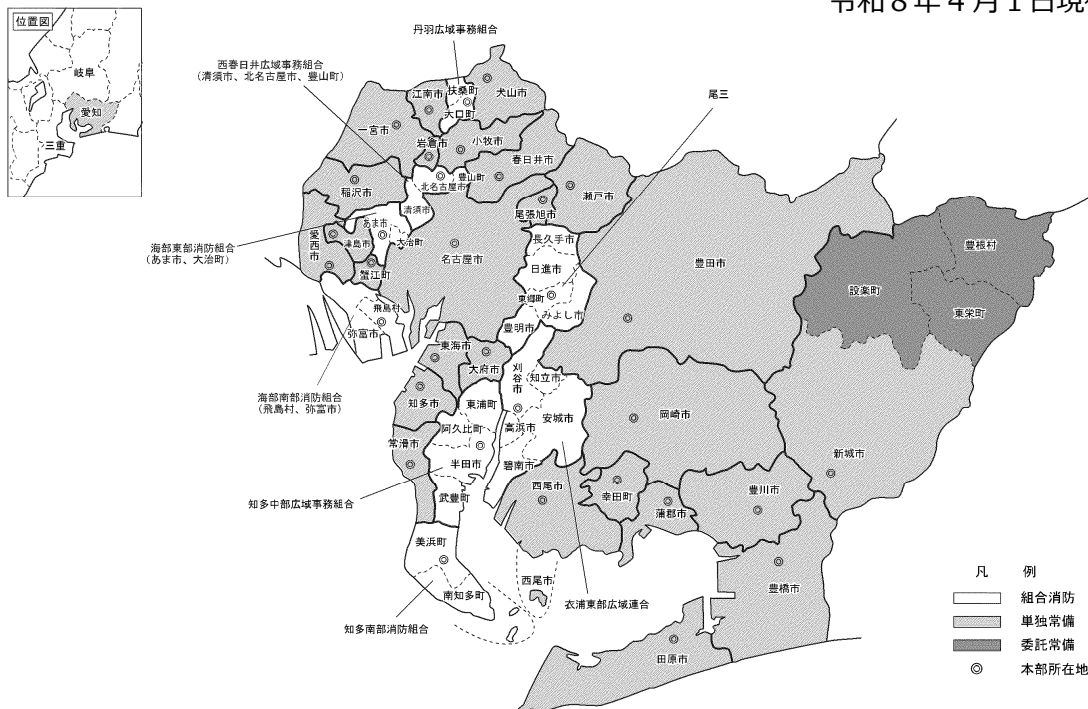
現在人口約41万4千人、面積は918.32km²で愛知県のほぼ中央に位置し、長野県に源を発する矢作川が南北に流れ、市域は、東・北部の三河高原を形成する山間部と、西・南部の西三河平野につながる丘陵・平野部からなり、標高3.2mから1,240mに至る変化に富んだ地形条件を有しています。

豊田市は「第9次豊田市総合計画」の将来都市像に、「つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた」を掲げ、「つながり」によって、多様な価値や可能性を創出するまちや「チェンジ(変化)」と「チャレンジ(挑戦)」によって、しなやかに変化し続けるまちを目指しております。また「W E L O V E とよた」条例を制定し、誰もが幸せを感じる「わくわくする世界一楽しいふるさと」を目指しております。

- 位置 東経137度9分24秒、北緯35度5分00秒
- 面積 918.32km² (東西49.36km、南北33.37km)
- 世帯数 192,928世帯
- 人口 414,394人 (総人口)
- 人口密度 451人/km² (出典「豊田市統計書」等)

愛知県

令和8年4月1日現在



◆ 消防のあゆみ

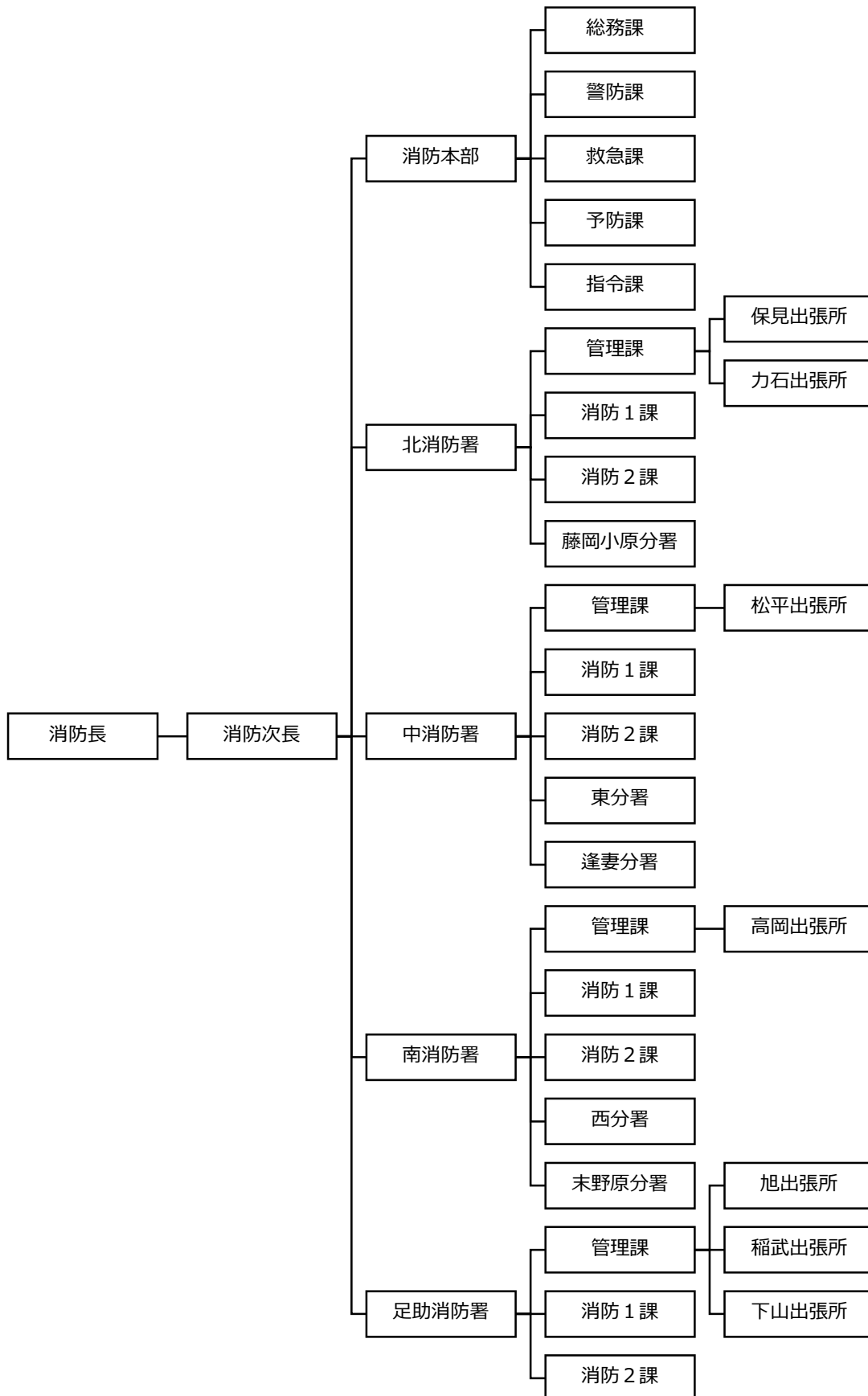
徳川中期寛延年	各村の庄屋に大うちわ、水桶、とび口、刺子等の消火器具が備えられた。
明治初期	下拳母に有志が集まって「桜組」と称する消防組が編成されたのをはじめ、各集落に逐次消防組を編成
明治中期	県の奨励によって公設消防発足の気運が起こり、統制ある団体に改善されるとともに、鉄製腕用ポンプ等を装備
1947 (昭和 22)	消防団令の公布により、警防団 7 分団を消防団 1 7 分団 6 5 0 人に改組
1956 (昭和 31)	拳母市消防本部（庶務係、消防係、予防係、整備係）・署が発足し、職員 2 4 人、消防車 2 台で業務を開始 西加茂郡高橋村と合併し、消防団が 2 6 分団 1, 0 5 1 人となる。
1957 (昭和 32)	消防団再編成を行い、2 6 分団 7 9 6 人となる。
1959 (昭和 34)	市名変更に伴い、豊田市消防本部・署となる。 消防団を再編成統合し、9 分団 7 8 0 人となる。 第 1 期小型化整備 5 か年計画を樹立、全額市費配備に踏み切る。
1963 (昭和 38)	第 1 期小型化整備 5 か年計画完了、小型動力ポンプ 2 0 台を消防団に配備 救護隊を設置、救急車 1 台を購入し救急業務を開始する。
1964 (昭和 39)	碧海郡上郷町と合併し、消防団再編成を行い 1 2 分団 6 9 6 人となる。 第 2 期機械力の小型化整備 5 か年計画を樹立
1965 (昭和 40)	高岡町と合併し、消防団が 1 7 分団 8 7 2 人となる。
1966 (昭和 41)	南部出張所を開設、消防・救急業務を開始
1967 (昭和 42)	西加茂猿投町と合併し、2 4 分団 1, 1 6 8 人となる。
1969 (昭和 44)	第 2 期小型化整備 5 か年計画完了、小型動力ポンプ 1 7 台を消防団に配備 消防長専任となる。 消防団を再編成統合し、1 5 分団 9 5 0 人となる。 美山出張所を開設、消防・救急業務を開始
1970 (昭和 45)	東加茂松平町と合併し、1 7 分団 1, 1 6 6 人となる。 消防本部に課制（庶務課、消防課、予防課）をしき、3 課 1 署 2 出張所とし、 本署に警備第 1 係、警備第 2 係を新設 消防本部・署の新庁舎を拳母町に移転新築し、業務を開始
1971 (昭和 46)	消防本部消防課に教養係を新設
1972 (昭和 47)	四郷出張所を開設、消防・救急業務を開始
1974 (昭和 49)	女性消防士 2 人を初採用 大林出張所を開設、消防・救急業務を開始 予防課予防を危険物係と予防係に再編成
1976 (昭和 51)	本署に通信第 1 係、通信第 2 係を新設 消防音楽隊発足
1977 (昭和 52)	松平出張所を開設、消防・救急業務を開始 予防課に建築物係、本署に指導調査係を新設
1978 (昭和 53)	消防本部の組織を変更し、次長を置く。
1979 (昭和 54)	高岡出張所を開設、消防・救急業務を開始 消防署の組織を変え、署所を中部・南部・西部・北部地区に区分し、本署に特別消防第 1 係、特別消防第 2 係を新設
1980 (昭和 55)	高橋分署を開設、消防・救急業務を開始 「救護隊」を「救急隊」に改名
1982 (昭和 57)	消防団の再編成を行い、1 7 分団 5 5 部 1, 0 3 6 人となる。 保見出張所を開設、消防・救急業務を開始 通信指令室を新設
1983 (昭和 58)	予防課に査察指導係を新設し、高橋分署に警防第 1 係、警防第 2 係を新設

1984 (昭和 59)	大林出張所に警防第 1 係、警防第 2 係を新設
1985 (昭和 60)	南部出張所と四郷出張所にそれぞれ警防第 1 係、警防第 2 係を新設 地図検索装置を導入
1986 (昭和 61)	美山出張所と松平出張所にそれぞれ警防第 1 係、警防第 2 係を新設
1987 (昭和 62)	南部出張所を移転新築し、南分署が開設 消防波無線前進基地を南分署に設置
1988 (昭和 63)	保見出張所と高岡出張所に警防第 1 係、警防第 2 係を新設
1990 (平成 2)	救急波無線前進基地を高岡出張所に設置
1992 (平成 4)	力石出張所を開設、消防・救急業務を開始、消防波・救急波前進基地を設置
1993 (平成 5)	動態的組織の導入に伴い担当制を設け、係制度を廃止
1994 (平成 6)	消防本部(署)新庁舎を長興寺に移転新築し、同時に消防緊急情報システムを導入、防災学習センターを開設
1996 (平成 8)	消防団の再編成を行い、18分団61部1,036人となる。 藤岡小原分署を開設、藤岡町・小原村の消防事務の受託業務を開始 四郷出張所を四郷分署に再編成
1997 (平成 9)	美山出張所を移転新築し、西分署が開設 高橋分署を東分署、四郷分署を北分署に改名し、分署名を東西南北の方位名称とする。 消防本部敷地内にヘリコプター場外離着陸場を整備
1998 (平成 10)	消防本部庶務課に企画教養担当と経理担当、本署に救助警防担当及び救急担当を新設
1999 (平成 11)	消防本部消防課に消防担当と施設担当、南分署に救助警防担当及び救急担当を新設
2000 (平成 12)	消防署を1署から3署体制にし、消防署を中消防署、北分署を北消防署、南分署を南消防署に昇格、各署に管理担当及び消防担当、消防本部に指令課を新設 消防本部庶務課の企画教養担当を企画研修担当に改名
2001 (平成 13)	消防署に課制を導入し、1本部、3消防署、14課体制となる。
2002 (平成 14)	逢妻出張所を開設、1本部3消防署3分署6出張所となる。 庶務課の経理施設担当を消防団・施設担当に改名 消防課を警防救急課に改名し、警防救急担当と指揮調査担当を新設
2003 (平成 15)	北消防署を移転新築 警防救急課に装備担当を新設 救急救命士を全施設に配置(23人) 消防団に女性が入団(8月1日12人任命) カラーガード隊「ひまわりフェアリーズ」を結成
2004 (平成 16)	公募により豊田市消防音楽隊市民演奏者9人を初採用
2005 (平成 17)	松平出張所を移転新築 西加茂郡藤岡町、小原村、足助町、下山村、旭町及び稲武町と合併し、消防団員数2,174人となり、合併地域の支所に支所消防隊を設置 また、あすけ地域消防組合消防本部を編入し、職員427人となる。 稲武出張所を稲武支所へ移転
2006 (平成 18)	大林出張所を移転新築し、末野原分署が開設 防災学習センターをリニューアル
2007 (平成 19)	支所消防隊廃止
2008 (平成 20)	北・中消防署消防1・2課に指揮調査担当を新設 予防課を危険物、予防査察、建築物担当の3担当に編成
2009 (平成 21)	中消防署消防1・2課に救助担当を新設し、高度救助隊(SRT:スーパーレスキュー豊田)を編成 南消防署消防1・2課に指揮調査担当を新設

豊田消防のあらし

	庶務課の消防団・施設担当を消防施設・消防団担当に改名
2010（平成 22）	庶務課の消防施設・消防団担当を施設経理担当、消防団担当の 2 担当に編成 警防救急課の警防救急担当を救急救助担当、装備担当を水利車両担当に改名 足助消防署消防 1・2 課に指揮調査担当を新設 消防団に機能別団員制度を導入（40 人任命）
2011（平成 23）	東日本大震災により緊急消防援助隊出動（宮城県亘理町、山元町） （4 月 24 日まで延べ 45 日間、40 隊 154 人派遣） 防災防犯課から矢作川豊田防災ステーションを管理移管
2012（平成 24）	逢妻出張所を分署に昇格 警防救急・指令担当専門監を配置
2013（平成 25）	高岡出張所を移転新築 稲武出張所を移転新築（敷地内にヘリコプター場外離着陸場を整備） 庶務課を総務課に改名 藤岡小原分署の予防管理担当を廃止 東分署、逢妻分署、西分署、末野原分署を課扱いに改編 消防吏員採用の消防長が就任 総務担当管理監を配置
2014（平成 26）	所属に副課長又は副分署長を配置 各業務を管理する長として担当長を配置 御嶽山の噴火により緊急消防援助隊出動（長野県王滝村）（2 隊 10 人派遣）
2016（平成 28）	消防団の機能別団員に学生機能別団員を追加（40 人任命） とよた協力防人隊の発足（63 人任命）
2017（平成 29）	高校生消防クラブ発足 足助消防署を改修し、敷地内に 7 種類の救助訓練施設を新設
2018（平成 30）	平成 30 年 7 月豪雨により緊急消防援助隊出動（岡山県倉敷市真備町） （2 隊 8 名派遣）
2019（令和元年）	予防課の予防担当を予防推進担当に改名 南署に消防用ドローンを導入
2021（令和 3）	静岡県熱海市土石流災害により緊急消防援助隊出動（静岡県熱海市） （2 隊 10 人派遣）
2023（令和 5）	指令課を 2 担当制から 3 担当制へ移行（令和 5 年 1 月～）
2024（令和 6）	能登半島地震により緊急消防援助隊出動（石川県輪島市）（28 隊 119 人派遣） 北消防署及び南消防署の救助警防担当及び救急担当を警防救急担当及び救助担当に改編 超高齢社会の進展による救急需要の増加に対応するため、日勤救急隊を新設 蒲郡市土砂災害により愛知県消防広域応援基本計画に基づく出動（蒲郡市） （3 隊 15 名派遣） 奥能登豪雨により緊急消防援助隊出動（石川県輪島市）（5 隊 16 人派遣）
2025（令和 7）	地域防災力向上のため、消防団事務を防災対策課へ移管 総務課を政策人事担当・人材活躍推進担当及び消防施設・調整担当に改編 火災や特殊な災害現場で要救助者の捜索等が実施可能な消防用ロボットの導入
2026（令和 8）	中消防署の警防担当及び救助担当を特別消防救助担当に改編。SRT：スーパーレスキュー豊田を SRT：特別消防救助隊に改名 警防救急課を警防課と救急課に改編、警防課に消防活動担当及び消防整備担当、救急課に救急企画担当及び救命推進担当を編成

◆ 消防本部・消防署の組織図



◆ 消防本部の分掌事務

● 総務課

- (1)公印の管理に関する事。
- (2)文書の収受に関する事。
- (3)消防行政に係る企画立案及び調整に関する事。
- (4)消防政策会議等に関する事。
- (5)消防本部の所管に係る予算及び決算の総括に関する事。
- (6)消防施設(消防団施設を除く。)の整備、管理等に係る計画に関する事。
- (7)消防施設用地(消防団施設用地を除く。)の取得及び管理に関する事。
- (8)消防施設(消防団施設を除く。)の整備に関する事。
- (9)消防施設(消防団施設を除く。)の維持管理に関する事。
- (10)訓令の公表に関する事。
- (11)職員の研修に関する事。
- (12)職員の人事及び服務に関する事。
- (13)消防職員委員会に関する事。
- (14)職員の福利厚生に関する事。
- (15)安全衛生委員会の庶務及び職員の公務災害補償に関する事。
- (16)消防表彰に関する事。
- (17)公用車の安全運転推進に関する事。
- (18)公用車の事故処理等に関する事。
- (19)消防団員への技術指導、消防団との合同訓練、消防団と連携する災害対応等に関する事。
- (20)水防業務の管理に関する事。
- (21)水防資機材の整備に関する事。
- (22)消防用燃料に関する事。
- (23)前各号に掲げるもののほか、他の課の所管に属さない事。

● 警防課

- (1)消防相互応援協定に関する事。
- (2)緊急消防援助隊に関する事。
- (3)消防用車両及び消防用資機材の整備に関する事。
- (4)消防用資機材の取扱技術の指導に関する事。
- (5)消防活動の研究、対策等に関する事。
- (6)消防活動の基準等に関する事。
- (7)警防及び救助に係る業務の高度化に関する事。
- (8)消防統計(次条第6号及び第9条第20号の消防統計を除く。)の管理に関する事。
- (9)消防水利施設の整備及び維持管理に関する事。
- (10)ヘリポートの整備及び維持管理に関する事。
- (11)消防指揮本部の編成及び運営に関する事。
- (12)消防部隊の運用及び非常招集に関する事。
- (13)行事等における消防、救急等の警備基準に関する事。

● 救急課

- (1)救急資機材の整備に関する事。
- (2)救急資機材の取扱技術の指導に関する事。
- (3)救急活動の研究、対策等に関する事。
- (4)救急活動の基準等に関する事。
- (5)救急に係る業務の高度化に関する事。
- (6)消防統計(救急に係るものに限る。)の管理に関する事。
- (7)応急手当の普及及び啓発に関する事。
- (8)救急の業務及び活動の報告に関する事。

● 予防課

- (1)火災予防の広報及び啓発活動に関すること。
- (2)防火管理者及び防災管理者の育成指導に関すること。
- (3)防火協力団体の育成指導に関すること。
- (4)自衛消防組織等の育成指導に関すること。
- (5)危険物製造所等の許認可、検査及び指導に関すること。
- (6)液化石油ガスに関すること。
- (7)少量危険物の保安に関すること。
- (8)危険物施設の査察に関すること。
- (9)危険物取扱者の育成指導に関すること。
- (10)毒劇物の届出に関すること。
- (11)建築確認申請の同意事務に関すること。
- (12)消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- (13)豊田市火災予防条例(昭和 48 年条例第 51 号)に規定する届出に関すること。
- (14)防火対象物の査察に関すること。
- (15)防火対象物の点検、報告、特例認定等に関すること。
- (16)消防用設備等の点検及び報告に関すること。
- (17)防火基準適合表示に関すること。
- (18)煙火の消費許可、検査及び指導に関すること。
- (19)火災予防事務の統一化に関すること。
- (20)消防統計(火災に係るものに限る。)の管理に関すること。
- (21)防災学習センターの運営管理に関すること。
- (22)住宅の防火及び防災に関すること。

- (23)火災に関する警報又は林野火災に関する警報若しくは注意報の発令に関すること。
- (24)消防音楽隊に関すること。
- (25)その他火災予防事務に関すること。

● 指令課

- (1) 消防通信の運用及び管理に関すること。
- (2) 119番通報の受信及び出動指令に関すること。
- (3) 災害等の消防活動支援及び情報等の収集に関すること。
- (4) 消防指令システムの運用及び管理に関すること。
- (5) 消防救急デジタル無線の運用及び管理に関すること。
- (6) 無線従事者の選任及び解任に関すること。
- (7) 気象観測に関すること。

◆ 消防署の分掌事務

● 管理課

- (1) 公印の管理及び消防署の庶務に関する事。
- (2) 消防表彰に関する事。
- (3) 消防団との連携に関する事。
- (4) 火災予防の啓発及び広報に関する事。
- (5) 防火対象物の査察に関する事。
- (6) 豊田市火災予防条例(昭和48年条例第51号)に規定する届出に関する事。
- (7) 消防施設の維持管理に関する事。
- (8) 消防車両の維持管理及び燃料に関する事。
- (9) 応急手当の普及及び啓発に関する事。

● 消防1課、消防2課

- (1) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (2) 火災の防圧警戒及び水防活動に関する事。
- (3) 救急及び救助の業務に関する事。
- (4) 非常警戒に関する事。
- (5) 地水利調査に関する事。
- (6) 研修及び訓練に関する事。
- (7) 火災、救急、救助等の活動の報告に関する事。
- (8) 消防団員への技術指導、消防団との合同訓練、消防団と連携する災害対応等に関する事。
- (9) 火災予防の啓発及び広報に関する事。
- (10) 防火対象物の査察に関する事。
- (11) 防災証明書等の発行に関する事。

- (12) 豊田市火災予防条例に規定する届出に関する事。
- (13) 防災施設の管理及び防災指導に関する事。
- (14) 消防資機材の維持管理に関する事。
- (15) 応急手当の普及及び啓発に関する事。
- (16) その他警防に関する事。

● 分署、出張所

- (1) 火災の防圧警戒及び水防活動に関する事。
- (2) 救急及び救助の業務に関する事。
- (3) 非常警戒に関する事。
- (4) 地水利調査に関する事。
- (5) 研修及び訓練に関する事。
- (6) 火災、救急、救助等の活動の報告に関する事。
- (7) 消防団員への技術指導、消防団との合同訓練、消防団と連携する災害対応等に関する事。
- (8) 火災予防の啓発及び広報に関する事。
- (9) 防火対象物の査察に関する事。
- (10) 豊田市火災予防条例に規定する届出に関する事。
- (11) 防災施設の管理及び防災指導に関する事。
- (12) 消防資機材の維持管理に関する事。
- (13) 応急手当の普及及び啓発に関する事。
- (14) その他警防に関する事。

◆ 消防職員配属状況

令和8年4月1日

区 分	職 名	消 防 吏 員							合 計	毎 日 勤 務 者	隔 日 勤 務 者	消 防 職 員 総 数	
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長					消 防 士
合 計		1	8	38	65	119	144	97	72	544	106	438	544
消 防 本 部	小 計	1	4	13	10	21	42			91	70	21	
	消 防 長	1								1	1		
	消 防 次 長		1							1	1		
	管 理 監		1							1	1		
	消 防 統 括 担 当 専 門 監		1							1	1		
	予 防 統 括 担 当 専 門 監		1							1	1		
	総 務 課			2	2	3	7			14	14		
	警 防 課			2	1	4	4			11	11		
	救 急 課			2	1	4	7			14	14		
	予 防 課			2	3	6	11			22	22		
指 令 課			5	3	4	13			25	4	21		
足 助 消 防 署	小 計		1	5	13	25	44			88	6	82	
	消 防 署 長		1							1	1		
	管 理 課			1	1	2	1			5	5		
	消 防 1 課			2	3	4	8			17		17	
	消 防 2 課			2	3	4	8			17		17	
	旭 出 張 所				2	4	10			16		16	
	稲 武 出 張 所				2	5	9			16		16	
下 山 出 張 所				2	6	8			16		16		
北 消 防 署	小 計		1	6	13	23	69			112	8	104	
	消 防 署 長		1							1	1		
	管 理 課			1	1	3	1			6	6		
	消 防 1 課			2	3	5	16			26		26	
	消 防 2 課			2	3	6	15			26		26	
	藤 岡 小 原 分 署			1	2	4	18			25	1	24	
	保 見 出 張 所				2	2	10			14		14	
力 石 出 張 所				2	3	9			14		14		
中 消 防 署	小 計		1	7	15	26	77			126	10	116	
	消 防 署 長		1							1	1		
	管 理 課			1	1	2	3			7	7		
	消 防 1 課			2	4	7	15			28		28	
	消 防 2 課			2	4	7	15			28		28	
	東 分 署			1	2	4	18			25	1	24	
	逢 妻 分 署			1	2	4	16			23	1	22	
松 平 出 張 所				2	2	10			14		14		
南 消 防 署	小 計		1	7	14	23	78			123	9	114	
	消 防 署 長		1							1	1		
	管 理 課			1	2	2	1			6	6		
	消 防 1 課			2	3	5	16			26		26	
	消 防 2 課			2	3	5	16			26		26	
	西 分 署			1	2	4	18			25	1	24	
	末 野 原 分 署			1	2	4	18			25	1	24	
高 岡 出 張 所				2	3	9			14		14		
派 遣 等	小 計					1	3			4	3	1	
	総 務 省						1			1	1		
	愛 知 県					1	1			2	2		
	豊 橋 市						1			1		1	

市長部局出向者及び再任用短時間勤務職員は職員数に含めない

出 向 市 長 部 局					2	5	1			8	8		
再任用短時間勤務職員						2				2	2		

◆ 消防の当初予算

令和8年度は、本市を取り巻く環境変化への的確な対応と将来のまちづくりを見据えた挑戦を進めるため、「ミライ実現戦略2030」を推進する取組及び市民生活の「安全・安心」を確保する取組を着実に推進することを基本的な考え方として、当初予算を編成しました。

一般会計当初予算の総額は 2, 1 1 8 億円、対前年度79億円の減です。

歳入では、市税が1, 1 4 8 億円、対前年度98億円の減、国庫支出金は310億円、対前年度19億円の減、市債は50億円、対前年度10億円の増としました。また、歳出では、普通建設事業費を341億円、対前年度109億円の減を計上し、将来のまちづくりに向け必要な施策に取り組んでまいります。

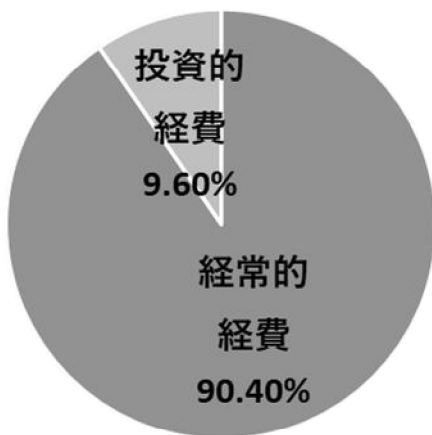
消防費については、一般会計全体の3.5%を占める73億3,356万円で、消防指令システムの更新完了等により、前年度と比較して46億9,353万円の減となっています。

その内容を性質別に分類すれば、人件費、物件費、補助費などの経常的経費は、66億2,981万円(90.4%)、そのうち義務的経費である人件費は54億9,598万円(74.9%)、消防車両の整備・防火水槽築造等の投資的経費は7億375万円(9.6%)です。

これらの予算は、市民が安心して暮らすことのできる安全なまちづくりのために消防施設の整備、消防体制の充実、消防車両・資機材の整備など消防防災体制の整備を推進するものです。

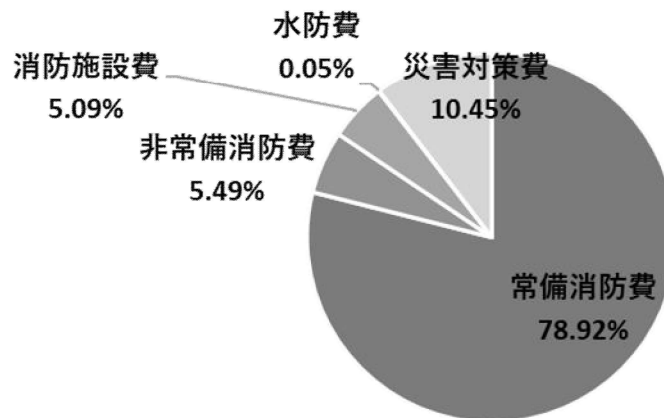
消防費当初予算額性質別割合

消防費 7,333,562千円



消防費当初予算額目別割合

消防費 7,333,562千円



5年間の当初予算額の推移

(千円)

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
7,099,583	7,151,362	8,646,641	12,027,091	7,333,562

Ⅱ. 消防施設



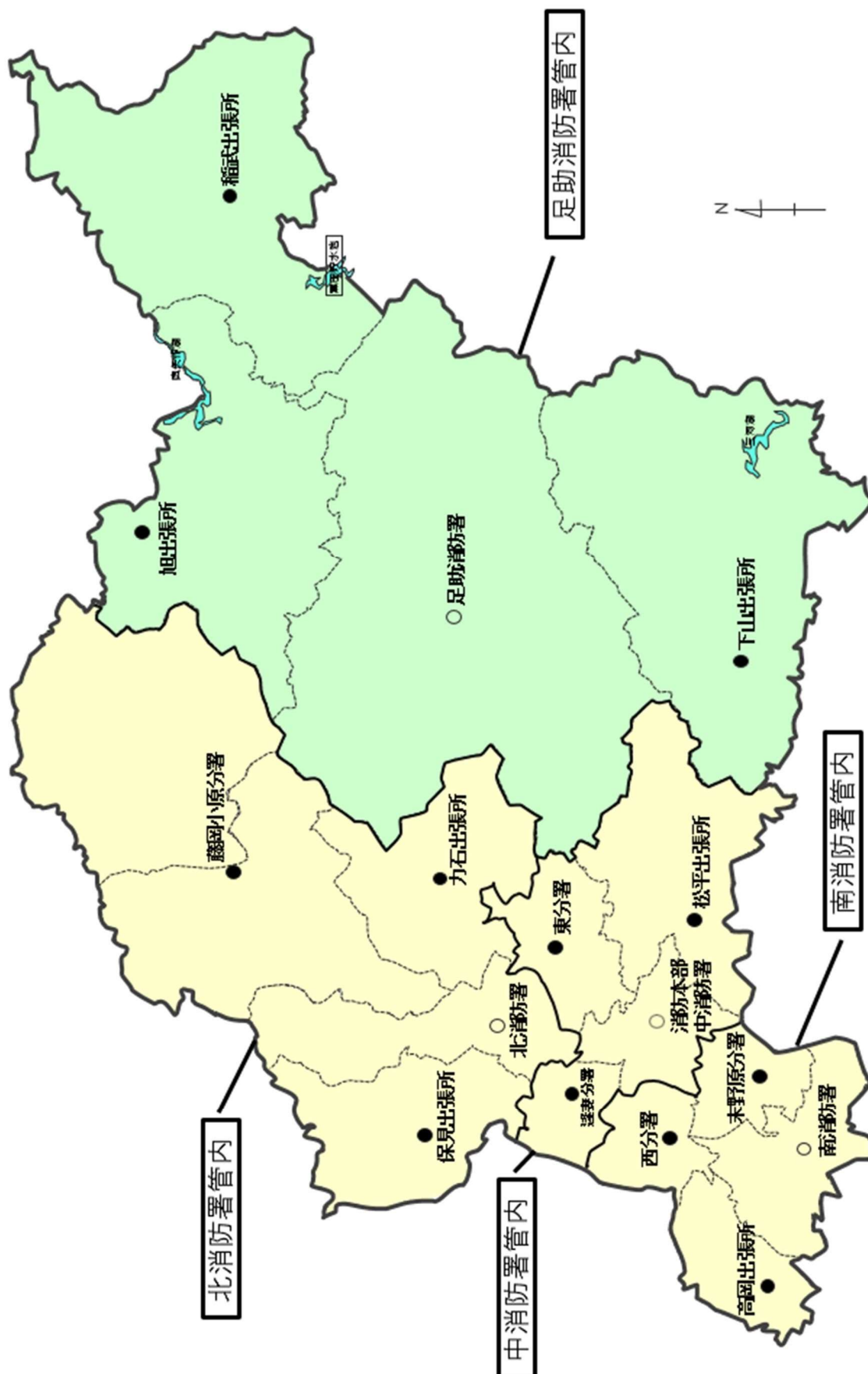
豊田市消防本部庁舎

◆ 消防本部施設の概要

令和8年4月1日現在

名称	所在地	開設年月	構造階数	床(1階)面積 m ²	延面積 m ²	敷地面積 m ²
北消防署	〒470-0373 四郷町森前南6番地1 TEL 43-0093	平成 15年4月	S造3階 他3棟	1,019.95 238.60	1,716.01 322.60	5,948.09
藤岡小原分署	〒470-0411 木瀬町松本1525番地1 TEL 76-5560	平成 8年4月	RC造2階 一部S造	499.75	763.75	2,977.95
保見出張所	〒470-0352 篠原町黒坪11番地2 TEL 43-1630	昭和 57年4月	RC造2階	226.42	354.09	1,181.30
力石出張所	〒470-0318 力石町井ノ上81番地2 TEL 42-1751	平成 4年4月	RC造2階 一部S造	317.44	504.94	1,678.80
消防本部 中消防署	〒471-0879 長興寺5丁目17番地1 TEL 35-9722	平成 6年10月	SRC造6階 他5棟	2,149.99 1,521.80	6,641.82 2,363.45	19,481.94
東分署	〒471-0003 岩滝町高入36番地1 TEL 87-0360	昭和 55年4月	RC造2階 一部5階	423.64	745.08	2,432.97
逢妻分署	〒471-0053 丸根町6丁目18番地2 TEL 36-2450	平成 14年4月	S造2階	531.52	621.48	2,098.00
松平出張所	〒444-2216 九久平町百々8番地7 TEL 86-1190	平成 17年4月	S造2階	363.76	511.46	2,992.47
南消防署	〒470-1216 和会町長田3番地1 TEL 25-9008	昭和 62年4月	RC造2階 一部5階 他2棟	895.34 348.30	1,895.53	5,270.29
西分署	〒471-0844 聖心町4丁目44番地5 TEL 25-2570	平成 9年4月	RC造2階 他1棟	379.02 45.82	554.90 45.82	2,441.54
末野原分署	〒470-1207 鴛鴦町新林127番地 TEL 25-3070	平成 18年4月	S造2階	569.47	692.84	2,453.63
高岡出張所	〒473-0921 高丘新町上平地135番地1 TEL 51-6111	平成 25年3月	S造2階	428.04	527.04	3,917.00
足助消防署	〒444-2407 桑田和町中貝戸6番地 TEL 62-0119	昭和 57年4月	RC造2階 一部5階 一部S造 他2棟	1,068.12 152.21	1,521.83 152.21	13,020.70
旭出張所	〒444-2832 浅谷町下万場303番地2 TEL 68-1119	平成 10年4月	S造1階	431.50	438.76	4,519.00
稲武出張所	〒441-2513 稲武町宮ノヒラ8番地7 TEL 82-3099	平成 25年3月	S造2階	494.90	592.13	3,659.98 (ヘリポート除く)
下山出張所	〒444-3242 大沼町大官屋敷92番地1 TEL 90-4119	平成 7年10月	S造1階	324.93	324.93	3,799.00

●消防本部・署所の配置図



◆ 消防車両の配置

消防車両等の機械力は、人員や消防水利とともに消防力の基本要素の一つであり、市民の安全を確保する上で不可欠なものです。消防機械等の技術革新に合わせ、災害現場において効率的に運用できる最新鋭の機器を導入し、迅速で的確な対応ができるように整備の拡充を図っています。

● 消防本部・消防署の車両配置

令和8年4月1日現在（台）

車種	署所																合計	
	本 部	北 消 防 署	藤 岡 小 原 分 署	保 見 出 張 所	力 石 出 張 所	中 消 防 署	東 分 署	逢 妻 分 署	松 平 出 張 所	南 消 防 署	西 分 署	未 野 原 分 署	高 岡 出 張 所	足 助 消 防 署	旭 出 張 所	稲 武 出 張 所		下 山 出 張 所
消防ポンプ自動車	(水槽無)		1			1				1	1				1			9
	(水槽有)※			1			1					1		1				
水槽付消防ポンプ自動車		1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	18
梯子付消防自動車		1				1				1								3
化学消防ポンプ自動車		1				1				1								3
水槽車		1				1				1								3
救助工作車		1				1				1				1				4
指揮車	1	2				2				2				2				9
広報車	4	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	21
資機材搬送車	2	2				1				1				1				7
救急自動車	1	2	1	1	1	2	1	2	1	2	1	1	1	2	1	1	1	22
小型救助車														1				1
小型動力ポンプ付積載車																1	1	2
支援車						1												1
ドローン車	1																	1
起震車	1																	1
その他車両	11	3				2				2				3				21
合計	21	16	4	3	3	17	4	4	3	14	4	4	3	14	4	4	4	126
小型動力ポンプ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16

※消防ポンプ自動車（水槽有）は、CD-I型に小型水槽を備えているもの

◆ 消防水利

消防水利は、消火栓、防火水槽、プール等の「人工水利」と河川、池、沼等の「自然水利」があります。市が整備している消防水利以外でも、「消防水利の基準」を満たした私有の水利施設については、所有者等の承諾を得て、「指定消防水利」として登録をしています。

消防水利の割合は、消火栓が72.9%と大部分を占めており、防火水槽は25.1%、指定消防水利は2.0%です。大規模な地震による水道管の破損等に対応できるよう、耐震性貯水槽の設置及び既設の防火水槽の地震対策に努めています。

災害時には、その機能が十分発揮されなければなりません。そのため、常時使用可能な状態を保つよう、位置、異常の有無、付近の障害物等を定期的に調査し、機能の保全に努めています。

●消防水利の推移

各年4月1日現在(基)

区 分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
消火栓(基準適合)	4,428	4,432	4,433	4,636	4,960
消火栓(基準非適合)	1,311	1,307	1,308	1,102	778
防火水槽40m ³ 以上	1,698	1,702	1,710	1,716	1,717
防火水槽40m ³ 未満	268	267	265	261	257
指定消防水利	155	153	155	158	157

◆ 地震対策済防火水槽の設置

大規模地震が発生した場合、消火栓や耐震性を有しない防火水槽の機能低下による消火用水の不足が懸念されます。震災時における消防活動に支障をきたさないよう、耐震性貯水槽を計画的に設置しています。また、耐震性を有しない防火水槽に対し、シート工法を施工して地震対策及び長寿命化を図っています。

100m³の耐震性貯水槽には同時多発火災が発生した場合に、地域で消火活動ができるよう、小型動力ポンプ(C-1級)及び消防ホースなどを併せて整備しています。

●地震対策済防火水槽の現有数

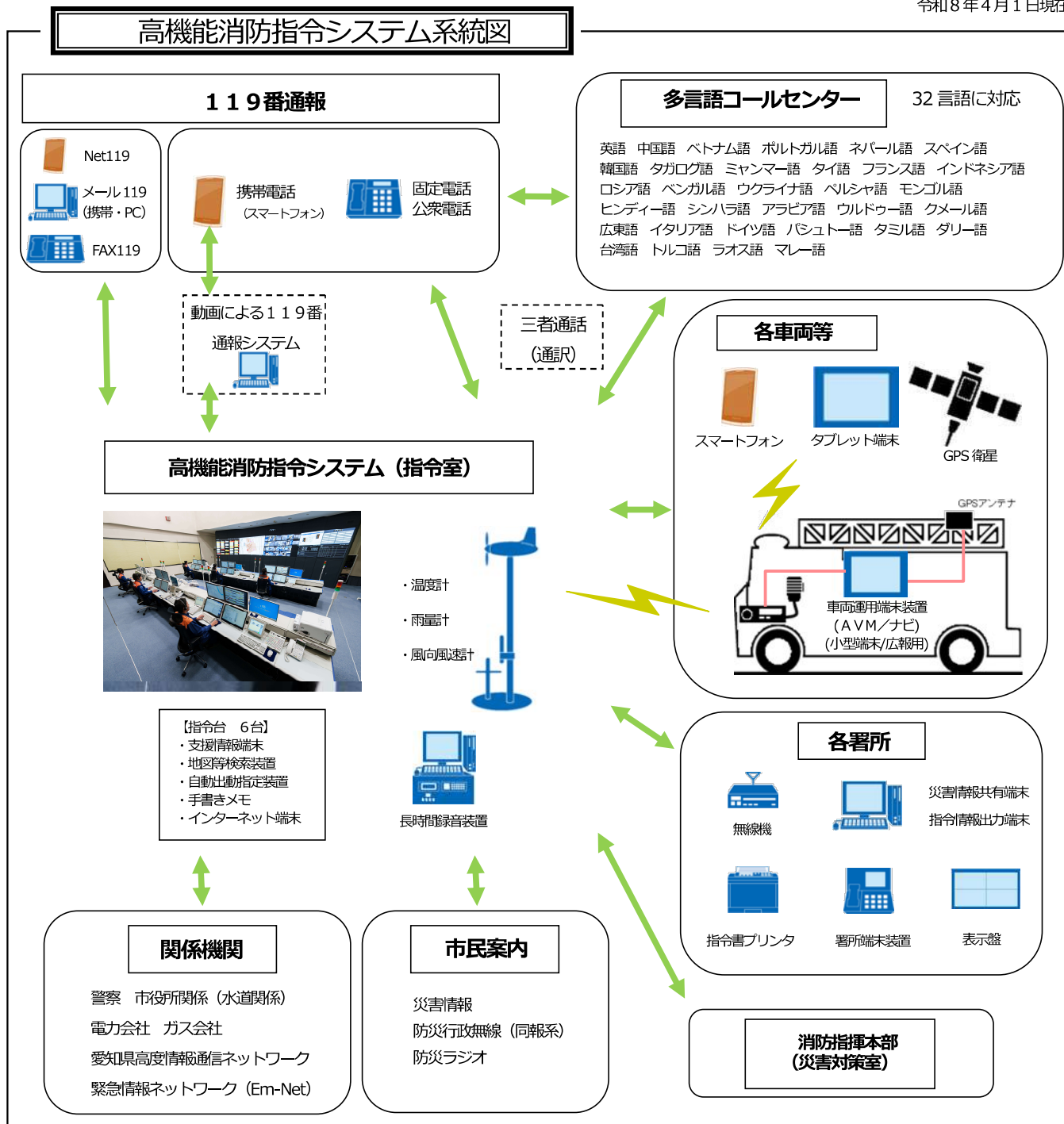
令和8年4月1日現在(基)

	40m ³ 以上100m ³ 未満	100m ³ 以上	合計
耐震性を有する防火水槽	614	43	657
シート工法施工済防火水槽	48	1	49

◆ 通信施設

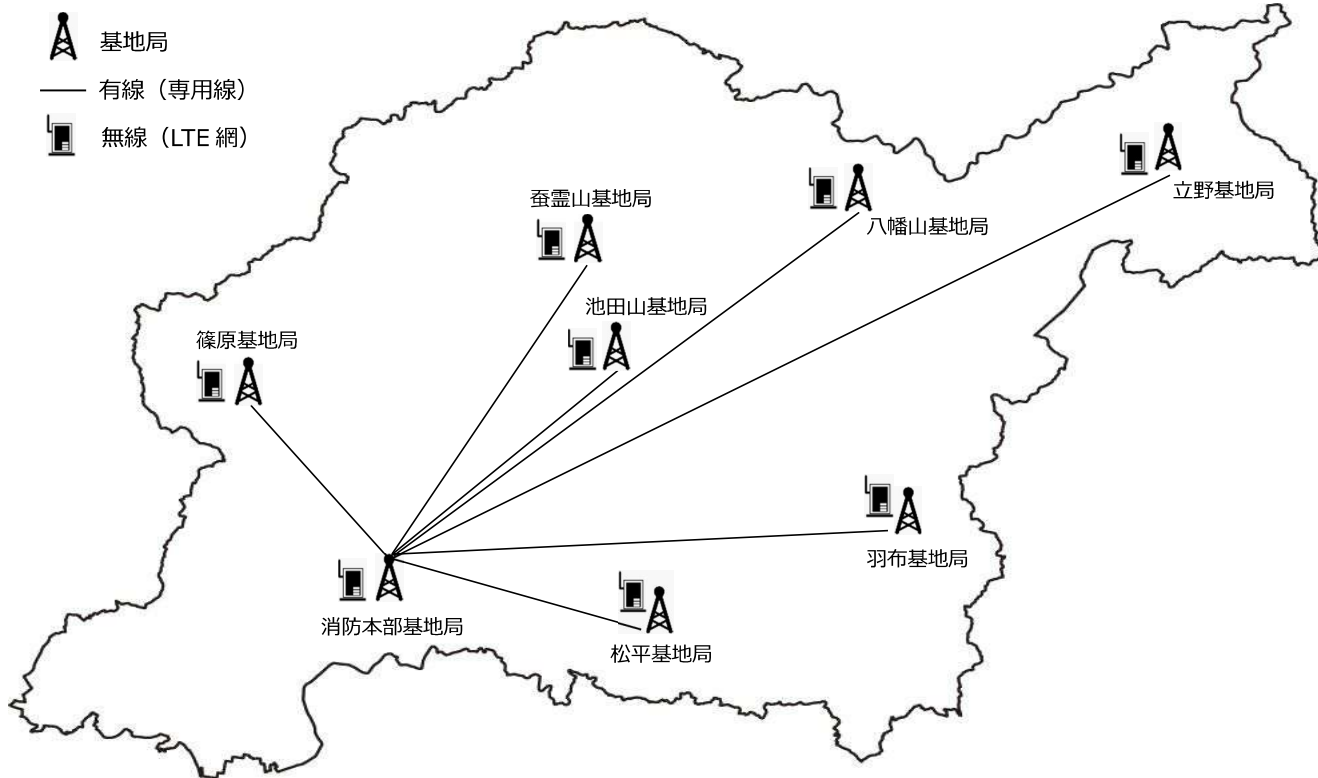
通信施設は、市民からの災害通報を最初に受信する施設であり、迅速確実な情報収集による出動指令を行うとともに、高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線システム等を駆使し、災害の状況や災害現場での活動状況などを把握して消防活動を円滑に支援する中枢的役割を担当しています。

令和8年4月1日現在



消 防 設 備

【消防救急デジタル無線ネットワーク】



【基地局実装チャンネル】 ○使用波 △予備波 - 保有なし

令和8年4月1日現在

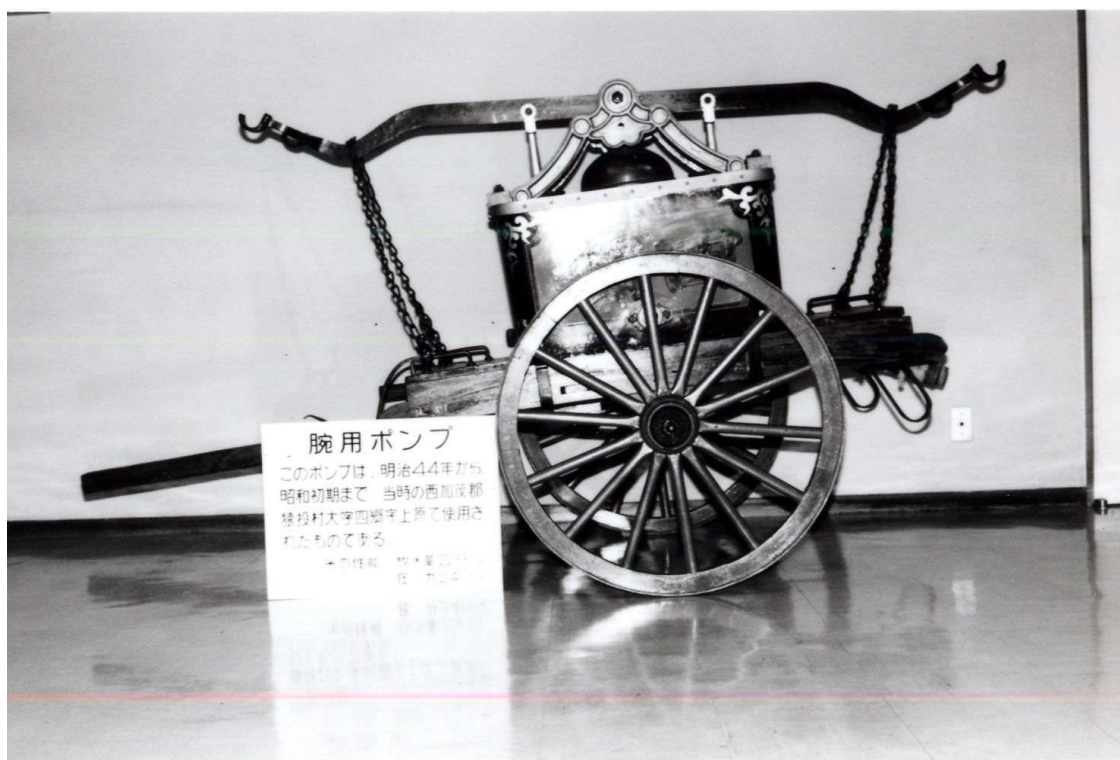
ch	消防本部基地局	松平基地局	蚕霊山基地局	八幡山基地局	羽布基地局	篠原基地局	池田山基地局	立野基地局
活動波 1 ch	○	-	△	○	○	-	-	-
活動波 2 ch	△	-	○	-	-	-	-	○
活動波 3 ch	△	○	△	-	-	○	○	-
活動波 4 ch	○	-	△	○	○	-	-	-
活動波 5 ch	△	-	○	-	-	-	-	○
活動波 6 ch	△	○	△	-	-	○	○	-
活動波 7 ch	○	○	○	○	○	○	○	○
主 運 用 波	○	○	○	○	○	○	○	○
統制波 1～3	○	-	-	-	○	-	○	○

【無線局数】

令和8年4月1日現在

設置場所	無線局種類					
	車載型移動局	携帯型移動局	携帯型移動局 (防災相互波)	卓上型移動局	可搬型移動局	署活動用無線局
消 防 本 部	7	11	2		1	7
北 消 防 署	13	14	1	1	1	36
藤岡小原分署	4	4		1		18
保見出張所	3	3		1		10
力石出張所	3	3		1		10
中 消 防 署	14	15	1	1	1	38
東 分 署	4	4		1		18
逢 妻 分 署	4	4		1		16
松平出張所	3	3		1		10
南 消 防 署	12	13	1	1	1	36
西 分 署	4	4		1		18
末野原分署	4	4		1		18
高岡出張所	3	3		1		10
足助消防署	11	11	1	1	1	26
旭出張所	4	4		1		14
稲武出張所	4	4		1		14
下山出張所	4	4		1		14

Ⅲ. 火 災



腕用ポンプ

◆ 火災発生状況

令和7年の出火件数は165件で、2人の死者と29人の負傷者が発生し、40世帯が「り災」しました。また、これらの火災で焼損した財産等は、建物93棟、建物焼損床面積2,237㎡、林野焼損面積47a、車両は12台で、その損害額は3億1,977万7千円となっています。

前年に比べて出火件数は52件増加し、損害額は5,973万9千円減少しました。また、死者数は2人減少しました。

● 火災発生状況

区 分	令和7年(A)	令和6年(B)	増減(C):(A)-(B)	
出火件数 (件)	165	113	52	
建物火災	75	54	21	
林野火災	5	4	1	
車両火災	10	11	△1	
その他の火災	75	44	31	
焼損棟数 (棟)	93	67	26	
建物焼損床面積 (㎡)	2,237	1,980	257	
建物焼損表面積 (㎡)	292	211	81	
車両焼損数 (台)	12	12		
林野焼損面積 (a)	47	33	14	
死者 (人)	2	4	△2	
負傷者 (人)	29	13	16	
り災世帯数 (世帯)	40	34	6	
り災人員 (人)	91	89	2	
出火率 (件/万人)	4.0	2.7	1.3	
損害額 (千円)	319,777	379,516	△59,739	
建物火災	315,721	316,832	△1,111	
林野火災				
車両火災	2,978	62,275	△59,297	
その他火災	1,078	409	669	
主な出火原因 (件)	たき火	34	16	18
	たばこ	18	9	9
	火入れ	10	8	2
	放火の疑い	10	6	4
	こんろ	16	3	13
	放火	8	4	4
	ストーブ	2	2	

* △は負数を表す

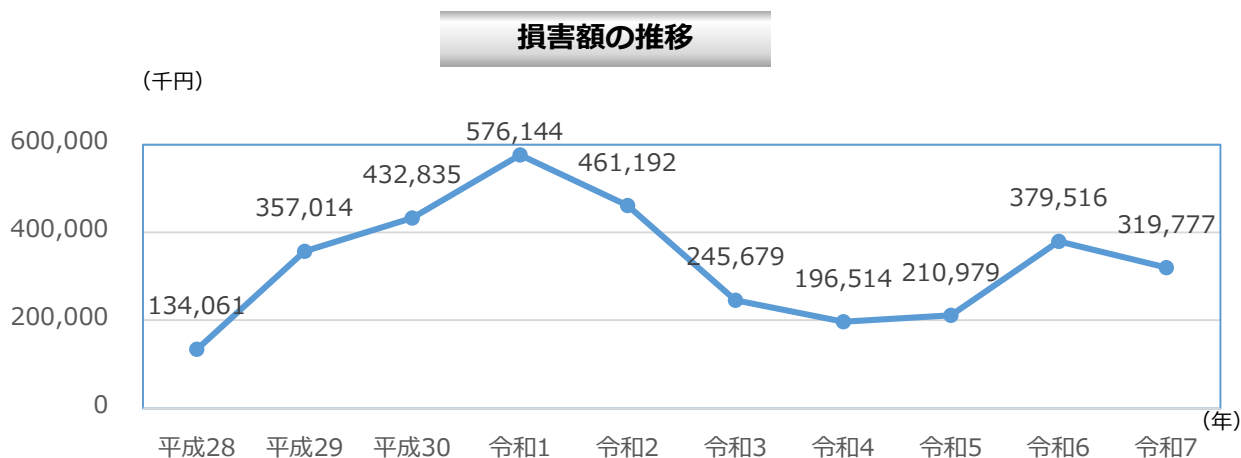
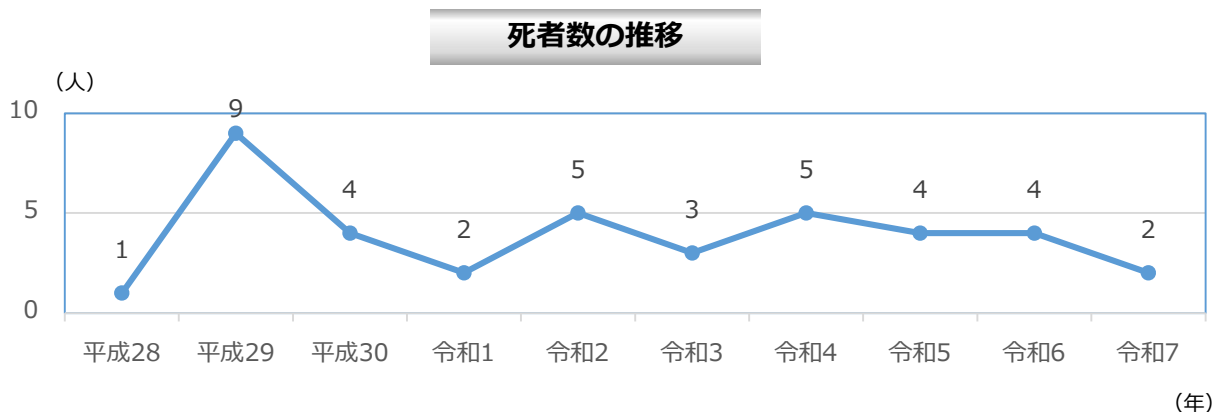
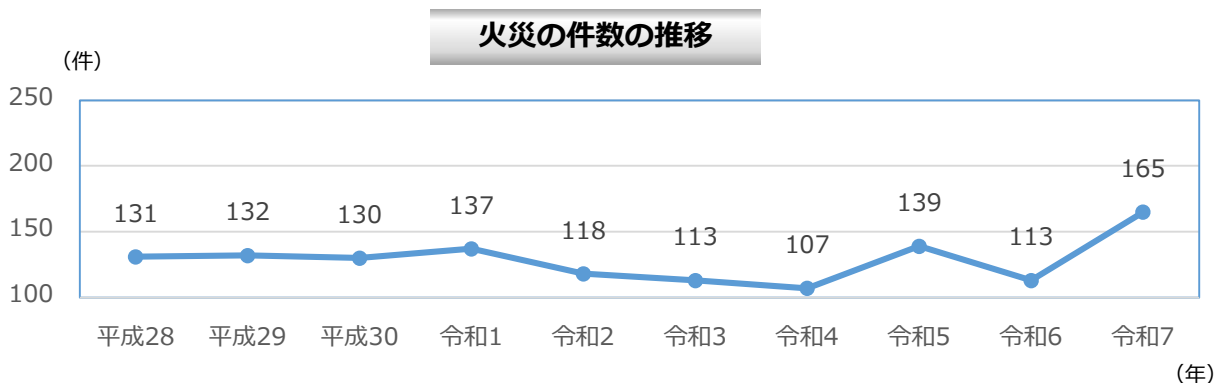
* 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数（人口は、該当年4月1日現在の住民基本台帳による。）

* 令和8年4月1日現在の火災発生状況（調査結果により各数値が変わることがあります。）

◆ 出火件数及び損害額等

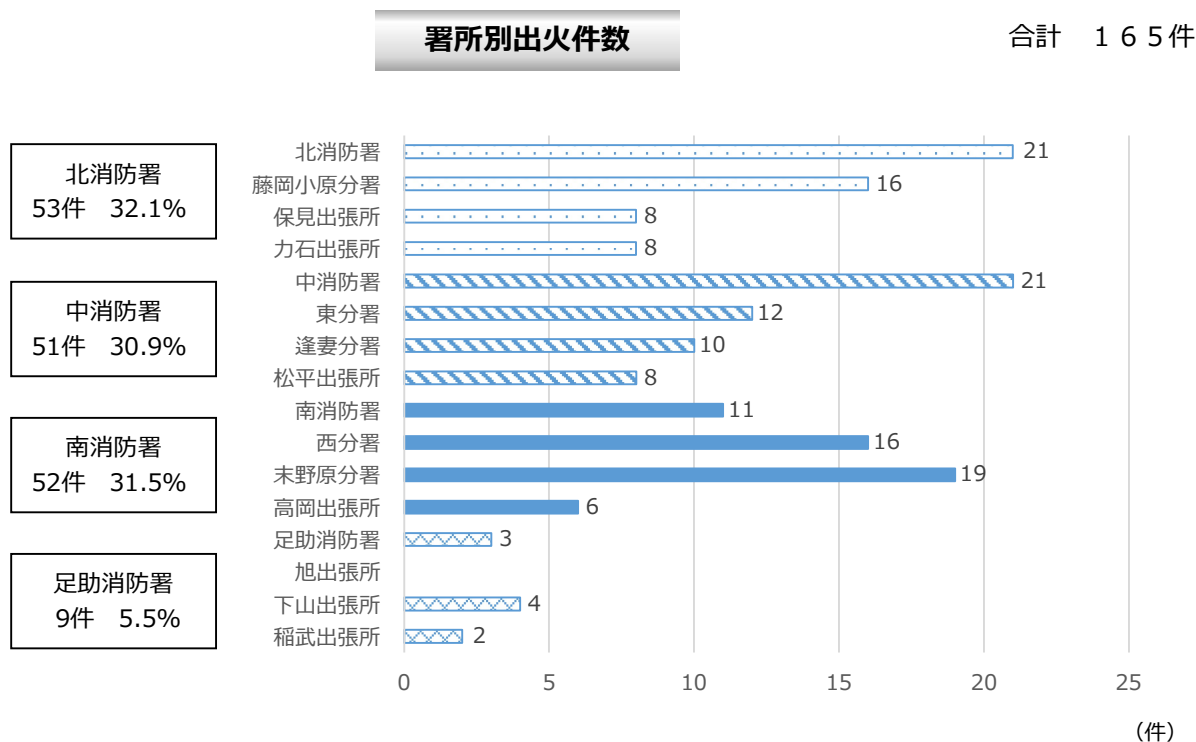
平成28年から10年間の出火件数の推移をみると、平成28年から令和6年までは増減を繰り返しており、令和7年中の出火件数は165件で、前年に比べ52件（46.0%）増加しました。また、火災による死者数は2人減少しています。

火災による損害額は、前年より5,973万9千円減少の3億1977万7千円となっています。



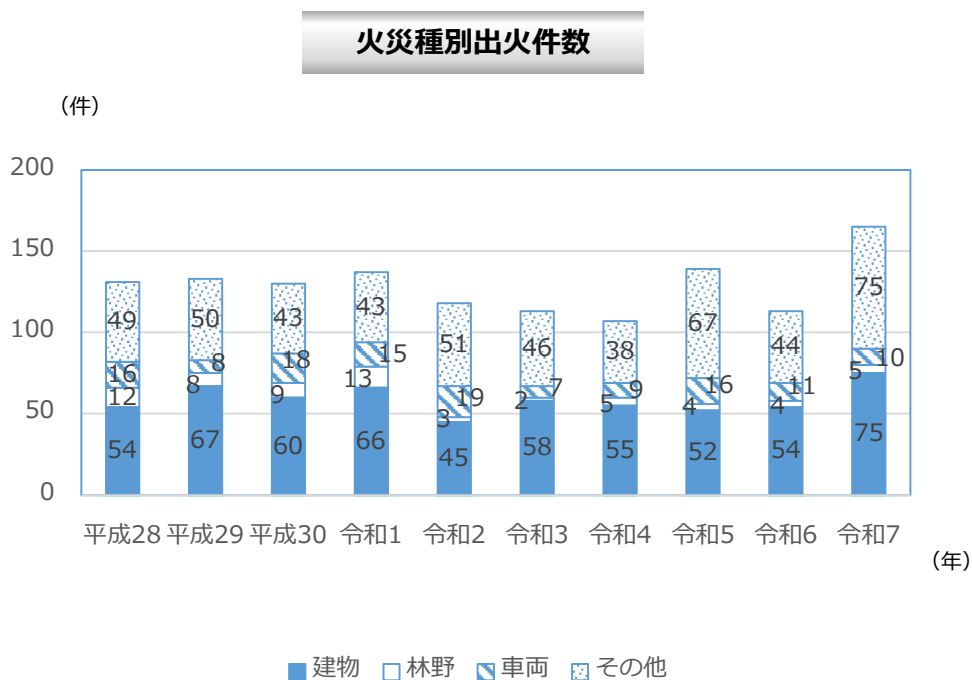
◆ 署所別出火件数

令和7年中の火災は、北消防署の管轄で多く発生しています。



◆ 火災種別出火件数

火災種別で見ると建物火災が75件と前年(54件)に比べ21件増加、林野火災が5件と前年(4件)と比べ1件増加、車両火災が10件と前年(11件)に比べ1件減少、その他の火災が75件と前年(44件)に比べ31件増加しました。



◆ 四季別出火件数

令和7年中の出火件数を四季別にみると、冬季に多く火災が発生しており、損害額も冬季に多く40.5%を占めています。

● 四季別出火件数

季別	年別	令和7年				令和6年			
		出火件数 (件)	構成比	損害額 (千円)	構成比	出火件数 (件)	構成比	損害額 (千円)	構成比
春季 (3月~5月)		49	29.7%	74,078	23.2%	19	16.8%	15,837	4.2%
夏季 (6月~8月)		45	27.3%	113,579	35.5%	26	23.0%	33,202	8.7%
秋季 (9月~11月)		21	12.7%	2,588	0.8%	27	23.9%	236,117	62.2%
冬季 (12月~2月)		50	30.3%	129,532	40.5%	41	36.3%	94,360	24.9%
合計		165	100.0%	319,777	100.0%	113	100.0%	379,516	100.0%

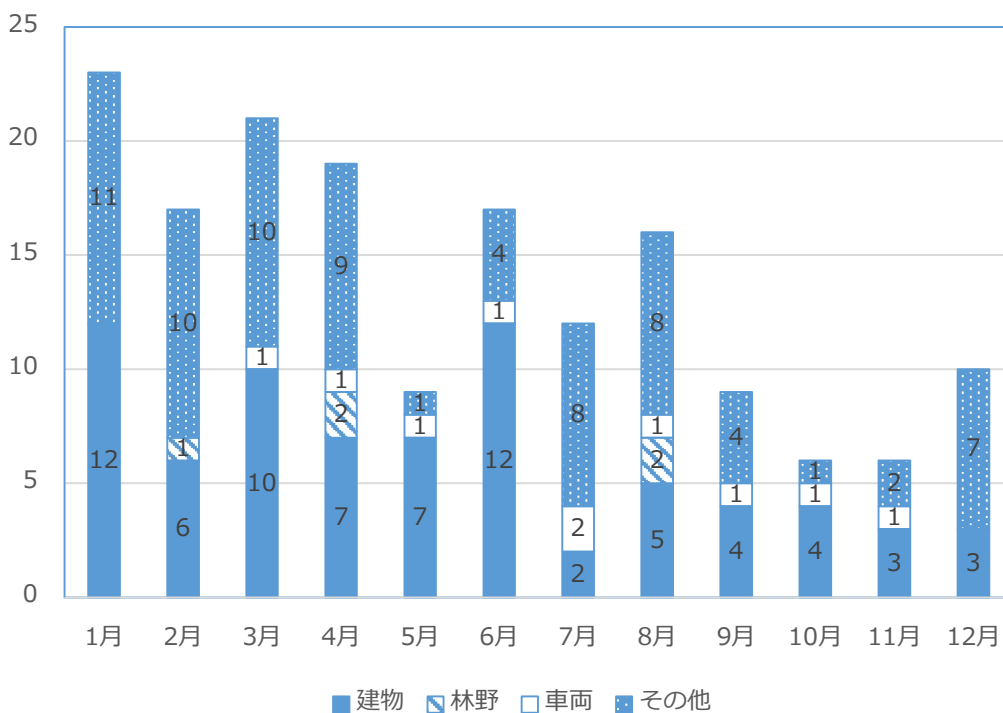
◆ 月別出火件数

令和7年中の月別出火件数は、1月が最も多く23件で、最も少ない月は10月及び11月で6件となっています。

月別出火件数

(件)

合計 165件

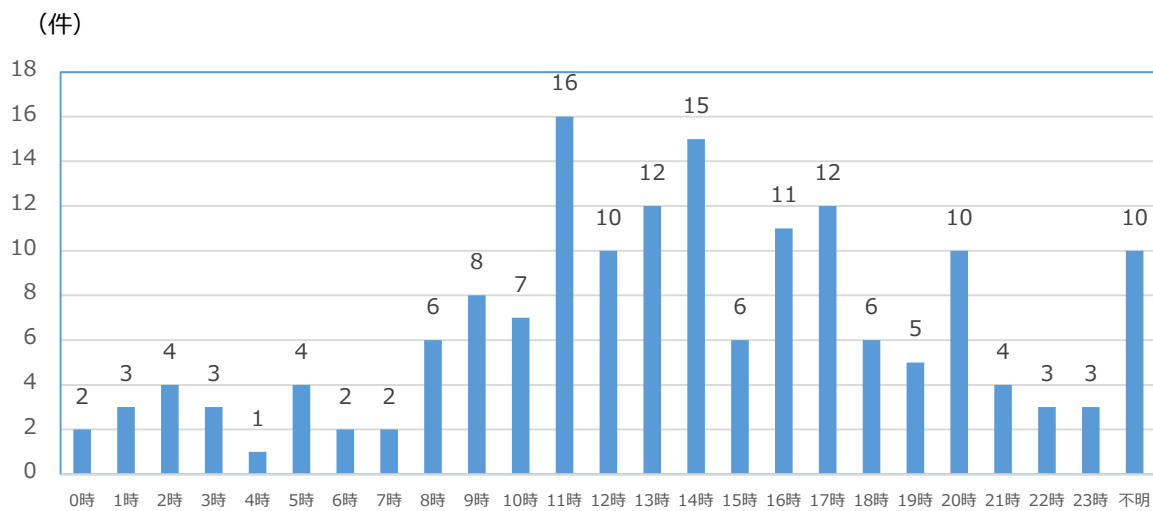


◆ 時間別出火件数

令和7年中の時間別出火件数は、11時台に多く発生しています。

時間別出火件数

合計 165件



◆ 出火原因別出火件数等

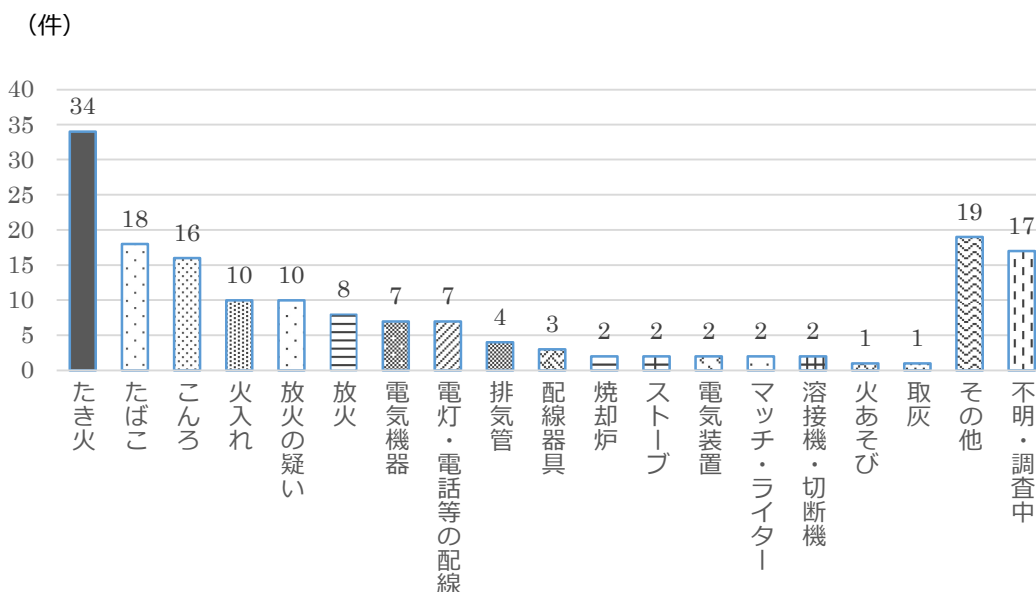
下のグラフと表は、出火原因別の出火件数と損害額を表したものです。

令和7年中の出火件数165件のうち、たき火が34件で最も多く、次いでその他が19件、たばこが18件の順となっています。

主な出火原因別の損害額をみると、たばこが101,215,215千円と最も多く、次いでこんろが43,732千円、電灯・電話等の配線が27,870千円の順となっています。

出火原因別出火件数

合計 165件



● 主な出火原因別の火災による損害額

原因分類名	損害額 (千円)	原因分類名	損害額 (千円)
たばこ	101,215	放火	2,100
こんろ	43,732	排気管	1,569
電灯・電話等の配線	27,870	配線器具	520
電気機器	20,089	取灰	484
放火の疑い	8,949	火入れ	418
ストープ	7,870	電気装置	2
たき火	3,345	その他	34,670

◆ 発火源別出火状況

● 建物火災の主な出火原因と経過

建物火災の主な出火原因は、こんろが16件と最も多く、次いでたばこが8件、電気機器が6件となっています。

主な経過又は発火源をみると、使用者の過失が出火原因となる火災が多くなっています。(件)

主な出火原因	こんろ	16	たばこ	8	電気機器	6
主な経過 又は 発火源	放置する, 忘れる	5	不適當なところに捨て置く	5	過多の電流を流す	1
	過熱する	3	残り火の処理が不十分	1	電線が短絡する	1
	可燃物が動いて火源に触れる	2	消したはずのものが再燃する	1	本来の用途以外の不適の用に用いる	1
	意図なしにスイッチが入る	1	容器(着火物用)が破損腐食する	1	半断線により発熱する	1
	火源が動いて接触する	1			不明	2
	考え違いにより使用を誤る	1				
	輻射を受けて発火する	1				
	絶縁劣化による発熱	1				
その他	1					

*6件以上のものを計上(その他、不明・調査中及び5件以下は45件)

● 林野火災の主な出火原因と経過

林野火災の出火原因は、たき火が3件、次いでその他が2件となっています。

主な出火原因	たき火	3	その他	2
主な経過 又は 発火源	火源が動いて接触する	2	火源が動いて接触する	1
	火の粉が散る遠くへ飛び火する	1	落雷する	1

● 車両火災の主な出火原因と経過

車両火災の出火原因は、排気管が4件、たばこが1件、その他が1件となっています。

主な出火原因	排気管	4	たばこ	1	その他	1
主な経過 又は 発火源	高温物が触れる	2	不適當なところに捨て置く	1	高温物が触れる	1
	可燃物が火源の上に転倒落下する	1				
	着火物が漏洩する	1				

*不明・調査中以外のものを計上(不明・調査中は4件)

◆ その他の出動件数

署所別その他の出動件数

合計 4,188件

(件)

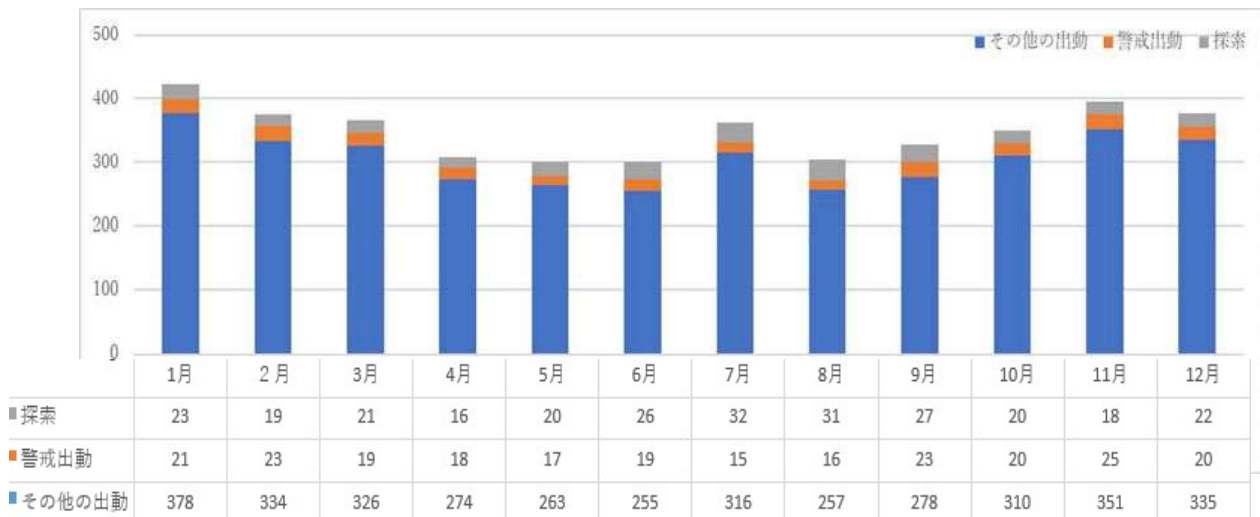


警戒：危険物等の漏洩、流出その他の火災が発生するおそれのある場合の出動
 探索：火災と認めることが困難な火煙の発生等による出動
 その他：火災、救急、救助や上記に掲げる出動以外

月別その他の出動件数

合計 4,188 件

(件)



IV. 救急・救助



◆ 救急体制

当市では、救急需要に応えるため、全消防署所に高規格救急自動車を導入するとともに、令和6年4月1日から平日の昼間に活動する日勤救急隊を新設しました。救急隊員及び救急救命士の養成を行い、より高度な救急業務が行える体制を構築しています。

令和8年4月1日現在、163人の救急救命士のうち、アドレナリン投与の処置ができる者163人、気管挿管の処置ができる者44人、心肺機能停止前の輸液及び低血糖発作症例に対するブドウ糖溶液の投与の処置ができる者148人が県の認定を受けて活動しています（資格の重複有）。

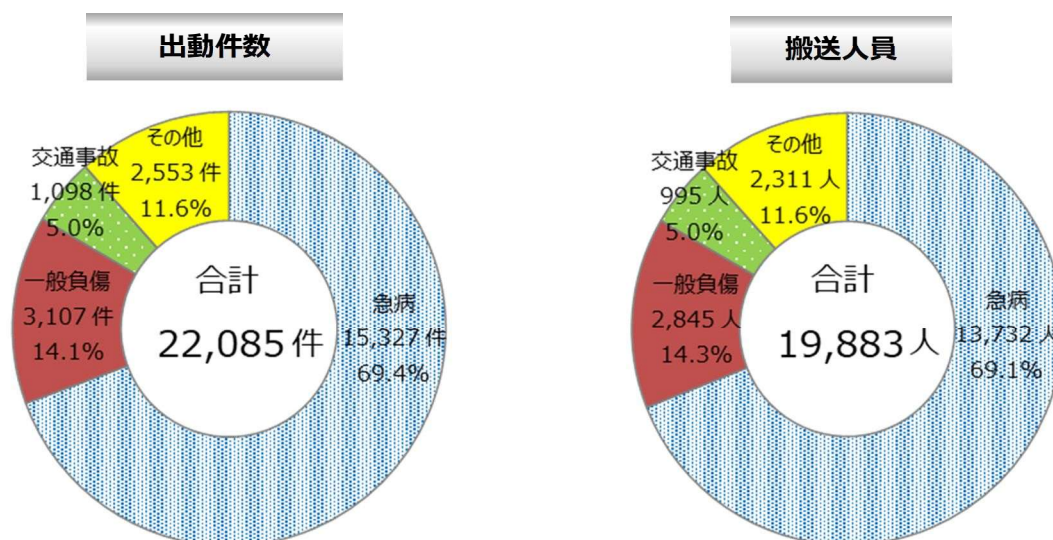
また、救命率の向上のために、平成29年度から次代を担う小中学生にも応急手当の受講機会を拡大して、少年期から応急手当に慣れ親しむ環境作りを推進しています。

救急車においては、傷病者の症状や状態を医師に的確に伝え、病院到着前に医師から適切な指示を得るため、画像や映像などを市内の4病院*に送信することのできる救急搬送支援システムを導入しています（*豊田厚生病院、トヨタ記念病院、豊田地域医療センター、足助病院の市内4病院）。

さらに、豊田加茂医師会、豊田厚生病院、トヨタ記念病院と協定を結び、ドクターカー研修を実施することで、救急と医療の連携強化を図り、安全で住みよいまちになるよう推進しています。

◆ 救急出動件数・搬送人員

令和7年中における救急出動件数は22,085件で、1日平均約61件でした。このうち、医療機関に搬送された人員は19,883人で、市民約21人に1人の割合で救急車を利用したことになります。前年と比較し、出動件数が456件（約2.1%）、搬送人員が248人（約1.3%）増加しました。



*小数点第2位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

● その他の内訳

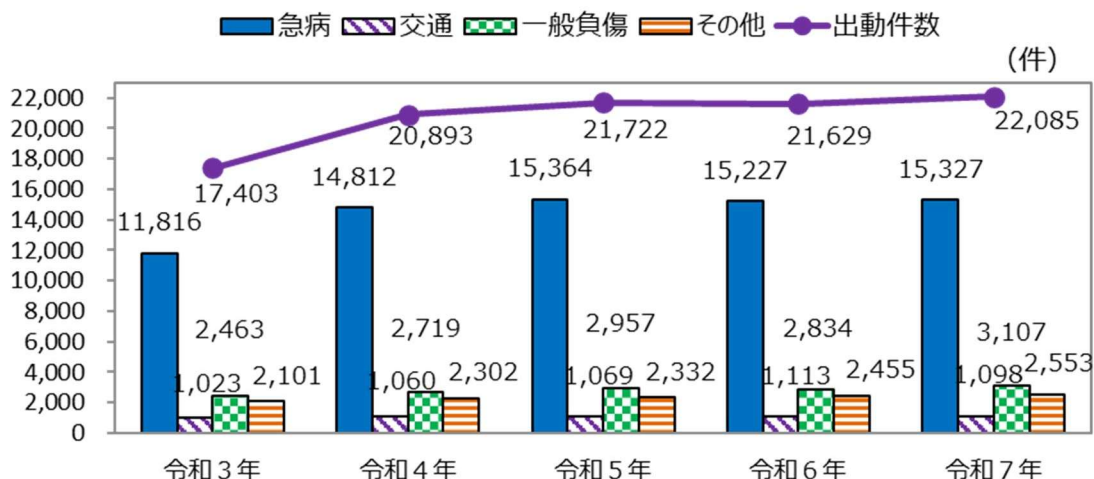
	火災	自然災害	水難	労働災害	運動競技	加害	自損行為	その他	合計
出動件数	78		5	155	100	53	175	1,987	2,553 件
搬送人員	15		3	152	98	37	114	1,892	2,311 人

◆ 救急事故種別件数

下のグラフは、救急事故種別件数の推移を表したものです。
令和7年は、前年と比較して456件増加し、22,085件でした。

救急事故種別件数の推移

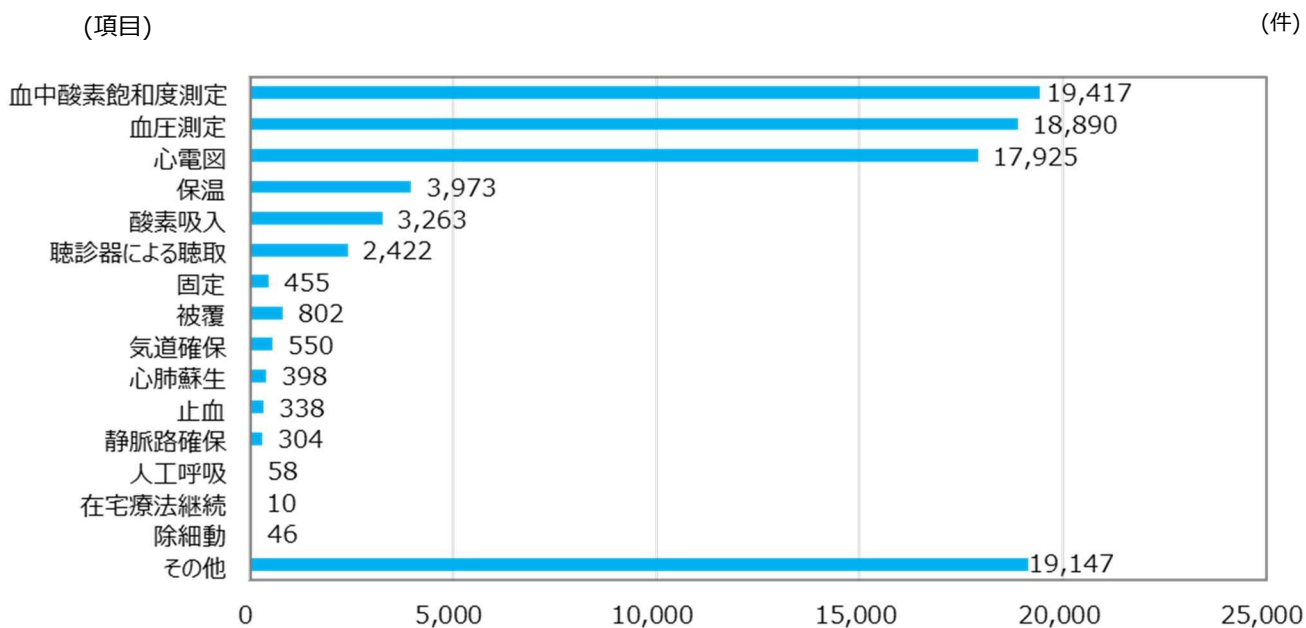
合計 22,085件



◆ 救急隊員応急処置実施項目

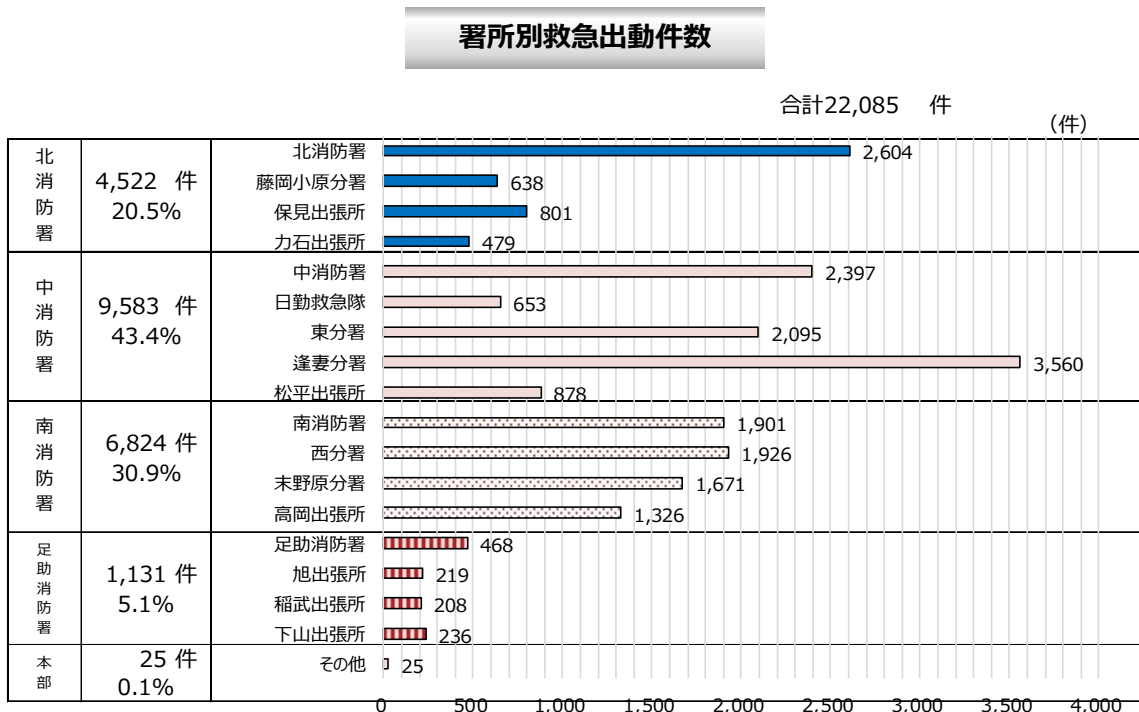
下のグラフは、搬送人員のうち救急隊員が行った応急処置の内容を表したものです。
傷病者の症状をより詳しく観察するため、血中酸素飽和度測定、血圧測定、心電図等が多く行われています。

応急処置実施項目



◆ 署所別救急出動件数

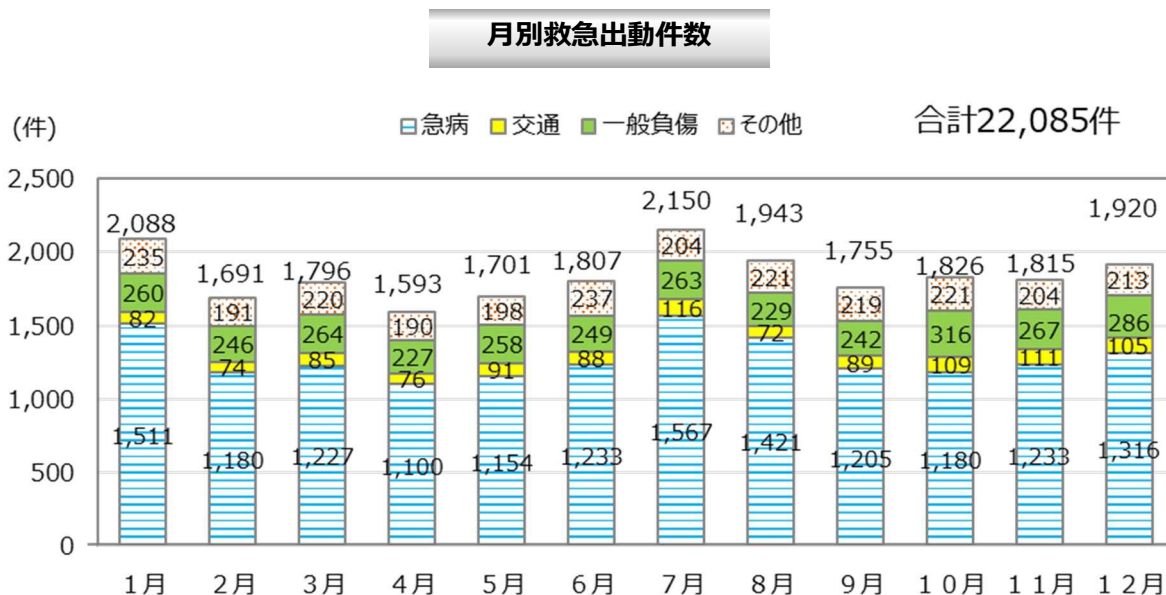
下のグラフは、救急出動状況を署所別に分類したものです。
人口分布の多い地域を管轄する中・南消防署で全体の7割以上を占めています。



*小数点第2位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

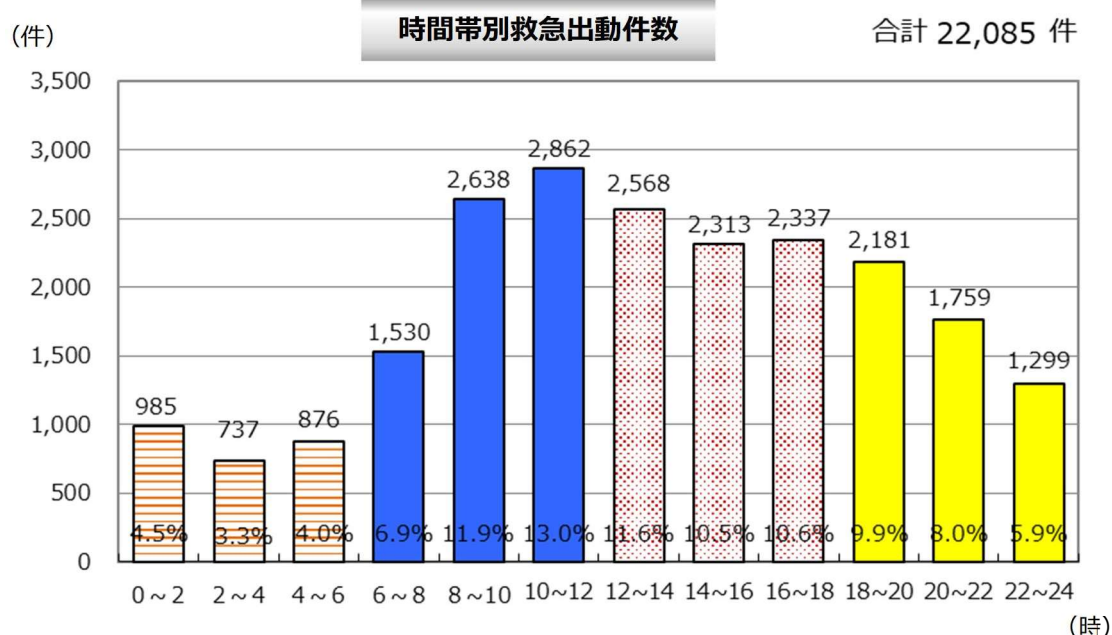
◆ 月別救急出動件数

下のグラフは、救急出動状況を月別に比較したものです。
月別の出動件数全体では、7月が最も多いです。



◆ 時間帯別救急出動件数

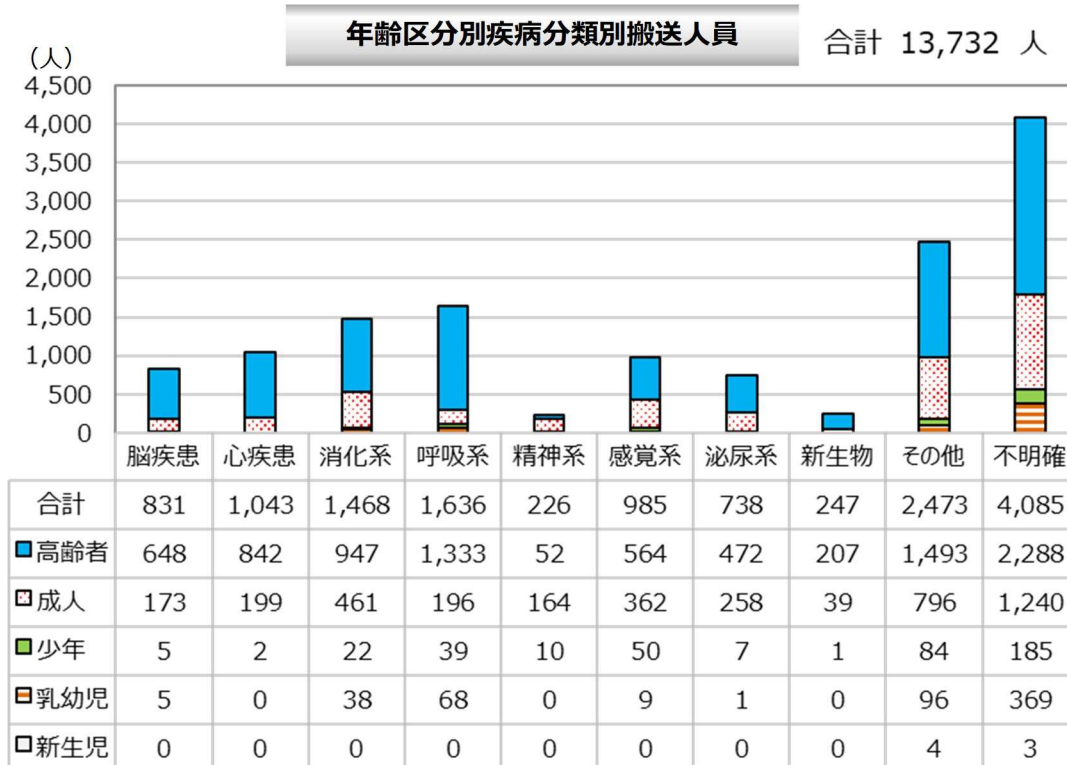
下のグラフは、救急出動状況を時間別に表したものです。
救急出動は、午前8時から正午までの時間帯に多く発生しています。



*小数点第2位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

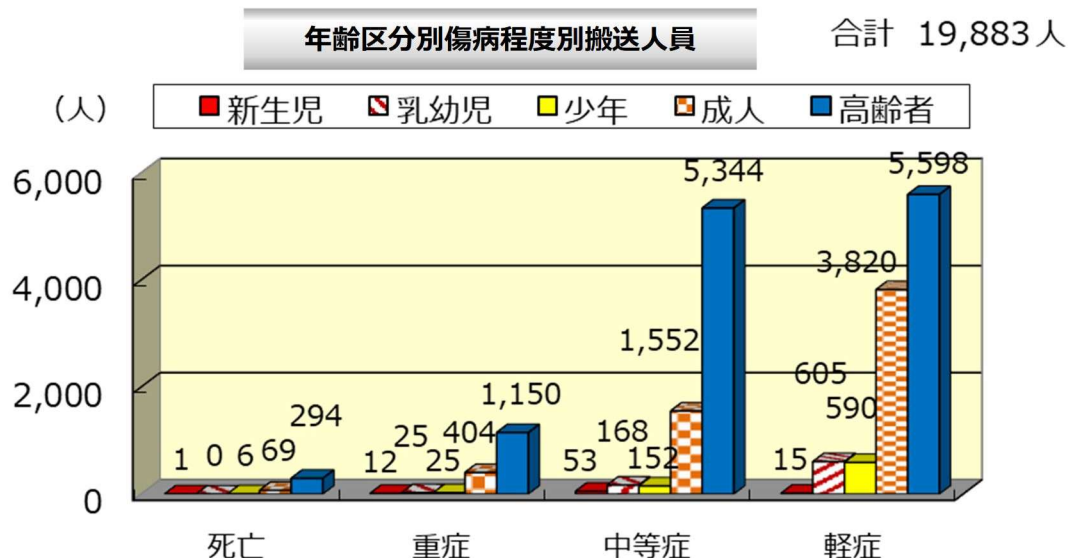
◆ 年齢区分別疾病分類別搬送人員

下のグラフは、急病で搬送した傷病者を年齢区分別及び疾病分類別に表したものです。
呼吸系、消化系、心疾患が多くなっています。



◆ 年齢区分別傷病程度別搬送人員

下のグラフは、搬送人員を年齢区分別及び傷病程度別に表したものです。
死亡、重症、中等症及び軽症ともに、高齢者の割合が高くなっています。



◆ 応急手当普及指導講習実施回数

● 講習実施状況

種別	年度	実施数等	令和6年	令和7年
			回数	748
救命入門コース		回数	748	809
		受講者数	19,042	19,577
普通救命講習（Ⅰ）		回数	613	612
		受講者数	7,001	7,469
普通救命講習（Ⅱ）		回数	0	0
		受講者数	0	0
普通救命講習（Ⅲ）		回数	11	17
		受講者数	264	408
上級救命講習		回数	7	6
		受講者数	133	112
応急手当普及員講習		回数	10	4
		受講者数	166	115
応急手当普及員再講習		回数	12	10
		受講者数	255	219
合計		回数	1,401	1,458
		受講者数	26,861	27,900

救命入門コース …心肺蘇生法、AED使用方法

普通救命講習（Ⅰ）（Ⅱ） …心肺蘇生法（主に成人を対象）、AED使用方法、止血法

* 普通救命講習（Ⅱ）は、一定の頻度で心停止者に対して応急の対応をすることが期待・想定される者を対象とする。

普通救命講習（Ⅲ） …心肺蘇生法（主に小児、乳児、新生児を対象）、AED使用方法、止血法

上級救命講習 …心肺蘇生法、AED使用方法、止血法、傷病者管理法、外傷の処置要領、搬送法

応急手当普及員講習 …救命に必要な基礎知識・医学、応急手当の指導要領

応急手当普及員再講習 …応急手当に関する指導要領の再講習

◆ 救助体制

当市の救助隊は、法的に設置が義務付けられる以前の昭和54年に特別消防隊として設置され、徐々に装備の充実を図りながら多くの救助活動を実施してきました。

現在は、中消防署（Ⅲ型）並びに北消防署、南消防署及び足助消防署（Ⅱ型各1台）の4署に救助工作車を配置し、救助隊を編成しています。また、中消防署では、大規模災害や特殊事故に対応するため、平成21年4月1日から高度救助隊（SRT：スーパーレスキュー豊田）を運用してきました。令和8年4月1日からは、従来の人命救助活動に加え最新の消防活動や資機材に関する研究及び他署所隊員への指導・育成を担う体制へと強化するため、高度救助隊を特別消防救助隊に再編し、運用を開始しました。

◆ 緊急消防援助隊

平成7年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」を教訓とし、全国の消防機関相互の迅速な応援救助体制の確立を目的に、国内で発生した地震などの大規模災害に対処するため、平成7年6月に「緊急消防援助隊」が発足しました。

当市は、令和8年4月1日現在で愛知県大隊指揮隊1隊、救助小隊3隊等、計19隊を登録しています。

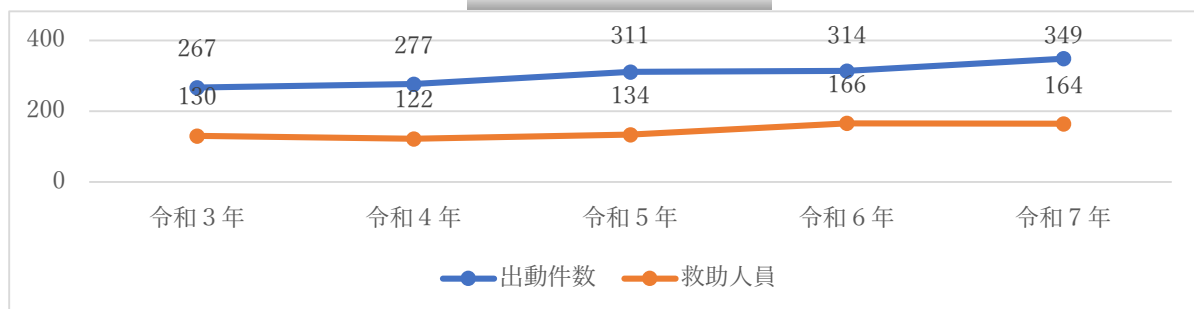
豊田市の出動実績

	災害発生年月日	災害名	出動隊数	出動人数
①	2004年7月18日	平成16年7月福井豪雨	1隊	6人
②	2011年3月11日	東日本大震災	40隊	154人
③	2014年9月27日	御嶽山噴火災害	2隊	10人
④	2018年7月6日	平成30年7月豪雨	2隊	8人
⑤	2021年7月3日	静岡県熱海市土石流災害	6隊	30人
⑥	2024年1月1日	令和6年能登半島地震	28隊	119人
⑦	2024年9月27日	令和6年奥能登豪雨災害	5隊	16人

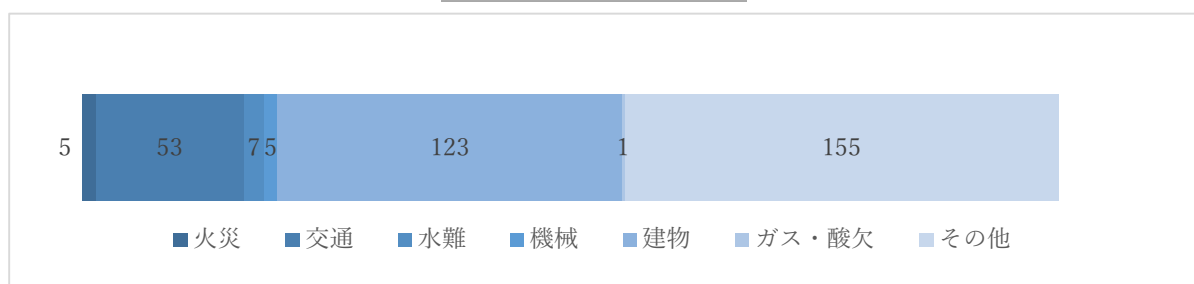
◆ 救助出動状況

令和7年中の救助出動件数は、349件で、うち197件の救助活動を行い、164人を救助しました。災害別の出動件数は、交通事故が53件で全体の約15%を占めています。

救助出動状況の推移



災害別救助出動状況



V. 火災予防対策



◆ 火災予防

消防の任務には、消火・救急・救助のほか、市民及び事業者が、自ら生命及び財産を守るための予防活動を実践できるように、防火・防災思想を普及啓発することも含まれます。当市では、防火に関するイベントやマスメディアを活用した住宅防火対策のPR、事業所における自主防火管理を目的とした防火・防災管理者の育成指導、地震による被害を軽減するための防災指導などを行い、「災害に強いまちづくり」を目指しています。

◆ 住宅防火対策

住宅防火対策では火災の発生状況を分析し、火災件数と火災に伴う被害の低減に向けた施策を推進することが重要です。当市では、住宅火災を減らし、火災による死者を無くすため、住宅用火災警報器をはじめとした住宅用防災機器の設置促進、高齢者への防火講座及び防火広報等を防火危険物安全協会等の関係団体と協力して行っています。

◆ 広報活動

市民が火災予防に関する知識を深め、火災が発生した場合の対応を誰もが行うことができるように、秋・春の火災予防運動をはじめ、イベント、講座、マスメディア等を活用した防火PR等の幅広い広報活動を行っています。

過去の災害を教訓に、災害がいつ起こってもおかしくないことや備えの必要性を伝え、いざという時、子どもたちが自発的、主体的に判断し、行動できる力を養うための防火広報に力を入れています。

● 令和7年度の主な行事・講座等実施状況

実施日	イベント名	場所	参加人員
7月19日～ 8月31日	夏の防災企画展開催 豊田市防災学習センター「サマー・フェス」	防災学習センター	4,836人
7月29日	少年消防クラブ 消防学校一日入校	愛知県消防学校	20人
9月27日	第30回消防こども写生大会	消防本部・中消防署	239人
11月15日	一日消防長委嘱式・街頭防火宣伝	イオンスタイル豊田	515人
11月1日～ 11月30日	秋の火災予防運動企画展開催 「オータム火災予防フェア」	防災学習センター	1,985人
1月10日	とよた消防フェスタ	豊田スタジアム	2,075人
3月1日～ 3月31日	春の火災予防運動週間 企画展 「スプリング火災予防フェア」	防災学習センター	1,615人

火災予防対策

●令和7年度のマスメディアを利用したPR状況

報道機関	項目
広報とよた	<ul style="list-style-type: none"> ・消防ふれあいコンサート ・高齢者などに向けた住宅用火災警報器取り付け等支援 ・第30回消防こども写生大会 ・とよた消防フェスタ
新聞報道	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の防災企画展 豊田市防災学習センター「サマー・フェス」 ・秋の火災予防運動企画展開催「オータム火災予防フェア」 ・豊田市消防オリジナル「はしご箸」を販売 ・とよた消防フェスタ ・春の火災予防運動週間 企画展「スプリング火災予防フェア」 ・林野火災警報、注意報
ラジオ	<ul style="list-style-type: none"> ・消防ふれあいコンサート ・夏の防災企画展 豊田市防災学習センター「サマー・フェス」 ・第30回消防こども写生大会 ・令和7年上半期火災概要 ・秋の火災予防運動企画展開催「オータム火災予防フェア」 ・令和7年における火災発生状況の速報値 ・春の火災予防運動週間 企画展「スプリング火災予防フェア」
T V 等 (ケーブルテレビ含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防ふれあいコンサート ・夏の防災企画展 豊田市防災学習センター「サマー・フェス」 ・第30回消防こども写生大会 ・春の火災予防運動週間 企画展「スプリング火災予防フェア」

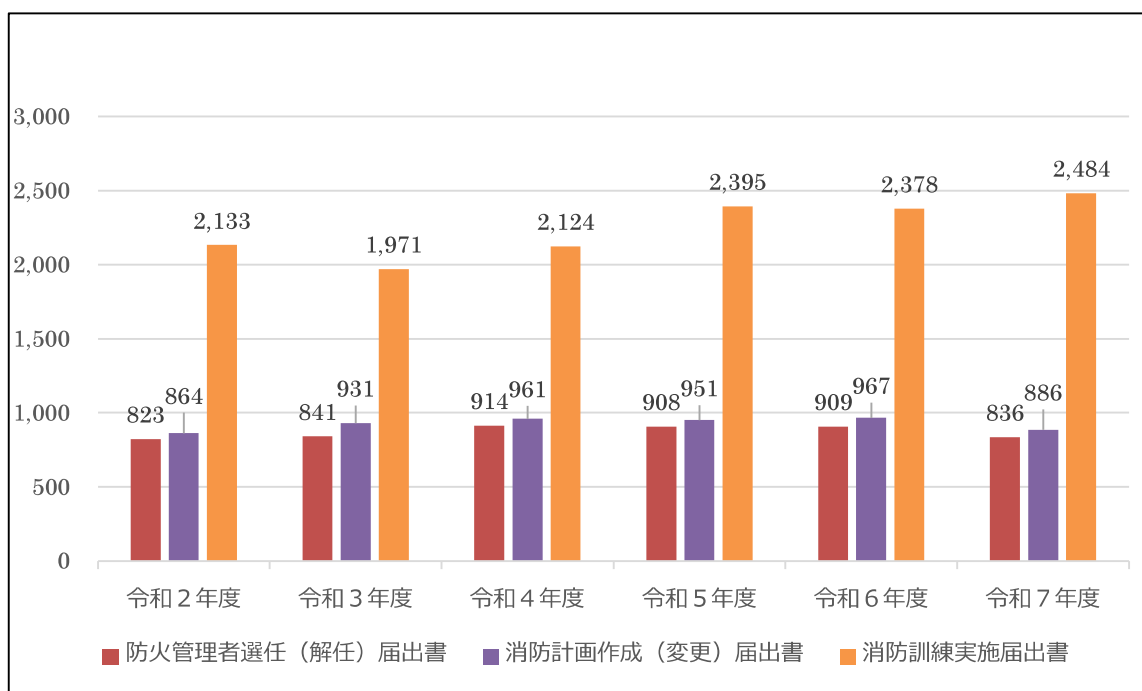
◆ 防火管理者

工場、百貨店、病院等の多数の人が出入りする事業所の管理について権原を有する者（以下、「管理権原者」という。）は防火管理者を選任し、火災の発生の防止と火災が発生した場合の被害の抑制を目的とした防火管理体制の充実を図る必要があります。

防火管理者は、管理権原者の指示を受けて消防計画を作成します。消防計画は当該事業所における防火管理業務の基本方針となるため、内容には自衛消防隊の編成、従業員をはじめとする関係者への教育や訓練の指導方法等、実効性が必要とされます。

防火管理者に係る届出数の推移

(件)



◆ 自衛消防訓練

「自分の職場は自分で守る」自主防火管理の基本精神では、火災等の災害が発生した場合、その被害を最小限に抑えるために、消防計画によって編成された自衛消防の組織が、消火、避難誘導、通報、救護といった自衛消防活動を迅速・円滑に行う必要があります。

災害の初期段階における対応は、被害を最小限にするために大変重要です。自衛消防の組織はどのような状況下でも、人員と資機材を有効に活用した組織的な対応ができるように、防火管理者を中心として繰り返し教育・訓練を実施しなければなりません。

当市では、防火管理者及び事業者の要望に応じて、消防訓練の指導を実施しています。自衛消防訓練を客観的に見て、どのようにすれば災害発生時に効果的な組織活動が行えるか、検証を行っています。

◆ 防災管理者

南海トラフ地震の切迫性が指摘されており、大規模地震に対する災害対応力の強化を図ることが重要な課題となっています。大規模・高層建築物等における地震等の災害による被害の軽減を図るため、自衛消防組織の設置と防災管理者を選任する制度があります。

第30回消防こども写生大会（於：消防本部）



とよた消防フェスタ（於：豊田スタジアム）



◆ 防災学習センター

火災又は地震を始めとする災害の未然防止及び災害による被害を軽減するために、市民防災教育の場として平成6年から消防本部1階に防災学習センターを併設しています。

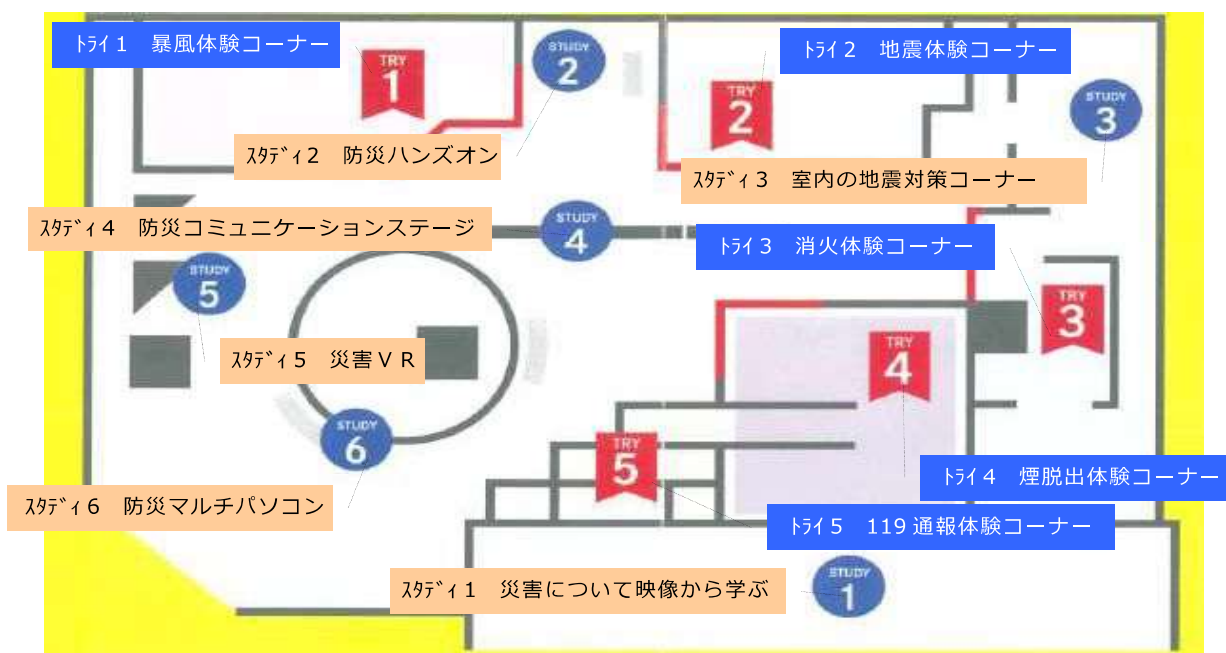
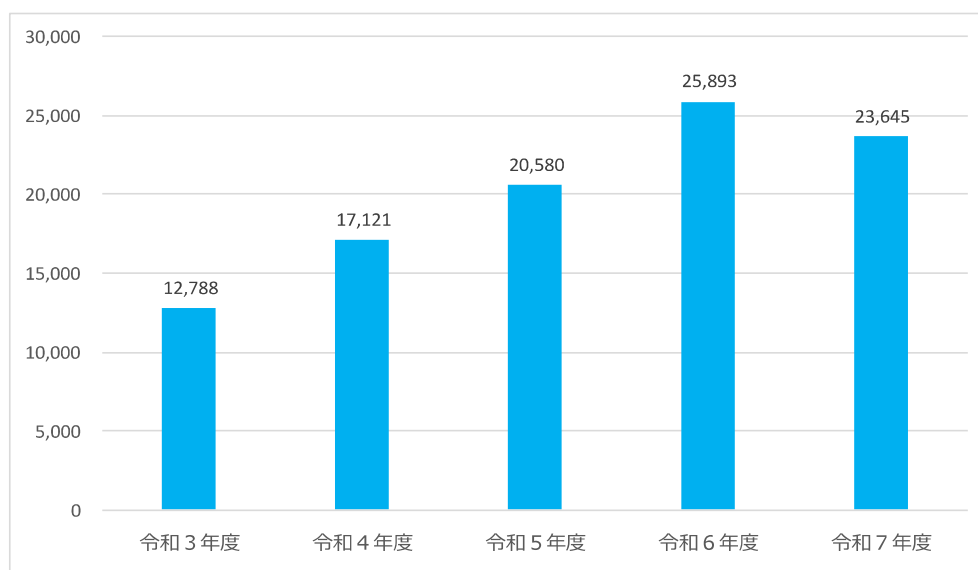
「5つのトライと6つのスタディで防災力を身につけよう！」と題して楽しみながら防災知識を習得し、市民等への防災意識の高揚を図ることを目的に運用しています。

防災学習センター来館者の推移

総来館者数 693,600人

(令和8年4月1日現在)

(人)



●各コーナーの紹介

TRY
1 **暴風体験コーナー**



街中に吹き荒れる暴風の恐ろしさを体験できます。台風メカニズムや避難行動の種類やポイントが学べます。疑似雨体験も見物です。
※非常に強い風が吹くため、アクセサリ類や服装にご注意ください。

TRY
2 **地震体験コーナー**




学校・自宅・事務所、3場面の大型CG映像と連動するリアルな地震が体験できます。対処方法やメカニズムを学び、被災再現シーンで家具倒壊の怖さに気付きます。

TRY
3 **消火体験コーナー**



臨場感たっぷりの大型映像と消火器・消火栓を使って、ストーブ・天ぷら油・タバコ原因の消火体験ができます。消火の方法やポイントが学べます。小学4年生以上(年齢制限有)

TRY
4 **煙脱出体験コーナー**



煙の怖さや上手な避難のポイントが学べます。火災で停電したデパートと深夜の住宅火災を想定した音響・照明演出でリアルな脱出体験ができます。

TRY
5 **119通報体験コーナー**



携帯電話、公衆電話、家庭電話の通報のポイントが学べます。火災・交通事故・水難事故、3つの再現映像で臨場感のある体験ができます。

STUDY
1 **災害について映像から学ぶ**
水害や地震等の災害についてのDVDを視聴・貸出しています。

STUDY
2 **防災ハコズオン**
触って、試して、よくわかる実験模型を使って、建物の耐震や震度とマグニチュードの違いなどが楽しく理解できます。

STUDY
3 **室内の地震対策コーナー**
地震による家具などの転倒や移動、ガラスの飛散を防ぐグッズ、通電火災対策機器を紹介しています。

STUDY
4 **防災コミュニケーションステージ**
備蓄品や非常持出品、防災パンフレット、ハザードマップなどの実物資料の展示閲覧や災害避難情報の種類、自主防災組織について紹介しています。

STUDY
5 **災害VR**
VRゴーグルを装着し、災害を疑似体験することができます。

STUDY
6 **防災マルチパソコン**
パソコンで防災ノウハウがどれだけ身についたか、楽しいクイズで復習ができます。結果は、お持ちのスマートフォンでQRコードを読み取ることで終了証を表示することができます。

◆ 防火対象物数

消防は、防火対象物*に関する火災予防上の実態を具体的に把握し、それを基に災害の未然防止及び被害の軽減を図ります。そのため、定期的に防火対象物を立入検査し、避難経路又は消防用設備等の消防法令への適合状況を把握し、当該防火対象物の関係者に対して違反の是正又は防火に関する指導を行っています。

防火対象物は年々増加するとともに、建物も大規模化及び高層化し、用途及び構造も複雑になっています。本市では、防火対象物を査察対象物*（第1種から第3種）とその他の防火対象物に分類し、その規模及び危険性等に応じて立入検査を実施しています。

* 防火対象物・・・建築物その他の工作物又はこれらに属するもの等

* 査察対象物・・・防火対象物のうち計画的に査察を実施するものとして、消防長が別に定めるもの

● 消防署別防火対象物数

令和8年4月1日現在（棟）

消防署別 区分	北消防署	中消防署	南消防署	足助消防署	合計
第1種査察対象物	223	349	223	99	894
第2種査察対象物	787	636	1,533	137	3,093
第3種査察対象物	1,500	1,992	1,953	345	5,790
その他の防火対象物	1,555	2,105	2,110	350	6,120
計	4,065	5,082	5,819	931	15,897

1. 第1種査察対象物とは、特定防火対象物（百貨店、旅館、病院等の多数の者が出入するもの）で延べ面積 1,000 m²以上のもの、前記以外の防火対象物定期点検報告対象物及び表示制度対象物
2. 第2種査察対象物とは、上記1以外の防火対象物で延べ面積 700 m²以上のもの（共同住宅、学校等を除く）
3. 第3種査察対象物とは、上記1、2以外の防火対象物で防火管理者の選任義務又は自動火災報知設備等の設置義務があるもの等

◆ 消防用設備等の点検報告制度

消防用設備等は、いついかなる場合に火災が発生しても確実に作動するよう、日ごろの維持管理が十分に実施されていることが大切です。消防法では、防火対象物の関係者に対し、消防用設備等の定期的な点検だけでなく不備事項の整備を含め、適正な維持管理を行うことを義務付けています。

また、火災が発生した場合に人命に危険を及ぼす確率が高いものを特定防火対象物とし、それ以外の防火対象物と区分して消防本部へ報告する期間を定めています。

消防用設備等の点検を知識、技術の未熟な者が実施すると、効果が期待できないだけでなく、機能の低下が生じる可能性があります。そこで一定規模以上の防火対象物については、消防設備士又は消防設備点検資格者による点検が必要とされており、その他の防火対象物についても、これに準じて点検を行うよう指導しています。

◆ 防火対象物定期点検報告制度

この制度は、火災危険度が高い一定の用途、規模の防火対象物について、防火管理者の選任や消防計画の作成、避難施設や消防用設備等の維持管理等、防火管理の状況を毎年1回防火対象物点検資格者*に点検させ、その結果を消防機関に報告するものです。

点検の結果、防火対象物が点検基準に適合している場合には、その旨の表示をすることができます。

当市においても、市民が安心して防火対象物を利用できるように、関係者に対し、制度の理解と普及を呼びかけるとともに、適切な防火管理体制の構築を指導しています。



* 防火対象物点検資格者・・・火災予防に関する専門知識を有し、必要な講習等を修了した者

◆ 防災管理点検報告制度

南海トラフ地震等の大規模災害時には、火災と異なる対応が必要となるとともに、同時多発的に火災や建物倒壊からの救出事案が発生すると考えられることから、事業所における自助体制の確立が必要不可欠となります。

近年では多数の人が利用する大規模・高層化された防火対象物が増加しており、このような防火対象物では、地震等の災害時における消火活動、通報連絡、避難誘導、救出・救護について、より高度で複雑な対応が必要となります。また、これらを想定した訓練、転



倒防止及び備蓄品の管理など、適切な対策が施されていない場合の消防防災上のリスクは極めて大きいと考えられます。

この制度は、避難施設の維持管理、棚及び什器の転倒防止措置、地震等の災害発生時にその被害を軽減させるため措置がとられているか等、大規模建築物等に選任が義務付けられた防災管理者を中心に行われる防災管理業務



の状況を、毎年1回防災管理点検資格者*に点検させ、その結果を消防機関に報告するものです。防災管理点検も防火対象物点検と同様に、防火対象物が点検基準に適合している場合には、その旨の表示をすることができます。

先述の防火対象物定期点検報告と防災管理点検報告は異なるものであり、対象となる建物の基準が違うため、両方実施しなくてはならない対象物もあります。

* 防災管理点検資格者・・・防災管理に関する専門知識を有し、必要な講習等を修了した者

● 防火対象物点検又は防災管理点検報告を要する管理権原者数

防火対象物点検	防災管理点検
4 4 1	1 2 7

* 1の防火対象物に複数の管理権原者がいる場合は、管理権原者ごとに点検・報告する必要があります。

◆ 消防同意・消防用設備等の検査件数

消防法の規定により建築物の新築、増築、改築等を行う場合には、申請時に消防機関の同意が必要とされています。

また、防火対象物のうち一定の規模以上のものに対して、消防用設備等を設置する際の消防検査を義務付け、消防法令を遵守することを規定しています。

● 消防同意

令和8年3月31日現在

区分	新築	増築	改築	移転	用途変更	修繕	模様替	その他	合計
件数	319	114	1	0	4	1	0	18	457

● 消防用設備等の検査

令和8年3月31日現在

区 分		件 数	区 分		件 数
消 火 設 備	消 火 器	161	警 報 設 備	火 災 報 知 設 備	26
	屋 内 消 火 栓 設 備	46		非 常 警 報 設 備	73
	スプリンクラー設備	49	避 難 設 備	避 難 器 具	56
	水噴霧消火設備			誘 導 灯	299
	泡消火設備	11	そ の 他	消 防 用 水	6
	不活性ガス消火設備	1		排 煙 設 備	
	ハロゲン化物消火設備	2		連 結 散 水 設 備	
	粉末消火設備	15		連 結 送 水 管	13
	屋外消火栓設備	17		非 常 コ ン セ ン ト 設 備	1
	動力消防ポンプ設備	10		無 線 通 信 補 助 設 備	
		令 2 9 条 の 4		20	
警 報 設 備	自動火災報知設備	552	採 水 口		
	ガス漏れ火災警報設備				
	漏電火災警報器				
合 計					1,358

* 件数は一定の規模未満の防火対象物で実施した消防検査(任意)を含む

◆ 危険物施設設置数

近年、危険物の使用は多種多様化し、事業所等で幅広く利用されるとともに、私たちの生活にも深く浸透しています。危険物施設における事故は、一旦発生すれば甚大な被害をもたらす恐れがあり、その安全確保の重要性は益々増大しています。

当市は、自動車関連を基盤として発展した産業に関する危険物施設が多く、一般取扱所、給油取扱所、屋内貯蔵所の順となっています。

こうした危険物施設に対して、許認可審査、完成検査、立入検査等を通じて、危険物施設等の安全管理指導を行い、安全で安心な市民生活の確保を目指しています。

● 危険物施設設置状況

令和8年3月31日現在（施設）

管轄署所	製造所	屋内貯蔵所	貯蔵所 屋外タンク	貯蔵所 屋内タンク	貯蔵所 地下タンク	貯蔵所 簡易タンク	貯蔵所 移動タンク	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	合計
北消防署		16	2	4	17		5		21	1	16	82
藤岡小原分署	5	32	61	14	17		9	5	18		32	193
保見出張所		10	12	2	3	1	12		13		2	55
力石出張所	1	11	3	1	2	1	9	2	18		10	58
中消防署		27	8	4	35		2	3	18		51	148
東分署		5	2	1	6		3		7	1	1	26
逢妻分署		10		1	2		7	1	10		12	43
松平出張所		2			4		1		2		1	10
南消防署		14	8	20	21	1	1	4	24		21	114
西分署		34	12	2	15		4	4	25		31	127
未野原分署	3	8	6	1	4		8		15		6	51
高岡出張所	1	33	21	23	14	2	14	8	39		42	197
足助消防署		2	3	2	5		5	1	6		1	25
旭出張所			1	1	7		2		5			16
稲武出張所		2	1	2	4		2		8			19
下山出張所		7			3	2	3		6		2	23
合計	10	213	140	78	159	7	87	28	235	2	228	1,187

◆ 圧縮アセチレンガス等の設置状況

令和8年3月31日現在 (件)

圧縮アセチレンガス等					
圧縮アセチレンガス	無水硫酸	液化石油ガス	生石灰	毒物	劇物
86	9	3,993	14	30	66

◆ 指定可燃物等及び少量危険物の設置状況

令和8年3月31日現在 (件)

指定可燃物等					少量危険物	
可燃性固体類	可燃性液体類	合成樹脂類	再生資源燃料	その他		移動タンク
14	118	177	4	113	2,438	219

◆ 製造所等に対する立入検査の状況

施設数：令和8年3月31日現在 実施数：令和7年度延べ実施数

製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所								取扱所					
			小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油	第一種販売	第二種販売	移送	一般
施設数	1,187	10	712	213	140	78	159	7	87	28	465	235	2			228
実施数	670	12	224	43	70	39	34	2	24	12	434	74	1			359

◆ 防災

「平成28年熊本地震」や「令和6年能登半島地震」等、近年発生した大規模災害を教訓に海洋型大地震、内陸直下型激甚大地震を含めた各種の対策を進めています。

大規模地震等が発生した際には、防災関係機関の防災活動だけでは困難が予想されます。被害を最小限に食い止めるために市域内の公共的団体等の防災に関する組織及び住民の隣保協同の精神に基づく自発的な防災組織の充実を図っています。

◆ 自主防災組織数

大規模地震等の災害が発生した場合、災害から生命や財産を守るためには、地域住民が団結し、自助、互助の精神を発揮して助け合うことが不可欠であり、各自主防災会が自発的努力に基づき組織的に行動することが大切です。

こうしたことから、主に自治区を単位として、地元住民による自主防災組織が編成されています。

● 自主防災会数等

令和8年4月1日現在

自主防災会数	総自治区数	自主防災会結成済自治区数	組織率 (%)
319	296	296	100

◆ 水防倉庫

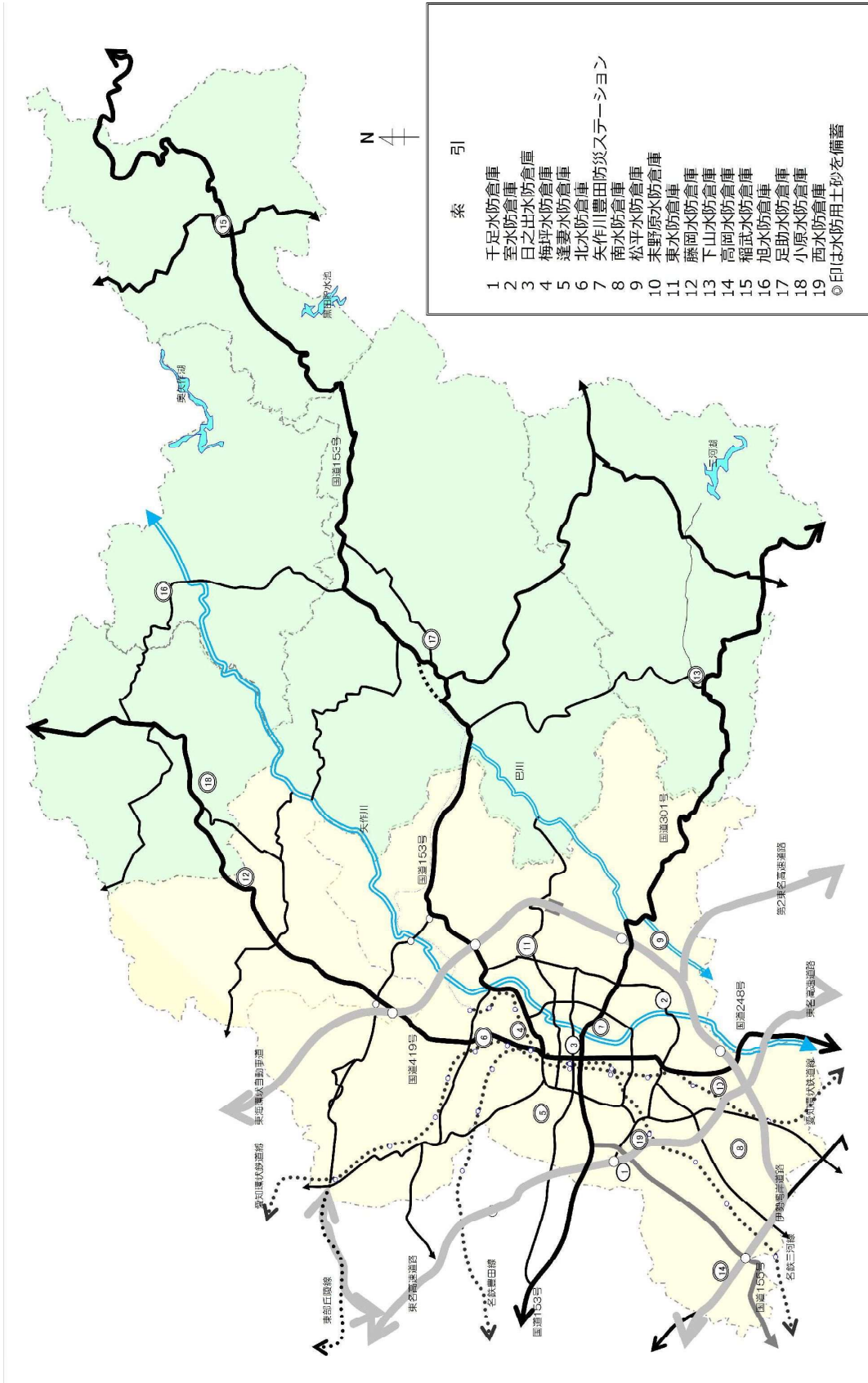
豊田市水防計画に基づき、予測できない大雨による堤防の決壊や土石流を考慮し、水防倉庫（19か所）を設置して資機材を備蓄しています。

● 水防倉庫

（※印は署所併設外）

年度	名称	水防用土砂置場
昭和54年度	千足 [※]	無
昭和59年度	室 [※]	無
昭和63年度	日之出 [※]	無
平成2年度	梅坪 [※]	有
平成13年度	逢妻	有
平成14年度	北、矢作川豊田防災ステーション [※]	有
平成15年度	南	有
平成16年度	松平	有
平成17年度	末野原	有
平成18年度	東	有
平成19年度	藤岡	有
平成20年度	下山	有
平成24年度	高岡、稲武	有
平成28年度	旭	有
平成29年度	足助	有
令和2年度	小原 [※]	有
令和4年度	西	有

●水防倉庫の配置図



- 索引
- 1 千足水防倉庫
 - 2 室水防倉庫
 - 3 日之出水防倉庫
 - 4 梅坪水防倉庫
 - 5 蓬葦水防倉庫
 - 6 北水防倉庫
 - 7 矢作川豊田防災ステーション
 - 8 南水防倉庫
 - 9 松平水防倉庫
 - 10 未野原水防倉庫
 - 11 東水防倉庫
 - 12 藤岡水防倉庫
 - 13 下山水防倉庫
 - 14 高岡水防倉庫
 - 15 稲武水防倉庫
 - 16 旭水防倉庫
 - 17 足助水防倉庫
 - 18 小原水防倉庫
 - 19 西水防倉庫
- ◎印は水防用土砂を備蓄

◆ 応援協定

市町村は、当該市町村の区域内で発生した災害に対し、自らその責を果たさなければなりません。火災等の災害が市町村の境界付近で発生した場合や地震、風水害、林野火災等のようにその災害が大規模で広域に及ぶ場合には、個々の市町村の消防力のみでは十分な対応ができないおそれがあります。

このような場合には市域を越えて消防力の運用を図る必要があり、近隣市町村等との間で資機材の提供及び人員の派遣の協定を結び、万々に備えています。

● 近隣市町村等との各種応援協定

応援協定名	協定締結消防機関名 協定締結団体	締結年月
愛知県内広域 消防相互応援協定	愛知県内24市6町10組合1連合 *協定締結団体は、締結当時です。	平成15年4月
愛知県下高速道路にお ける消防相互応援協定	17市1町4組合1連合	平成30年7月
西三河地域 消防相互応援協定	岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、 西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田 町、尾三消防組合、衣浦東部広域連合	令和7年4月
愛知県における航空機を用い た市町村等の消防支援協定	豊田市、愛知県	令和4年4月
豊田市・土岐市 消防相互応援協定	豊田市、土岐市	平成10年9月
豊田市・瑞浪市 消防相互応援協定	豊田市、瑞浪市	平成10年9月
消防・防災に関する応援 活動協定	豊田市、トヨタ自動車株式会社	平成13年10月
衣浦豊田道路における消 防相互応援協定	豊田市、衣浦東部広域連合	平成16年4月
豊田市・恵那市消防本 部消防相互応援協定	豊田市、恵那市	平成17年4月
豊田市・南信州広域連 合消防相互応援協定	豊田市、南信州広域連合	平成17年4月
豊田市・新城市消防相 互応援協定	豊田市、新城市	令和8年4月

◆ 消防用ドローンの活用状況

	災害出動	災害対応訓練
活用回数	25回	21回
林野火災13件、水難救助8件、指定建物火災1件、地下中高層建物火災1件 高所救助1件、火災調査1件		
飛行日数／累計 運行時間	133日 / 48時間	

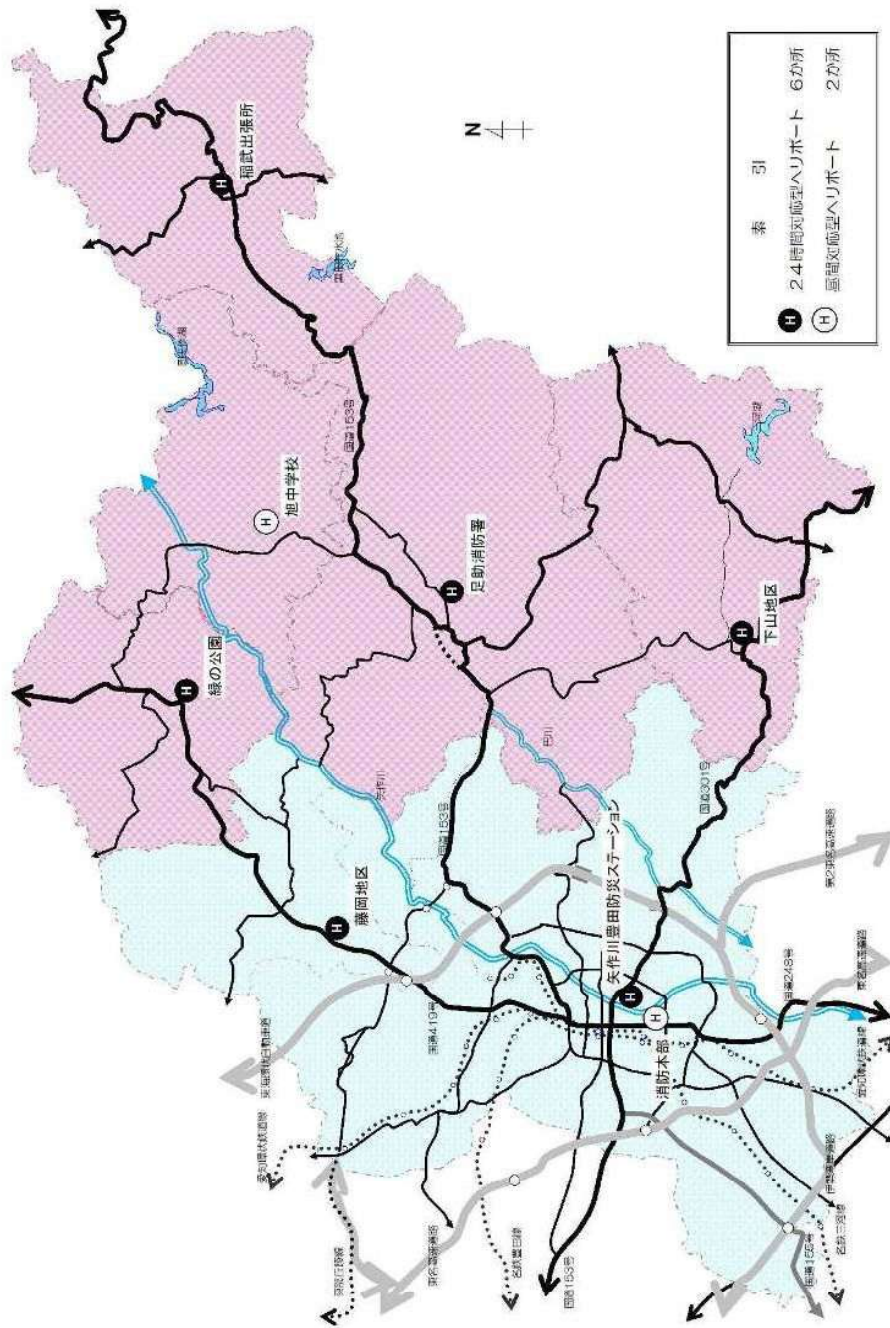
◆ ヘリポートの設置

広大な面積を有する本市は、大規模災害が発生した時には道路等が分断されて孤立する地域の発生が懸念されます。そのため、ヘリコプターを活用できる24時間対応型ヘリポート6か所、昼間対応型ヘリポート2か所を整備し、迅速に重症傷病者の医療機関への収容や救援物資の搬送ができる体制を構築しています。

地区名	名称	所在地	種別	自衛隊ヘリ 使用承諾※	運用開始 年月
足助地区	足助消防署ヘリポート	桑田和町中貝戸6	24時間 対応型		平成20年 4月
小原地区	緑の公園ヘリポート	市場町陣出875	24時間 対応型	○	平成21年 1月
藤岡地区	藤岡地区ヘリポート	深見町岩花1067-1	24時間 対応型	○	平成21年 3月
豊田地区	矢作川豊田防災ステーションヘリポート	森町1-90	24時間 対応型	○	平成21年 4月
下山地区	下山地区ヘリポート	大沼町八沢118-1	24時間 対応型		平成23年 11月
稲武地区	稲武出張所ヘリポート	稲武町宮ノヒラ 8-13	24時間 対応型		平成25年 8月
旭地区	旭中学校ヘリポート	杉本町羽根1-1	昼間 対応型		平成27年 4月
豊田地区	消防本部ヘリポート	長興寺5-17-1	昼間 対応型		平成30年 4月

※自衛隊からの依頼を受け、豊田市が使用を承諾しているヘリポートです。自衛隊が事前に大型ヘリ等の離発着が可能かを調査しています。

●ヘリポート配置図



災害対策

令和7年度 全国消防救助技術大会（於：兵庫県立広域防災センター）



はしご車（車両名：とよた中31）



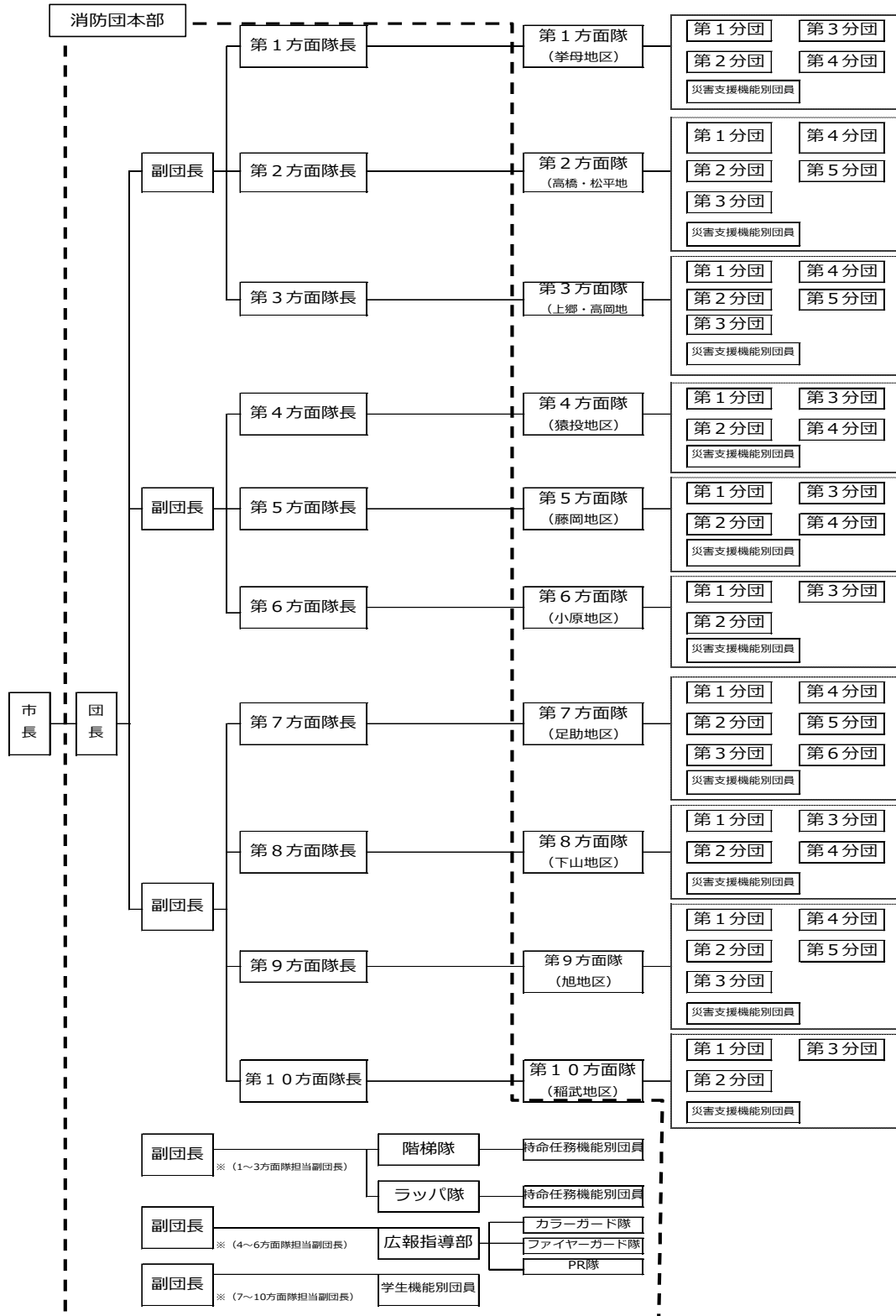
Ⅷ. 消防団



◆ 豊田市消防団組織図

豊田市消防団は、各地区を単位として、10方面隊・43分団・115部で編成されています。団員数は、令和8年4月1日現在、団長以下1,819人（うち女性100人）となっています。

消防団は、火災・風水害等の際の活動を始めとして、地域住民に対する防災意識の普及等を行い、安全な地域づくりの一端を担っています。



◆ 消防団格納庫

●消防団格納庫の面積等

令和8年4月1日現在

方面隊	分団	班	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	方面隊	分団	班	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)
第1方面隊	第1分団	元城	78	78	第2方面隊	第2分団	扶桑	50.82	50.82
		竹生	70	116			平井	34.39	34.39
		平芝	52.8	52.8			百々	21.37	41.24
		梅坪	50.82	50.82			岩滝	39.75	74.54
		浄水	42.91	79.27					
	第2分団	樹木	44.4	44.4		矢並	29.63	55.67	
		小坂	39.75	74.54		山中	9.45	9.45	
		下市場	29.83	57.5		第3分団	野見	29.46	54.66
		金谷	50.82	50.82			広川	52.8	52.8
		長興寺	29.46	54.66			古瀬間	76.19	76.19
		第3分団	宮口	39.75	74.54	大見	29.46	54.66	
	宮上		52.5	52.5	第4分団	九久平	32.55	59.2	
	宮		42.23	42.23		幸海	39.75	74.54	
	本新		50.82	50.82		穂積	25.92	25.92	
	千足		52.8	52.8		岩倉	46.84	46.84	
	深田		40.07	75.39		桂野	88.83	88.83	
	本地	52.5	52.5	第5分団	林添	29.62	55.66		
	第4分団	今	52.2		52.2	滝脇	42.15	42.15	
		前山	37.64		37.64	長沢	21.13	21.13	
		渡合	22.68		22.68	豊松	52.95	52.95	
		室	23.49		23.49	松平	9.45	9.45	
	第2方面隊	第1分団	高橋	37	74	坂上(仁王)	36.4	72.8	
			上野	40.07	74.47	坂上(日明)	24.7	24.7	
			市木	45.36	45.36	石楠	21.28	21.28	

方面隊	分 団	班	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	方面隊	分 団	班	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)
第3方面隊	第1分団	鴛鴨	52.5	52.5	第4方面隊	第1分団	東保見	50.8	50.8
		大林	40.07	74.52			田籽	40.07	75.39
		渡刈	40.07	75.39			貝津	76.68	76.68
		豊栄	39.75	74.54			伊保	40.07	74.47
		永覚	51.6	51.6		第2分団	猿投	29.63	55.67
	第2分団	上郷	66.24	66.24			加納	45.5	45.5
		畝部東 (中切)	41.59	41.59			亀首	40	73
		柳塚東	31.73	31.73			舞木	50.8	50.8
		配津	45	45			乙部	39.75	74.54
		福受	40.07	74.47		第3分団	四郷	39.75	79.5
	和会	52.2	52.2	御船			52.8	52.8	
	第3分団	土橋	39.75	74.54			越戸	40.04	74.52
		本	53.7	53.7			花本	40.06	75.37
		中	43.15	43.15		西広瀬	29.6	55.6	
	第4分団	若林	43.89	83.64		第4分団	東広瀬	40.07	74.47
		中根	27.47	27.47			小峯	52.2	52.2
		花園	40.07	73.02			力石	50.82	50.82
	第5分団	堤	40.06	75.37			藤沢	30	43.5
		上丘	50.82	50.82			富田	24.3	24.3
		西岡	52.8	52.8			寺下	73.76	73.76
		前林	67.17	67.17			成合	12.6	12.6
		駒場	57.6	57.6			中金	52.8	52.8
		中田	50.82	50.82			芳友	50.82	50.82
4方面隊	第1分団	八草	51.9	51.9	野口		41.54	41.54	
		広幡	46.08	46.08	中切		25.92	25.92	
		大畑	38.3	69.56					
		篠原	40.07	75.39					
		保見	50.82	50.82					

消 防 団

方面隊	分 団	班	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	方面隊	分 団	班	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	
第5方面隊	第1分団	木瀬	98.25	98.25	第7方面隊	第1分団	足助(田町)	93	93	
		藤岡飯野	83.12	83.12			山谷	57	57	
	第2分団	西中山	39.74	74.52		第2分団	足助(宮平)	40.07	74.37	
		深見	26.88	26.88			葛沢	28	28	
	第3分団	御作	94.7	122.8		第3分団	近岡	40.55	81.10	
							国谷	76.19	76.19	
	第4分団	折平	40.07	74.37		第4分団	則定	52.65	52.65	
							白川	85.8	92.5	上佐切
	第6方面隊	第1分団	大平	40.07		74.52	第5分団	竜岡	50	50
			乙ヶ林	76.19		76.19		明川	40.47	74.87
北篠平			28.8	28.8	五反田	16		16		
第2分団		上仁木	54.45	54.45	第6分団	大多賀	31	31		
		雑敷	46.98	46.98		新盛	76.2	76.2		
		永太郎	40.07	74.47		大蔵	66	66		
第3分団		小原	78.75	78.75	第6分団	大河原	31.68	31.68		
						市場	53.18	53.18	御蔵	35
							月原	45.54	45.54	

方面隊	分団	班	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	方面隊	分団	班	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	
第8方面隊	第1分団	下山田代	87	87	第9方面隊	第3分団	杉本	34.02	34.02	
		花沢	24.8	24.8			太田	4.86	4.86	
	第2分団	大沼	58.18	107.48			加塩	9.45	9.45	
		第3分団	蘭	23.4			23.4	榊野	40	80
	和合		91.49	91.49		第4分団	模本	40.07	74.47	
	第4分団	阿蔵	47.19	47.19			伊熊	19.44	19.44	
		立岩	野原	21.49		21.49	第5分団	浅谷	50	50
			羽布	92.75		92.75		稲武	102	102
	第9方面隊		第1分団	田津原		21.49	21.49	第10方面隊	川手	56.25
	小渡	77		77		大野瀬	63.75		63.75	
	第2分団	笹戸	76.19	76.19		第2分団	小田木		121.87	121.87
		第3分団					黒田	75.54	75.54	
御所貝津	40.07				74.47					
						武節	27.38	27.38		
						桑原	72.15	72.15		

◆ 消防団車両・小型動力ポンプ等

消防団には、消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車及び小型動力ポンプが適正に配置されており、災害時には地域のニーズに応え大きな機動力となるようその活動が期待されています。

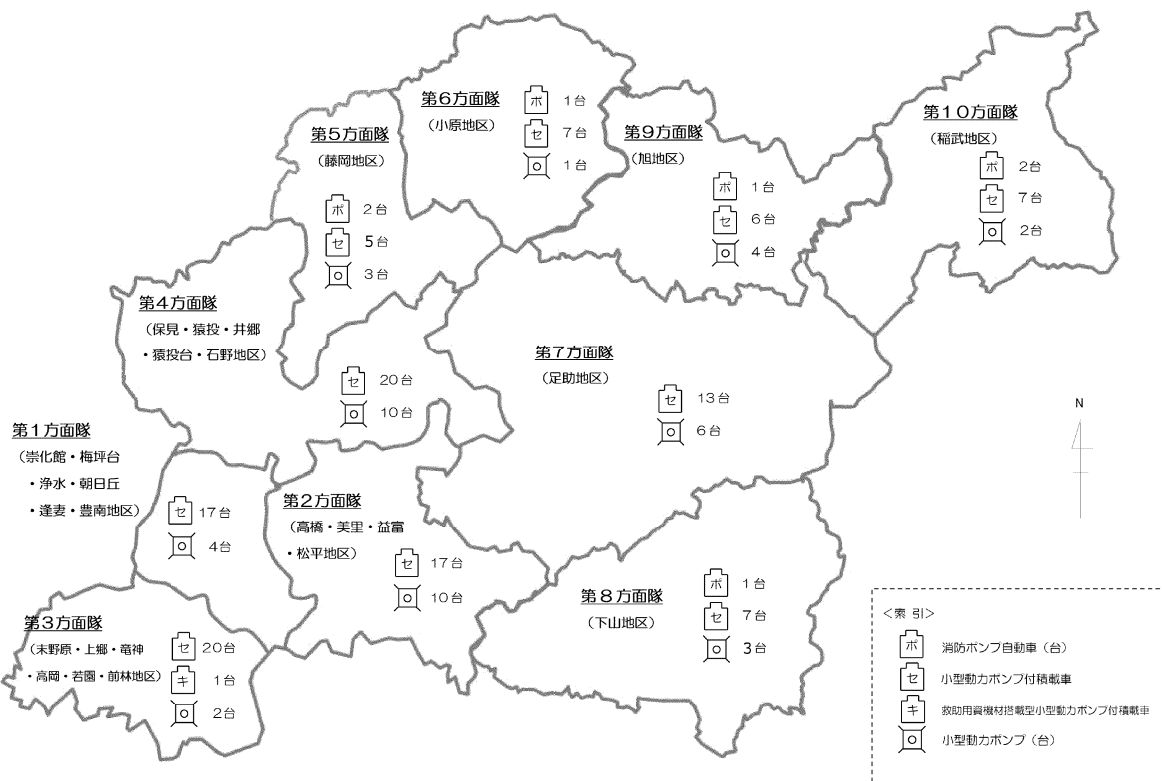
消防団における機械力の整備状況は消防ポンプ自動車7台、小型動力ポンプ付積載車119台、救助用資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車1台、小型動力ポンプ45台及び指揮車1台となっています。

●消防団の車両・小型動力ポンプの配置

分 団	車 両 及 び 小 型 動 力 ポ ン プ			
団 本 部	指 揮 車	1		
■第1方面隊 (崇化館・梅坪台・浄水・朝日丘・逢妻・豊南)				
第 1 分 団	小型動力ポンプ付積載車	5		
第 2 分 団	小型動力ポンプ付積載車	5		
第 3 分 団	小型動力ポンプ付積載車	4	小型動力ポンプ	3
第 4 分 団	小型動力ポンプ付積載車	3	小型動力ポンプ	1
■第2方面隊 (高橋・美里・益富・松平)				
第 1 分 団	小型動力ポンプ付積載車	3		
第 2 分 団	小型動力ポンプ付積載車	3	小型動力ポンプ	3
第 3 分 団	小型動力ポンプ付積載車	4		
第 4 分 団	小型動力ポンプ付積載車	4	小型動力ポンプ	2
第 5 分 団	小型動力ポンプ付積載車	3	小型動力ポンプ	5
■第3方面隊 (未野原・上郷・竜神・高岡・若園・前林)				
第 1 分 団	小型動力ポンプ付積載車	5		
第 2 分 団	小型動力ポンプ付積載車	5	小型動力ポンプ	1
第 3 分 団	小型動力ポンプ付積載車 救助用資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車	2 1		
第 4 分 団	小型動力ポンプ付積載車	3		
第 5 分 団	小型動力ポンプ付積載車	5	小型動力ポンプ	1
■第4方面隊 (保見・猿投・井郷・猿投台・石野)				
第 1 分 団	小型動力ポンプ付積載車	6	小型動力ポンプ	3
第 2 分 団	小型動力ポンプ付積載車	4	小型動力ポンプ	1
第 3 分 団	小型動力ポンプ付積載車	4	小型動力ポンプ	1
第 4 分 団	小型動力ポンプ付積載車	6	小型動力ポンプ	5
■第5方面隊 (藤岡・藤岡南)				
第 1 分 団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	小型動力ポンプ	2
第 2 分 団	小型動力ポンプ付積載車	2	小型動力ポンプ	1
第 3 分 団	小型動力ポンプ付積載車	1		
第 4 分 団	小型動力ポンプ付積載車	2		
分 団	車 両 及 び 小 型 動 力 ポ ン プ			

■第6方面隊 (小原)				
第 1 分 団	消 防 ポ ン プ 自 動 車 小型動力ポンプ付積載車	1 2	小型動力ポンプ	1
第 2 分 団	小型動力ポンプ付積載車	3		
第 3 分 団	小型動力ポンプ付積載車	2		
■第7方面隊 (足助)				
第 1 分 団	小型動力ポンプ付積載車	2		
第 2 分 団	小型動力ポンプ付積載車	2		
第 3 分 団	小型動力ポンプ付積載車	2		
第 4 分 団	小型動力ポンプ付積載車	2	小型動力ポンプ	1
第 5 分 団	小型動力ポンプ付積載車	2	小型動力ポンプ	2
第 6 分 団	小型動力ポンプ付積載車	3	小型動力ポンプ	3
■第8方面隊 (下山)				
第 1 分 団	小型動力ポンプ付積載車	2	小型動力ポンプ	1
第 2 分 団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	小型動力ポンプ	1
第 3 分 団	小型動力ポンプ付積載車	2		
第 4 分 団	小型動力ポンプ付積載車	3	小型動力ポンプ	1
■第9方面隊 (旭)				
第 1 分 団	消 防 ポ ン プ 自 動 車 小型動力ポンプ付積載車	1 1	小型動力ポンプ	1
第 2 分 団	小型動力ポンプ付積載車	1		
第 3 分 団	小型動力ポンプ付積載車	2	小型動力ポンプ	2
第 4 分 団	小型動力ポンプ付積載車	1	小型動力ポンプ	1
第 5 分 団	小型動力ポンプ付積載車	1		
■第10方面隊 (稲武)				
第 1 分 団	消 防 ポ ン プ 自 動 車 小型動力ポンプ付積載車	1 3	小型動力ポンプ	1
第 2 分 団	小型動力ポンプ付積載車	3		
第 3 分 団	消 防 ポ ン プ 自 動 車 小型動力ポンプ付積載車	1 1	小型動力ポンプ	1

●消防団機械器具の配置図



◆ 消防団協力事業所表示制度

豊田市消防団の活動に協力している市内の事業所等を「消防団協力事業所」として認定し、消防団協力事業所表示証を交付する制度です。

事業所の消防活動への社会貢献を広めるとともに、事業所の協力を得ることで地域防災力の強化を推進することを目的としています。

◆ 豊田市消防団応援の店

地域のために頑張っている消防団員を支援するため、事業所に「消防団応援の店」として登録し、特典やサービスなどの協力を通じて、消防団を応援していただくものです。消防団員に貸与している豊田市消防団員証を、企業や店舗など「消防団応援の店」で飲食等利用した際に提示することにより、消防団員がお店から様々な特典を受けられます。



◆ 豊田市学生消防団活動認証制度

消防団活動を通じて地域社会へ多大なる貢献をした大学生、大学院生又は専門学校生の功績を市が認証し、就職活動支援の一環として本人用の認証状と企業提出用の認証証明書を交付して就職活動を支援する制度です。

Ⅳ. 消防音楽隊・ 関係団体



少年消防クラブ愛知県消防学校一日入校

◆ 消防音楽隊

消防音楽隊は、昭和51年10月の結成以来、消防の諸行事、式典を始め市主催行事等において、演奏活動を通じて防火・防災思想の普及啓発に努め、平成15年度からは女性消防団員によるカラーガード隊「ひまわりフェアリーズ」と共演し、平成16年度には一般公募による市民演奏者を迎えて市民及び消防団員と一緒に活動しています。

●階級別編成

令和8年4月1日現在

階級等	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	市民演奏者	合計
人数	2	5	6	4	2	16	35

●パート別編成

令和8年4月1日現在

パート	人数			パート	人数		パート	人数	
	講師	職員	市民		職員	市民		職員	市民
指揮者	1			テナーサクソ	2		ホルン	1	2
フルート			3	バリトンサクソ	1		ユーフォニアム	1	1
クラリネット		2	2	トランペット	3	3	チューバ	2	
アルトサクソ		1	1	トロンボーン	3	3	パーカッション	3	1

●令和7年度活動状況

活動回数	内訳	
	練習回数	派遣回数
36	24	12

※派遣回数12回のうち5回にあっては、小編成で対象を限定した啓発を実施

◆ 関係団体

防火危険物安全協会

平成13年に防火協力会と危険物安全協会が統合し、防火危険物安全協会が発足しました。平成17年の市町村合併に伴い、加茂危険物安全協会及び足助地域危険物安全協会とも合併し、現在の規模となりました。消防機関と協力して防火管理及び危険物の安全管理を徹底することで、火災等の災害を防止し、社会公共の安全並びに福祉の増進に寄与することを目的としています。

●協会の現況

令和8年4月1日現在

防火危険物安全協会の会員数	315
---------------	-----

●令和7年度の主な活動実績

活動日	活動内容
5月23日	第25回定期総会
6月8日～14日	危険物安全週間（ポスターによる危険物災害予防の啓発）
10月23日	第60回消火競技会
11月15日	一日消防長委嘱式・街頭防火宣伝（イオンスタイル豊田）
11月9日～15日	秋の火災予防運動（ポスターによる火災予防の啓発）
1月10日	出初・観閲式&とよた消防フェスタ
2月6日～7日	視察研修（北陸方面）
3月1日～7日	春の火災予防運動（ポスターによる火災予防の啓発）

女性消防クラブ

「防火はお茶の間（わが家）から」を合言葉に家庭の主婦を中心として結成された女性消防クラブは、防火、防災教室で知識・技術を修得し、住宅用火災警報器をはじめとする住宅用防災機器の普及啓発や防火意識の高揚を図る活動を推進するなど、家庭や地域の防火、防災活動に積極的に取り組んでいます。

●女性消防クラブの現況

令和8年4月1日現在

クラブ数	3
クラブ人員数	92

●令和7年度の主な活動実績

活動日	活動内容
通年	各クラブにて啓発活動等

少年消防クラブ

少年消防クラブは、市内の小学5年生から中学3年生までを対象とし、防火・防災の知識を身につけるとともに、防火・防災思想の普及を図ることを目的に結成されています。

●少年消防クラブの現況

令和8年4月1日現在

	合 計	小 学 校	中 学 校
ク ラ ブ 数	103	75	28
クラブ人員数	18,474	7,337	11,137

●令和7年度の主な活動実績

活 動 日	活 動 内 容
7月29日	愛知県消防学校一日入校
9月13日、14日	全国少年消防クラブ交流大会（広島県）
夏休み期間中	防火作品（ポスター・習字）の作成

幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期において火の取扱い方を正しく身に付けることにより、「火遊び等による火災の防止」とともに「消防の仕事を理解してもらう」ことを目的として結成されています。

●幼年消防クラブの現況

令和8年4月1日現在

	合 計	公立幼稚園・ こども園	私立幼稚園・ こども園	認定こども園
ク ラ ブ 数	95	51	18	26
クラブ人員数	10,472	4,518	1,696	4,258

●令和7年度の主な活動実績

活 動 日	活 動 内 容
5月～10月	防サイ君による地震体験
7月	花火教室
9月	敬老の日カード作成・配布
9月27日	第30回消防こども写生大会（消防本部・中消防署）

関係団体

高校生消防クラブ

高校生消防クラブは、高校生世代の防火防災意識を幅広く向上させることを目的として、平成29年度に県内で初めて設立しました。市内の高校に通う生徒が防火防災に関するプログラムを通じて、知識や技術を身に付け、学んだことを自分の通う高校で発表し、普及啓発活動につなげます。

●高校生消防クラブの現況

令和7年度中

カリキュラム参加者数	66人
------------	-----

●令和7年度の活動実績

活動日	活動内容
7～11月	火災予防啓発横断幕制作（豊田大谷高校・ダンス部）、防火講習
7月～11月	秋の火災予防運動ポスター制作（杜若高校・美術部）、防火講習
11月	街頭防火宣伝・1日消防長委嘱（杜若高校・美術部）

[統計資料]



豊田市消防ビジョン ～第4次豊田市消防整備基本計画～
【2025年度から2029年度までの前期実践計画 指標（抜粋）】

めざすまちの姿1 みんなで防火に取り組むまち		
施策1 住宅における防火対策の推進	【成果指標】	【2029年度までの目標値】
取組事業1 高齢者に向けた防火啓発	講座を実施した団体数	60団体(12地区)
取組事業2 福祉事業所と連携した防火指導	福祉事業所と連携した地区数(中学校区)	28地区
施策2 事業所における防火対策の推進	【成果指標】	【2029年度までの目標値】
取組事業1 消防法令違反への対策強化	防火対象物：特定違反対象物数、危険物施設：違反施設数	特定違反対象物数：↓、違反施設数：↓
取組事業2 消防用設備等の適正管理指導	消防用設備等点検結果報告率	72.5%
施策3 防火防災教育の充実	【成果指標】	【2029年度までの目標値】
取組事業1 こどもに向けた防火防災教育の充実	市内小学校(75校)で防火防災教育を実施した校数	75校
取組事業2 防災学習センターを拠点とした防火防災啓発	市内在住、在勤又は在学する市民の利用者数	13,500人(各年度)
めざすまちの姿2 みんなで命を救えるまち		
施策1 救命体制の充実強化	【成果指標】	【2029年度までの目標値】
取組事業1 事業所等における応急手当普及員の養成	応急手当普及員が講習を実施している事業所の数	71事業所
取組事業2 複数の救急救命士による活動の高度化	運用救急救命士数	145人
施策2 救急需要増加への対策	【成果指標】	【2029年度までの目標値】
取組事業1 救急業務体制の整備	救急隊数	19隊
取組事業2 多機関との連携体制の充実	連携すべき事案への対応率	100%(各年度)
取組事業3 救急車の適時・適切な利用の推進	豊田市の救急情勢に関する理解度	50%
めざすまちの姿3 地域防災力を育むまち		
施策1 消防団員の確保	【成果指標】	【2029年度までの目標値】
取組事業1 女性団員の活躍推進	女性団員の割合	5.0%
取組事業2 機能別団員制度の拡充	機能別団員制度を新たに導入した団体数	3団体
施策2 消防団を取り巻く活動環境の整備	【成果指標】	【2029年度までの目標値】
取組事業1 消防団施設・車両の整備	計画に基づく①消防団施設の整備数及び②消防団車両の整備数	①9施設 ②41台
取組事業2 やりがいと魅力ある消防団活動の推進	やりがいを持って活動をしている消防団員の割合	50%
施策3 消防団の災害対応力の強化	【成果指標】	【2029年度までの目標値】
取組事業1 消防団活動に必要な知識・技術の習得	消防団員の活動方法をマニュアル化した数	5項目
取組事業2 消防団を主体とした地域連携の強化	消防団が指導した自治区の割合	50%
めざすまちの姿4 あらゆる災害に備えるまち		
施策1 多様な災害への対応力強化	【成果指標】	【2029年度までの目標値】
取組事業1 特定任務業務の再構築	新たな体制での特定任務運用	運用開始
取組事業2 火災対応の維持強化	特別消防救助隊の設置	1隊
取組事業3 指揮運用体制の強化	指揮調査業務体制の改変	指揮隊4隊 調査隊1隊
施策2 大規模災害への対策強化	【成果指標】	【2029年度までの目標値】
取組事業1 被災から受援までの体制強化	新たな受援体制に基づく訓練の実施率	100%(各年度)
取組事業2 土砂・風水害への対策強化	土砂・風水害対応訓練の実施	4回(各年度)
施策3 消防機械・水利の整備	【成果指標】	【2029年度までの目標値】
取組事業1 消防用資機材の整備	重点消防機械の整備	2以上
取組事業2 防火水槽の最適化	防火水槽の地震対策	13基(各年度)
めざすまちの姿5 充実した消防組織が守るまち		
施策1 高度で質の高い人材育成	【成果指標】	【2029年度までの目標値】
取組事業1 新たな研修計画の策定	新たな消防職員研修計画の策定	消防職員研修計画策定
取組事業2 高齢期職員の能力活用	高齢期職員研修計画の策定	高齢期職員研修計画の策定
施策2 多様で柔軟な働き方の推進	【成果指標】	【2029年度までの目標値】
取組事業1 女性消防職員の活躍推進	女性消防職員の割合	5.0%
取組事業2 働きやすい職場の確立	男性消防職員の育児休業取得率	85%
取組事業3 事業事務の最適化	適正化のために見直した事業事務の数	5件

一般会計予算と消防予算の推移

(千円)

年度	区分	一般会計予算〈当初〉	消防予算〈当初〉	比率(%)
令和4年度		180,100,000	7,099,583	3.94
令和5年度		188,300,000	7,151,362	3.80
令和6年度		195,426,534	8,646,641	4.42
令和7年度		219,700,000	12,027,091※	5.47
令和8年度		211,800,000	7,333,562	3.46

歳入当初予算額（消防本部）の推移

(千円)

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
使用料及び手数料		17,202	15,406	15,072	20,648	23,287
国庫支出金		78,168	27,959	83,763	129,997	47,983
県支出金		7,221	7,249	8,778	39	1,813
財産収入		520	3,860	6,360	2,000	3,500
諸収入		60,737	49,279	54,266	21,273	25,337
合計		163,848	103,753	168,239	173,957	101,920

歳出当初予算額（消防費）の推移

(千円)

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
消防費		7,099,583	7,151,362	8,646,641	12,027,091	7,333,562
目	常備消防費	5,452,425	5,627,163	5,727,235	6,188,543	5,787,582
	非常備消防費	427,488	505,949	609,161	590,563	402,952
	消防施設費	529,927	330,459	270,236	4,460,934	373,092
	水防費	19,470	8,799	3,504	3,700	3,478
	災害対策費	670,273	678,992	2,036,505	783,351	766,458

人口・世帯当たりの消防予算の推移

区分	消防費 (千円)	人口1人当たり		1世帯当たり	
		人口	1人当たり (円)	世帯数	1世帯当たり (円)
年度					
令和4年度	7,099,583	418,284	16,973	183,262	38,740
令和5年度	7,151,362	416,747	17,160	184,884	38,680
令和6年度	8,646,641	415,853	20,792	187,545	46,104
令和7年度	12,027,091	415,138	28,971	190,271	63,210
令和8年度	7,333,562	414,394	17,697	192,928	38,012

*人口及び世帯数は令和8年4月1日の数値

消防職員の年齢

令和8年4月1日現在

階級 年齢	合計	消 防 正 監	消防監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士
合 計	544	1	8	38	65	119	144	97	72
18 歳	2								2
19 歳	2								2
20 歳	2								2
21 歳	3								3
22 歳	12								12
23 歳	17								17
24 歳	18								18
25 歳	10								10
26 歳	19							15	4
27 歳	14							12	2
28 歳	27							27	
29 歳	20							20	
30 歳	16							16	
31 歳	16						13	3	
32 歳	31						28	3	
33 歳	19						19		
34 歳	23						22	1	
35 歳	19					1	18		
36 歳	15					5	10		
37 歳	18					9	9		
38 歳	14					6	8		
39 歳	17					13	4		
40 歳	9					9			
41 歳	10					9	1		
42 歳	6				2	3	1		
43 歳	9				2	6	1		
44 歳	10				4	6			
45 歳	9				5	4			
46 歳	11				5	4	2		
47 歳	14			6	7	1			
48 歳	14			1	5	6	2		
49 歳	13			2	7	4			
50 歳	18			6	6	5	1		
51 歳	12			7	2	2	1		
52 歳	12		1	6	4	1			
53 歳	9		1	3	4	1			
54 歳	9		2	1	3	3			
55 歳	4				2	2			
56 歳	3		1	2					
57 歳	2		2						
58 歳	3		1	1	1				
59 歳	7	1		3	3				
60 歳	5					5			
61 歳	4					4			
62 歳	6					6			
63 歳	6				1	2	3		
64 歳	5				2	2	1		

* 市長部局からの出向職員（2人）、再任用職員（消防司令3人、消防司令補10人及び消防士長4人）を含む。

* 市長部局への出向職員（8人）を含まない。

消防職員の勤務年数

令和8年4月1日現在

階級 年数	合計	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
合計	544	1	8	38	65	119	144	97	72
1年未満	14								14
1年	20								20
2年	17								17
3年	14								14
4年	15							13	2
5年	15							13	2
6年	20							19	1
7年	20							18	2
8年	19							19	
9年	19						15	4	
10年	23						20	3	
11年	18						14	4	
12年	23						19	4	
13年	21					3	18		
14年	19					5	14		
15年	16					9	7		
16年	18					6	12		
17年	18					11	7		
18年	11					7	4		
19年	6					4	2		
20年	7				3	4			
21年	9				2	6	1		
22年	6				3	3			
23年	13		1		8	4			
24年	12			2	4	6			
25年	12			5	2	3	2		
26年	8			1	3	4			
27年	5			2	2	1			
28年	11			3	3	3	2		
29年	15		1	6	5	2	1		
30年	17		1	5	5	5	1		
31年	15			3	7	5			
32年	7		1	1	1	4			
33年	7			2	1	3	1		
34年	6		1	2	1	2			
35年	7		1	1	5				
36年	5			2	3				
37年	2	1			1				
38年	1			1					
39年	4		2			2			
40年	2				1	1			
41年	6			2	3	1			
42年	4					4			
43年	2					2			
44年	7					6	1		
45年	3					1	2		
46年	5				2	2	1		

* 市長部局からの出向職員（2人）、再任用職員（消防司令3人、消防司令補10人及び消防士長4人）を含む。

* 市長部局への出向職員（8人）を含まない。

消防職員の採用状況

区分	消防 吏員数	採用 人数	区分	消防 吏員数	採用 人数	区分	消防 吏員数	採用 人数
昭和39年	36	15	昭和60年	279	4	平成18年	429	7
昭和40年	55	6	昭和61年	280	3	平成19年	435	8
昭和41年	64	10	昭和62年	282	3	平成20年	438	13
昭和42年	69	6	昭和63年	282	3	平成21年	447	18
昭和43年	78	9	平成元年	283	3	平成22年	454	20
昭和44年	91	14	平成2年	288	5	平成23年	461	20
昭和45年	102	13	平成3年	293	6	平成24年	471	24
昭和46年	116	17	平成4年	295	3	平成25年	477	25
昭和47年	123	8	平成5年	296	3	平成26年	486	25
昭和48年	141	21	平成6年	299	5	平成27年	495	23
昭和49年	169	30	平成7年	307	13	平成28年	495	25
昭和50年	188	20	平成8年	317	13	平成29年	501	22
昭和51年	209	22	平成9年	322	11	平成30年	511	24
昭和52年	224	18	平成10年	323	7	令和元年	515	25
昭和53年	233	11	平成11年	327	6	令和2年	525	23
昭和54年	249	17	平成12年	329	8	令和3年	530	15
昭和55年	260	13	平成13年	332	12	令和4年	536	16
昭和56年	266	7	平成14年	337	11	令和5年	536	14
昭和57年	273	8	平成15年	344	12	令和6年	539	17
昭和58年	273	1	平成16年	349	6	令和7年	541	19
昭和59年	277	5	平成17年	426	12	令和8年	544	14

* 消防吏員数は、各年度とも4月1日の数（市長部局への出向職員を含まない。）

* 平成16年以前の消防吏員数は、合併前の豊田市の吏員数を表す。

消防職員の資格等取得保有状況

資 格 ・ 免 許 等	保有者数	資 格 ・ 免 許 等	保有者数
衛 生 管 理 者	40	小 型 移 動 式 ク レ ー ン 運 転	263
潜 水 士	226	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 管 理 責 任 者	12
小 型 船 舶 操 縦 士	198	予 防 技 術 資 格 者	37
陸 上 特 殊 無 線 技 士	499	救 急 救 命 士	163
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者	130	救 急 資 格 者 (救 急 救 命 士 を 含 ま な い)	324
ガ ス 溶 接	106		

研修実施状況

■業務別研修

分類・種別	研修名	人数	
消防大学校 (6)	幹部科第84期	1	
	上級幹部科第89期	1	
	火災調査科第48期	1	
	指揮隊長コース第30回	1	
	高度救助・特別高度救助コース第15回	1	
	女性活躍推進コース第10回	1	
愛知県 消防学校 (62)	初任科第120期	9	
	初任科第121期	10	
	警防科第74期	4	
	予防査察科第68期	4	
	火災調査科第69期	1	
	救急科第140期	3	
	救急科第141期	4	
	救急科第142期	3	
	救助科第55期	4	
	上級幹部科第74期	4	
	はしご自動車等運用科第41期	2	
	はしご自動車等運用科第42期	1	
	地震防災科第20期	4	
	指揮隊科第14期	4	
	水難救助科第54期	1	
	外傷・災害対応講習A第43・44期	3	
	外傷・災害対応講習B第45期	1	
	救急救命士 養成研修 (7)	指導救命士養成研修	1
救急救命東京研修所		3	
大阪市消防局高度専門教育訓練センター救急救命士養成課程		2	
名古屋市救急救命研修所		1	
資格取得 研修 (71)	第二級陸上特殊無線技士養成講習会	1	
	二級小型船舶操縦士免許取得講習	4	
	二級小型船舶操縦士免許更新(失効)講習	25	
	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	1	
	小型移動式クレーン運転技能講習会	4	
	危険物取扱者保安講習会	21	
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習会	4	
	潜水士資格取得	-	
	予防技術検定	4	
大型特殊自動車免許取得講習	6		
一般研修 (883)	総括 (4)	消防職員の惨事ストレス初級研修	1
		消防職員の惨事ストレス中級研修	1
		ハラスメント相談窓口担当者研修	1
		消防職員安全衛生管理研修会	1
	運転技術(17)	1年目機関員養成講習	17
		調査技術会議	-
	予防・調査 (20)	火災調査研究発表会	1
		火災調査担当者会議	1
		火災科学セミナー	1
		消防機関事故原因究明技術研修会	15
		違反是正事例発表会(全国消防長会東海支部)	1
防災啓発中央研修講演会		1	

分類・種別	研修名	人数	
救急 (737)	救急救命士就業前教育病院実習（豊田厚生病院・トヨタ記念病院）	12	
	救急救命士再教育病院実習(豊田厚生病院・トヨタ記念病院・足助病	478	
	救急生涯教育病院実習（豊田厚生病院・トヨタ記念病院）	40	
	救急救命士再教育講習（気管挿管再教育含む）	131	
	西三河地区メディカルコントロール協議会包括プロトコール運用教育	12	
	西三河地区メディカルコントロール協議会薬剤投与プロトコール運用	13	
	西三河地区メディカルコントロール協議会気管挿管プロトコール運用	3	
	西三河地区メディカルコントロール協議会ビデオ喉頭鏡気管挿管運用	1	
	西三河地区メディカルコントロール協議会処置範囲拡大プロトコール	8	
	救急業務教育指導者試験	4	
	救急業務教育指導者講習	4	
	愛知県検証担当官等講習	6	
	日本臨床救急医学会総会・学術集会	1	
	第34回全国救急隊員シンポジウム	2	
	MCLS講習会	4	
	応急手当指導員講習	18	
	警防・救助 (105)	海上災害防止センター CFBT コース	1
		全国消防技術者会議	1
全国消防救助シンポジウム		49	
水難救助講習会		4	
山岳遭難救助研修会（選考漏れ）		-	
全国山岳遭難対策協議会		49	
陸上自衛隊化学学校委託教育訓練		1	
NBC災害担当消防職員等に対する教養研修（選考漏れ）		-	
合 計		1,029	

■ 階層別研修、専門研修及び職場研修

分類・種	研修名	人数
階層別研修 (202)	新規採用職員研修	19
	若手職員育成研修	61
	若手職員育成研修指導者研修	17
	消防副士長研修（Eラーニング）	18
	消防士長研修（Eラーニング）	29
	小隊長研修	20
	新任担当長研修	6
	新任管理者研修	-
	ハラスメント研修	25
専門研修 (515)	消防活動研修	244
	指揮隊研修	8
	査察担当者研修	139
	緊急消防援助隊の指揮要領に関する研修	51
	指令業務研修（Eラーニング）※行政職1年目研修除く	46
	指令課職員教育実施要綱に基づく教育	27
職場研修 (1,092)	足助署	317
	北署	198
	中署	240
	南署	337
合 計		1,802

人事

■職員研修

分類・種別	研修名	人数
集合研修 (200)	一般研修	167
	特別研修	33
派遣研修 (44)	市町村アカデミー	6
	国際アカデミー	1
	愛知県市町村振興協会研修センター	5
	自己啓発事業（自主学習援助事業）	32
合計		244

研修実施状況（消防大学校・救急救命士養成所・愛知県消防学校）

(人)

区分	研修名	年度					
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
派遣研修	消防大学校	幹部科	1	1	1		1
	上級幹部科		1				1
	警防科	1					
	救急科				1		
	予防科	1				1	
	危険物科		1				
	火災調査科						1
	指揮隊長コース	1	1	1	1	1	1
	高度救助・特別高度救助コース			1			1
	NBCコース	1				1	
	危機管理・国民保護コース						
	消防団活性化推進コース						
	女性活躍推進コース						1
	査察業務マネジメントコース	1		1		1	
	特別講習会及び消防大学校フォーラム	1					
救急救命士	6	6	6	6	6	6	
愛知県消防学校	初任科	24	15	16	14	18	19
警防科			4	3	4	3	4
予防査察科			4		4		4
危険物科				2		2	
火災調査科			1		1		1
救急科	16	26	11	10	11	10	
救助科		4	3	4	2	4	
初級幹部科				4			
中級幹部科		4			4		
上級幹部科				4		4	
水難救助科				1		1	
ほしご自動車等運用科			3	3	3	3	
地震防災科	4	4	4	4	4	4	
指揮隊科		4	3	4	3	4	
外傷・災害対応講習					5	1	4

119番回線別受信状況

* 「その他」 = 専用回線、指令端末装置等 (件)

種別 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
固定電話	456	284	348	382	310	389	427	314	325	421	329	414	4,399
I P電話	824	716	726	622	665	679	757	713	630	703	677	766	8,478
携帯電話	1,422	1210	1,331	1,201	1,264	1,403	1,677	1,547	1,405	1,371	1,404	1,555	16,790
その他	61	2	2	2	10	7	12	5	7	15	14	19	156
件 数	2,763	2,212	2,407	2,207	2,249	2,478	2,873	2,579	2,367	2,510	2,424	2,754	29,823

市民案内利用状況

* 「市民案内」 = 災害発生時に市民が「市民案内の電話番号」へ問い合わせた件数 (件)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
件 数	3,651	2,758	4,322	3,262	3,109	2,964	2,548	2,875	2,479	2,610	2,562	2,894	36,034

口頭指導状況

* 心肺停止事案で病院搬送した場合（人生の最終段階にあり心肺蘇生を望まない心肺停止傷病者の事案は含む） (件)

種別 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
胸骨圧迫	32	30	26	21	31	16	18	24	15	20	32	31	296
AED	2	13	6	2	6	2	1	4	0	7	11	7	61

119番誤報件数

* 「誤報」 = 間違い通報の件数 (件)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
件 数	180	172	191	159	192	223	230	226	191	182	147	163	2,256

月別火災状況

区 分		合 計	1 月	2 月	3 月	4 月	
件数	合 計	165	23	17	21	19	
	建 物	75	12	6	10	7	
	林 野	5		1		2	
	車 両	10			1	1	
	そ の 他	75	11	10	10	9	
焼損棟数	合 計	93	18	8	15	5	
	火元	全 焼	11	3	2	1	
		半 焼	4	1		2	
		部 分 焼	10			2	
		ぼ や	45	6	4	5	5
	延焼	全 焼	10	3		3	
		半 焼	1	1			
		部 分 焼	9	3	1	2	
		ぼ や	3	1	1		
	焼損面積	建物(床)(㎡)	2,237	508	176	374	1
		林 野 (a)	47	5	35		1
	気象状況	風速	6m以上	30	3	7	5
6m未満			135	20	10	16	18
湿度		55%以上	81	9	4	4	8
		55%未満	84	14	13	17	11
死 傷 者	死 者	3				3	
	負 傷 者	29	3	3	4	2	
高 速 道 路 *		1					
管外出動(高速道路を除く)		1					

*管内の新東名高速道路、東名高速道路、伊勢湾岸自動車道及び東海環状自動車道に出動した件数

5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
9	17	12	16	9	6	6	10
7	12	2	5	4	4	3	3
			2				
1	1	2	1	1	1	1	
1	4	8	8	4	1	2	7
6	12	2	6	4	5	3	9
			2	1	1		1
					1		
3	2			1			2
3	10	2	3	2	2	3	
							4
			1				2
					1		
22			378	10	51		717
			6				
2	2	2	1	1	2	1	3
7	15	10	15	8	4	5	7
4	14	10	10	6	5	2	5
5	3	2	6	3	1	4	5
1	3	2	3		4		4
						1	
			1				

曜日別火災状況

区 分	出 火 件 数					死 傷 者 数	
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	死 者	負 傷 者
合 計	165	75	5	10	75	2	29
日	21	10	1	1	9		3
月	23	13		2	8		5
火	12	6		2	4		
水	21	9		1	11		3
木	24	8	2		14	2	7
金	22	13	1	2	6		4
土	41	16	1	2	22		7
不明	1				1		

時間別火災状況

区 分	出 火 件 数					死 傷 者 数	
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	死 者	負 傷 者
合 計	165	75	5	10	75	2	29
0 ~ 1	2	2					
1 ~ 2	3	1			2		
2 ~ 3	4	3			1		3
3 ~ 4	3	2			1		2
4 ~ 5	1	1					1
5 ~ 6	4	4					2
6 ~ 7	2	1			1		
7 ~ 8	2	2					
8 ~ 9	6	4		1	1	1	3
9 ~ 10	8	3	1		4		3
10 ~ 11	7	2			5		
11 ~ 12	16	4		1	11		3
12 ~ 13	10	3	1		6		1
13 ~ 14	12	5			7		1
14 ~ 15	15	6	1	1	7		3
15 ~ 16	6	2		2	2		
16 ~ 17	11	4	1		6		1
17 ~ 18	12	6		3	3		
18 ~ 19	6	3			3		
19 ~ 20	5	3			2		1
20 ~ 21	10	5			5		2
21 ~ 22	4	3	1				1
22 ~ 23	3	3					
23 ~ 24	3			2	1		
不明	10	3			7	1	2

損 害 額 (千 円)						
合 計	建 物*	収容物*	林 野	車 両	その他	爆 発
319,777	187,532	127,965		2,498	1,782	
1,348	732	7		293	316	
25,839	24,086	1,365		235	153	
940	371	197		357	15	
43,659	41,370	2,213		0	76	
37,879	20,163	17,707		0	9	
86,403	44,653	40,173		1,287	290	
123,709	56,157	66,303		326	923	

*建物火災（火災種別）の損害額は建物及び収容物の合計損害額

損 害 額 (千 円)						
合 計	建 物	収容物	林 野	車 両	その他	爆 発
319,777	187,532	127,965		2,498	1,782	
4		4				
43	4	3			36	
14,818	13,962	856				
615	319	16			280	
32,447	10,095	22,352				
1		1				
27		27				
90,114	40,512	49,372		230		
179		126			53	
156	47	99			10	
44,822	44,186	513			123	
1,608	1,099	202			307	
55,532	45,543	9,745			244	
1,400	446	82		326	546	
651		26		610	15	
22,757	2,583	20,149		25		
639	374	209		55	1	
20		20				
30	1	20			9	
37,845	17,996	19,765		84		
3,742	3,583	159				
9,954	5,761	4,190			3	
1,323				1,168	155	
1,050	1,021	29				

火災種別出火原因

原因		合計	たばこ	こんろ	かまど	風呂かまど	炉	焼却炉	ストーブ	こたつ	ボイラー	煙突・煙道	排気管	電気機器	電気装置	
合計		165	18	16				2	2				4	7	2	
建物 火災	小計	75	8	16					2					6	2	
	住宅火災	専用	26	3	7					2					4	
		共同	13	2	6											
		併用	1													
	防火対象物の火災	遊技場														
		飲食店	3		1											
		物品販売店	1	1												
		工場	11	1											1	
		倉庫	3													1
		事務所	1													
		複合用途(特防)	4		1											
		複合用途(非特)	1													
	その他	11	1	1											1	
	林野火災		5													
車両火災		10	1										4			
その他の火災		75	9					2						1		

電話等配線	内燃機関	配線器具	火遊び	ライター	たき火	溶接機・切断機	灯火	衝突の火花	取灰	火入れ	放火	放火の疑い	その他	不明・調査中
7		3	1	2	34	2			1	10	8	10	19	17
4		1			5	2			1		4	3	10	11
2					2						1	1		4
											3		1	1
1														
													2	
1						2							3	3
													1	1
												1		
		1											2	
					3				1			1	1	2
					3								2	
													1	4
3		2	1	2	26					10	4	7	6	2

出火状況及び損害額の推移

区 分		令和 7 年	令和 6 年	令和 5 年	令和 4 年	令和 3 年
豊 田 市	人 口	415,138	414,502	416,747	418,284	421,280
	件 数	165	113	139	107	113
	出火率*1	4.0	2.7	3.3	2.6	2.7
損害額の合計 (千円)		319,777	379,516	210,979	196,514	245,679
1 件あたりの 損 害 額 (円)		1,938,042	3,358,549	1,517,835	1,836,579	2,174,150
愛知県出火率		調査中	2.6	2.7	2.5	2.4
建 物 火 災	件 数	75	54	52	55	58
	焼損床面積 (㎡)	2,237	1,980	1,951	2,656	1,876
	焼損表面積 (㎡)	277	204	72	153	272
	損 害 額 (千 円)	315,721 <small>(爆発損害を含む)</small>	316,832 <small>(爆発損害を含む)</small>	200,705 <small>(爆発損害を含む)</small>	160,136 <small>(爆発損害を含む)</small>	242,141 <small>(爆発損害を含む)</small>
	1 件あたりの 焼損床面積 (㎡)	30	37	38	48	32
	1 件あたりの 損害額 (円)	4,209,613	5,867,259	3,859,712	2,911,564	4,174,845
林 野 火 災	件 数	5	4	4	5	2
	焼損面積 (a)	42	33	102	167	19
	損 害 額 (千円)				18	4
車 両 火 災	件 数	10	11	16	9	7
	損 害 額 (千円)	2,978	62,275	5,684	35,875	2,499
そ の 他 火 災	件 数	75	44	67	38	46
	損 害 額 (千円)	1,078	409	4,590	485	1,035
航 空 機 火 災	件 数					
	損 害 額 (千円)					

*1 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数（人口は、当該年4月1日現在の住民基本台帳による。）

主な火災の概要

	月	日	時	分	覚知方法	火災 種別	出火場所	用 途	焼損程度	死者	負 傷 者
1	1	17	11	30	専用電話（携帯電話）	建物	矢並町	住宅	全焼		
2	3	6	8	不明	専用電話（携帯電話）	建物	深見町	工場	部分焼	1	2
3	3	28	16	30	専用電話（携帯電話）	建物	トヨタ 町	工場	ぼや		
4	6	21	5	13	加入電話（固定電話）	建物	堤町	工場	ぼや		
5	8	2	11	不明	専用電話（I P 電話）	建物	迫町	住宅	全焼		
6	8	30	8	53	専用電話（携帯電話）	建物	寿町	工場	全焼		
7	10	23	不明	不明	専用電話（携帯電話）	建物	手呂町	住宅	半焼	1	2
8	10	26	2	18	専用電話（携帯電話）	建物	朝日ヶ 丘	共同住 宅	ぼや		2
9	12	6	11	45	専用電話（携帯電話）	その 他	穂積町				2
10	12	17	13	00	専用電話（携帯電話）	建物	武節町	住宅	全焼		1
11	12	26	20	30	専用電話（携帯電話）	建物	鴛鴨町	作業場	部分焼		

* 次のいずれかに該当するものを掲載

- 1 死者1人以上又は負傷者2人以上
- 2 損害額10,000千円以上
- 3 焼損面積200㎡以上

高速道路火災出動状況の推移

(件)

発生場所 種別	合 計			豊 田 市			岡 崎 市			刈 谷 市			豊 明 市			み よ し 市		
	合 計	車 両	そ の 他	小 計	車 両	そ の 他	小 計	車 両	そ の 他	小 計	車 両	そ の 他	小 計	車 両	そ の 他	小 計	車 両	そ の 他
令和3年	3	3		3	3													
令和4年	3	3		2	2													
令和5年	9	8	1	6	6											1		1
令和6年	2	2		1	1		1	1										
令和7年	1	1		1	1													

* 新東名高速道路、東名高速道路、伊勢湾岸自動車道及び東海環状自動車道に出動した件数

その他の出動状況（警戒・探索・その他）

(件)

署所	月	合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			合 計	4178	422	376	365	308	299	300	362	304	327	349
北 消 防 署	小 計	1128	110	89	100	79	93	88	95	80	95	96	100	103
	北 消 防 署	521	55	48	45	36	37	36	48	27	50	41	45	53
	藤岡小原分署	292	25	18	25	21	25	29	26	22	21	28	27	25
	保見出張所	246	25	18	23	17	26	20	17	25	19	18	21	17
	力石出張所	69	5	5	7	5	5	3	4	6	5	9	7	8
中 消 防 署	小 計	1404	138	127	118	116	96	86	134	104	107	118	137	123
	中 消 防 署	656	72	59	62	52	48	44	55	39	54	48	69	54
	東 分 署	334	30	32	27	27	17	17	40	31	26	29	27	31
	逢妻分署	245	19	20	20	21	18	15	26	22	17	22	24	21
	松平出張所	169	17	16	9	16	13	10	13	12	10	19	17	17
南 消 防 署	小 計	1360	151	130	120	93	89	97	105	97	111	111	134	122
	南 消 防 署	465	51	45	38	36	27	31	37	37	35	40	45	43
	西 分 署	351	36	37	34	24	25	23	27	21	25	30	41	28
	末野原分署	345	52	32	29	15	25	27	23	20	29	29	29	35
	高岡出張所	199	12	16	19	18	12	16	18	19	22	12	19	16
足 助 消 防 署	小 計	286	23	30	27	20	21	29	28	23	14	24	22	25
	足助消防署	149	10	17	9	12	12	13	16	10	5	18	11	16
	旭出張所	39	3	6	6	2	3	1	2	4	2	2	4	4
	稲武出張所	43	5	4	2	4	3	10	3	5	4	0	1	2
	下山出張所	55	5	3	10	2	3	5	7	4	3	4	6	3

月別救急出動状況

(件)

種別 月	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合計	22,085	78		5	1,098	155	100	3,107	53	175	15,327	1,987
1月	2,088	10			82	11	9	260	3	14	1,511	188
2月	1,691	8		1	74	20	4	246	6	6	1,180	146
3月	1,796	15			85	16	5	264	5	22	1,227	157
4月	1,593	6			76	12	9	227	1	11	1,100	151
5月	1,701	5		1	91	10	14	258	3	21	1,154	144
6月	1,807	6		1	88	14	13	249	4	14	1,233	185
7月	2,150	6			116	16	6	263	8	8	1,567	160
8月	1,943	9			72	10	12	229	7	19	1,421	164
9月	1,755	1		2	89	17	6	242	4	12	1,205	177
10月	1,826	4			109	10	11	316	4	19	1,180	173
11月	1,815	2			111	10	8	267	4	16	1,233	164
12月	1,920	6			105	9	3	286	4	13	1,316	178

曜日別救急出動状況

(件)

種別 曜日	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合計	22,085	78		5	1,098	155	100	3,107	53	175	15,327	1,987
日	2,997	5		1	119	13	43	457	7	33	2,161	158
月	3,371	11		2	149	22	3	433	8	19	2,356	368
火	3,160	6			189	20	6	445	6	30	2,154	304
水	3,203	9			161	30	7	425	8	31	2,225	307
木	3,071	9			157	30	5	430	6	25	2,114	295
金	3,162	16			155	25	8	427	3	18	2,158	352
土	3,121	22		2	168	15	28	490	15	19	2,159	203

時間帯別救急出動状況

(件)

種別 時間帯	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合計	22,085	78		5	1,098	155	100	3,107	53	175	15,327	1,987
0～2	985	1			23	2		102	6	8	804	39
2～4	737	4			18	3		73	2	7	606	24
4～6	876	2			33	4		115	3	7	682	30
6～8	1,530	1			109	3		222	1	17	1,144	33
8～10	2,638	11			154	18	6	421	4	16	1,840	168
10～12	2,862	7		1	117	31	19	394	1	15	1,817	460
12～14	2,568	10		1	114	23	20	403	2	18	1,586	391
14～16	2,313	8		1	132	34	25	328	6	21	1,519	239
16～18	2,337	11		1	169	19	13	326	5	23	1,491	279
18～20	2,181	8			130	4	11	335	4	16	1,480	193
20～22	1,759	10			70	8	5	231	6	17	1,337	75
22～24	1,299	5		1	29	6	1	157	13	10	1,021	56

署所別・種別救急出動状況

(件)

種別 署所	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	22,085	78		5	1,098	155	100	3,107	53	175	15,327	1,987
北 消 防 署	2,604	14		2	103	17	27	351	4	23	1,601	462
藤岡小原分署	638	3		1	30	5	2	109		5	470	13
保見出張所	801	1			52	8	21	110	3	3	553	50
力石出張所	479	4			38	5	2	77	1	7	319	26
中 消 防 署	2,397	15			104	9	5	315	7	23	1,712	207
日勤救急隊	653	3			35	4	2	73	1	4	410	121
東 分 署	2,095	3		2	75	3	2	324	6	16	1,550	114
逢妻分署	3,560	11			162	22	9	491	14	39	2,371	441
松平出張所	878	2			32	4	4	120		7	645	64
南 消 防 署	1,901	9			100	15	9	273	4	10	1,320	161
西 分 署	1,926	7			100	25	4	263	7	16	1,424	80
末野原分署	1,671	3			112	13	4	224	3	8	1,199	105
高岡出張所	1,326				72	19	2	176	2	12	1,011	32
足助消防署	468	2			35	2	4	69			259	97
旭出張所	219	1			13	1	1	41		2	157	3
稲武出張所	208				20	2		46	1		136	3
下山出張所	236				15	1	1	43			168	8
そ の 他	25						1	2			22	

救急出動状況の推移

(件)

種別 署所	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
令和3年	17,403	60		3	1,023	166	81	2,463	34	185	11,816	1,572
令和4年	20,893	60	1	11	1,060	183	111	2,719	35	178	14,812	1,723
令和5年	21,722	71	2	1	1,069	200	105	2,957	34	163	15,364	1,756
令和6年	21,629	69		7	1,113	175	115	2,834	40	164	15,227	1,885
令和7年	22,085	78		5	1,098	155	100	3,107	53	175	15,327	1,987

発生場所別救急搬送人員

(人)

発生場所 事故種別	合 計	住 宅	公衆出入場所	仕 事 場	道 路	そ の 他
合 計	19,883	12,015	5,390	781	1,572	125
急 病	13,732	10,044	2,660	612	366	50
交 通	995	9	46	5	931	4
一 般 負 傷	2,845	1,818	676	37	258	56
そ の 他	2,311	144	2,008	127	17	15

年齢別・性別搬送人員

(人)

種別 年齢	性 別	合 計	小 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
新生児 28日以内	男	81	46										5	41
	女		35							1			2	32
乳幼児 0～6	男	798	486				8		1	108			352	17
	女		312				8			60			234	10
少年 7～10	男	225	142				17		2	38			82	3
	女		83				11			19			51	2
少年 11～17	男	548	333				75	1	41	54	3	7	135	17
	女		215				31	2	9	17		9	137	10
成人 18～30	男	1,466	817	2		1	162	26	29	62	7	13	480	35
	女		649				71	3	6	35	2	18	435	79
成人 31～49	男	1,895	1,095	1			144	33	7	95	5	22	718	70
	女		800				70	4		40		9	551	126
成人 50～64	男	2,484	1,563				122	47	2	162	5	8	1,056	161
	女		921				56	14	1	96	5	11	648	90
高齢者 65～79	男	4,947	2,879	5			75	15		392	3	8	2,087	294
	女		2,068	4		1	78	5		349	4	1	1,419	207
高齢者 80以上	男	7,439	3,458	3			40	2		481	1	5	2,594	332
	女		3,981			1	27			836	2	3	2,746	366
小 計	男	19,883	10,819	11		1	643	124	82	1,392	24	63	7,509	970
	女		9,064	4		2	352	28	16	1,453	13	51	6,223	922
合 計		19,883	19,883	15		3	995	152	98	2,845	37	114	13,732	1,892

傷病程度別搬送人員

(人)

程 度	種 別	合	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
	計	災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	他	
新 生 児	死 亡	1										1	
	重 症	12											12
	中等症	53											53
	軽 症	15							1			6	8
	その他												
	計	81							1			7	73
乳 幼 児	死 亡												
	重 症	25				1		1	1			21	1
	中等症	168							15			130	23
	軽 症	605				15			152			435	3
	その他												
	計	798				16		1	168			586	27
少 年	死 亡	6							1		3	1	1
	重 症	25				5			3		4	8	5
	中等症	152				25	1	8	17		3	76	22
	軽 症	590				104	2	44	107	3	6	320	4
	その他												
	計	773				134	3	52	128	3	16	405	32
成 人	死 亡	69			1	6			7	1	9	44	1
	重 症	404				31	3		11		20	249	90
	中等症	1,552				124	44	11	92	3	17	882	379
	軽 症	3,820	3			464	80	34	380	20	35	2,713	91
	その他												
	計	5,845	3		1	625	127	45	490	24	81	3,888	561
高 齢 者	死 亡	294	1		1	2			20		4	263	3
	重 症	1,150	3			18	2		57		4	919	147
	中等症	5,344	3			53	9		753	2	5	3,613	906
	軽 症	5,598	5		1	147	11		1,228	8	4	4,051	143
	その他												
	計	12,386	12		2	220	22		2,058	10	17	8,846	1,199
合 計	死 亡	370	1		2	8			28	1	16	309	5
	重 症	1,616	3			55	5	1	72		28	1,197	255
	中等症	7,269	3			202	54	19	877	5	25	4,701	1,383
	軽 症	10,628	8		1	730	93	78	1,868	31	45	7,525	249
	その他												
	計	19,883	15		3	995	152	98	2,845	37	114	13,732	1,892

医療機関告示開設別搬送人員

(人)

種 別		合	う	急	う	交	う	一	う	そ	う	
医療機関		計	ち	病	ち	通	ち	般	ち	の	ち	
			管		管		管	負	管	他	管	
			外		外		外	傷	外		外	
救 急 告 示 医 療 機 関	国 立	18	18	5	5			1	1	12	12	
	公 立	119	119	74	74	10	10	5	5	30	30	
	公 的	6,617	78	4,500	41	237		874	1	1,006	36	
	私 的	病 院	12,328	1,004	8,649	641	689	107	1,817	188	1,173	68
		診 療 所	9		2		3		4			
	計		19,091	1,219	13,230	761	939	117	2,701	195	2,221	146
そ の 他 の 医 療 機 関	国 立	1	1							1	1	
	公 立	23	23	10	10			1	1	12	12	
	公 的											
	私 的	病 院	715	271	448	185	55	14	138	17	74	55
		診 療 所	53	37	44	34	1		5	3	3	
	計		792	332	502	229	56	14	144	21	90	68
計	国 立	19	19	5	5			1	1	13	13	
	公 立	142	142	84	84	10	10	6	6	42	42	
	公 的	6,617	78	4,500	41	237		874	1	1,006	36	
	私 的	病 院	13,043	1,275	9,097	826	744	121	1,955	205	1,247	123
		診 療 所	62	37	46	34	4		9	3	3	
	計		19,883	1,551	13,732	990	995	131	2,845	216	2,311	214
そ の 他 の 場 所	接 骨 院 等											
	そ の 他											
	計											
合 計		19,883	1,551	13,732	990	995	131	2,845	216	2,311	214	

* その他（火災、労働災害、水難、運動競技、加害、自損行為、転院搬送等）

年齢別搬送人員の推移

年 年齢	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
6歳以下	658 人	869 人	1,206 人	912 人	879 人
	4.2 %	4.7 %	6.1 %	4.6 %	4.4 %
7歳～17歳	475 人	609 人	726 人	725 人	773 人
	3.0 %	3.3 %	3.7 %	3.7 %	3.9 %
18歳～64歳	4,945 人	5,808 人	6,138 人	5,887 人	5,845 人
	31.7 %	31.5 %	31.0 %	30.0 %	29.4 %
65歳以上	9,538 人	11,167 人	11,732 人	12,111 人	12,386 人
	61.1 %	60.5 %	59.2 %	61.7 %	62.3 %
合 計	15,616 人	18,453 人	19,802 人	19,635 人	19,883 人

*小数点第2位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

高速道路救急出動状況の推移

(件)

場所 種別 年	合計			東名高速道路			伊勢湾岸自動車道		
	合計	交通	その他	合計	交通	その他	合計	交通	その他
令和3年	37	17	20	22	11	11	15	6	9
令和4年	66	26	40	35	14	21	31	12	19
令和5年	58	16	42	28	6	22	30	10	20
令和6年	58	32	26	25	12	13	33	20	13
令和7年	58	28	30	26	9	17	32	19	13

救助出動状況

種 別		合 計	火 災	交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他
合 計	出 動 件 数	349	5	53	7		5	123	1		155
	活 動 件 数	197	4	29	7		3	101	1		52
	救 助 人 員	164	5	31	6		2	76	1		43
	出 動 隊 数	1,501	48	249	82		25	509	4		584
	出 動 人 員	4,953	154	819	244		80	1,741	13		1,902
豊 田 市	出 動 件 数	345	5	49	7		5	123	1		155
	活 動 件 数	195	4	27	7		3	101	1		52
	救 助 人 員	162	5	29	6		2	76	1		43
	出 動 隊 数	1,477	48	225	82		25	509	4		584
	出 動 人 員	4,874	154	740	244		80	1,741	13		1,902
自 動 車 専 用 道 路 等	出 動 件 数	4		4							
	活 動 件 数	2		2							
	救 助 人 員	2		2							
	出 動 隊 数	24		24							
	出 動 人 員	79		79							
管 外	出 動 件 数										
	活 動 件 数										
	救 助 人 員										
	出 動 隊 数										
	出 動 人 員										

月別救助出動状況

種別 月	出動 件数	活動 件数	救 助 人 員	出動件数内訳								
				火 災	交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス・ 酸 欠	破 裂	そ の 他
合 計	349	197	164	5	53	7	0	5	123	1	0	155
1 月	27	16	10						12			15
2 月	33	19	16	1	3	1			9			19
3 月	40	19	20	1	8	2		1	8			20
4 月	25	17	15		5				12	1		7
5 月	28	15	14	2	4	2			9			11
6 月	26	16	16		4	1			9			12
7 月	32	17	13		6			1	10			15
8 月	27	13	9		5				7			15
9 月	24	19	12		3	1		3	13			4
10 月	21	12	12	1	3				7			10
11 月	35	23	19		6				17			12
12 月	31	11	8		6				10			15

救助出動状況の推移

種別		年					
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
救 助 人 員		233	130	122	134	166	164
合 計		302	267	277	311	314	349
火 災	建 物	6	4	8	7	8	5
	建物以外						
交 通		67	54	50	60	54	53
水 難		7	5	8	3	8	7
自 然		2			2		
機 械		8	10	6	3	6	5
建 物		72	73	45	92	86	123
ガ ス ・ 酸 欠		5	10	3	3	6	1
破 裂							
そ の 他		135	111	157	141	146	155

火災・救急・救助件数暦年表

(件)

年	種別			年	種別		
	火災	救急	救助		火災	救急	救助
昭和31年	10			平成3年	208	6,252	151
昭和32年	22			平成4年	216	6,301	131
昭和33年	29			平成5年	212	6,318	158
昭和34年	39			平成6年	256	6,873	177
昭和35年	36			平成7年	259	7,367	206
昭和36年	53			平成8年	251	7,950	187
昭和37年	59			平成9年	243	8,581	198
昭和38年	70	74		平成10年	193	9,036	191
昭和39年	89	329		平成11年	185	9,580	210
昭和40年	95	425		平成12年	219	10,496	194
昭和41年	67	589		平成13年	255	11,363	219
昭和42年	130	957		平成14年	253	11,756	215
昭和43年	143	1,139		平成15年	211	12,682	228
昭和44年	174	1,524		平成16年	230	13,868	237
昭和45年	240	1,776		平成17年	268	15,962	245
昭和46年	278	1,878		平成18年	220	15,352	271
昭和47年	223	1,912		平成19年	198	15,588	236
昭和48年	303	2,170	3	平成20年	202	15,152	233
昭和49年	279	2,234	10	平成21年	229	14,343	219
昭和50年	255	2,051	31	平成22年	175	15,621	235
昭和51年	254	2,219	60	平成23年	205	16,134	239
昭和52年	259	2,665	56	平成24年	162	16,914	266
昭和53年	292	2,981	65	平成25年	231	17,246	310
昭和54年	199	3,284	51	平成26年	194	17,027	319
昭和55年	221	3,657	65	平成27年	152	17,666	292
昭和56年	235	3,941	58	平成28年	131	18,041	292
昭和57年	275	4,333	68	平成29年	132	18,213	339
昭和58年	244	4,428	83	平成30年	130	19,262	279
昭和59年	291	4,528	82	令和元年	137	19,162	307
昭和60年	250	4,771	81	令和2年	118	16,721	302
昭和61年	302	4,785	116	令和3年	113	17,403	267
昭和62年	265	5,069	119	令和4年	107	20,893	277
昭和63年	230	5,414	140	令和5年	139	21,722	311
平成元年	259	5,761	144	令和6年	113	21,629	314
平成2年	201	6,095	140	令和7年	165	22,085	349

* 昭和31年 4月 拳母市消防本部・署設置

* 昭和31年 7月 消防業務開始

* 昭和31年 9月 高橋村合併

* 昭和38年 9月 救急業務開始

* 昭和39年 3月 上郷町合併

* 昭和40年 9月 高岡町合併

* 昭和42年 4月 猿投町合併

* 昭和45年 4月 松平町合併

* 昭和46年 11月 救助工作車運用開始

* 平成4年 10月 高規格救急車運用開始

* 平成8年 4月 藤岡町・小原村消防事務受託業務開始

* 平成17年 4月 豊田市・藤岡町・小原村・足助町・下山村・旭町・稲武町合併

防火対象物査察実施状況

防火対象物：令和8年4月1日現在

立入検査数：令和7年度の実施数（件）

防火対象物の区分		防火対象物					立入検査数				
		合計	一 種	二 種	三 種	そ の 他	合計	一 種	二 種	三 種	そ の 他
豊 田 市 合 計		15,897	894	3,093	5,790	6,120	2,182	378	533	1,255	16
1	イ 劇場、映画館	9	9	0	0	0	1	1	0	0	0
	ロ 公会堂、集会場	383	78	2	175	128	77	18	0	59	0
2	イ キャバレー、カフェ	4	0	0	4	0	1	1	0	0	0
	ロ 遊技場、ダンスホール	22	18	1	3	0	6	5	0	1	0
	ハ 風俗営業等を営む店舗 ニ カラオケボックス等	1 5	0 1	0 2	1 2	0 0	2 2	1 1	0 0	1 1	0 0
3	イ 待合、料理店等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ 飲食店	284	17	9	258	0	115	20	3	92	0
4	百貨店、マーケット等	586	124	45	303	114	114	25	11	74	4
5	イ 旅館、ホテル等	79	51	2	26	0	33	23	1	8	1
	ロ 共同住宅、マンション等	4,919	4	22	1,919	2,974	386	5	2	376	3
6	イ 病院、診療所	235	51	4	180	0	67	20	0	47	0
	ロ 老人福祉施設等	131	47	28	56	0	31	11	9	11	0
	ハ デイサービス等	280	97	29	153	1	112	43	14	55	0
	ニ 幼稚園、特別支援学校	25	14	4	7	0	7	4	1	2	0
7	小学校、各種学校等	513	8	0	489	16	70	0	0	70	0
8	図書館、美術館	23	4	8	10	1	20	3	6	11	0
9	イ 蒸気浴場、気浴場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ イ以外の公衆浴場	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0
10	車両停車場、航空機発着場	12	0	4	1	7	2	0	1	1	0
11	神社、寺院	257	3	1	126	127	29	3	0	26	0
12	イ 工場、作業場	2,515	12	1,457	227	819	317	40	235	42	0
	ロ 映画スタジオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	イ 自動車車庫	285	52	88	115	30	39	12	14	13	0
	ロ 飛行機格納庫	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
14	倉庫	1,134	13	592	175	354	175	27	97	50	1
15	前各号以外の事業所	1,925	71	490	711	653	265	48	84	127	6
16	イ 特定の複合用途防火対象物	1,188	194	87	693	214	234	61	16	157	0
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	1,072	25	213	155	679	70	6	37	26	1
17	文化財	4	1	2	1	0	7	0	2	5	0
18	アーケード	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0
19	山林	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	舟車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

消防用設備等点検状況

令和8年4月1日現在 (件)

区分 防火対象物の区分		点検を要する防火対象物			報告済防火対象物		
		合計	1000 ㎡未満	1000 ㎡以上	合計	1000 ㎡未満	1000 ㎡以上
豊 田 市 合 計		14,539	10,787	3,752	9,909	6,545	3,364
1	イ 劇場、映画館	9	1	8	9	1	8
	ロ 公会堂、集会場	307	266	41	159	121	38
2	イ キャバレー、カフェ	4	4	0	0	0	0
	ロ 遊技場、ダンスホール	22	6	16	19	5	14
	ハ 風俗営業等を営む店舗	1	1	0	0	0	0
	ニ カラオケボックス等	5	5	0	4	4	0
3	イ 待合、料理店等	0	0	0	0	0	0
	ロ 飲食店	274	272	2	180	178	2
4	百貨店、マーケット等	569	460	109	433	337	96
5	イ 旅館、ホテル等	79	40	39	69	33	36
	ロ 共同住宅、マンション等	4,769	3,707	1,062	3,531	2,560	971
6	イ 病院、診療所	222	181	41	175	135	40
	ロ 老人福祉施設等	123	81	42	99	64	35
	ハ デイサービス等	263	191	72	233	165	68
	ニ 幼稚園、特別支援学校	25	13	12	23	11	12
7	小学校、各種学校等	488	208	280	459	183	276
8	図書館、美術館	22	17	5	21	16	5
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場	0	0	0	0	0	0
	ロ イ以外の公衆浴場	3	2	1	1	0	1
10	車両停車場、航空機発着場	11	8	3	9	6	3
11	神社、寺院	198	189	9	102	94	8
12	イ 工場、作業場	2,323	1,434	889	1,433	662	771
	ロ 映画スタジオ	0	0	0	0	0	0
13	イ 自動車車庫	269	130	139	217	90	127
	ロ 飛行機格納庫	1	1	0	1	1	0
14	倉庫	969	758	211	612	436	176
15	前各号以外の事業所	1,516	1,069	447	1,080	688	392
16	イ 特定の複合用途防火対象物	1,118	942	176	643	487	156
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	944	797	147	392	264	128
17	文化財	4	3	1	4	3	1
18	アーケード	1	1	0	1	1	0
19	山林	0	0	0	0	0	0
20	舟車	0	0	0	0	0	0

中高層建築物の現況

令和8年4月1日現在 (件)

区分		合計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階以上
防火対象物の区分															
豊田市合計		4,123	2,166	901	421	182	129	99	38	51	31	17	16	30	42
1	イ 劇場、映画館	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ 公会堂、集会場	14	9	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	イ キャバレー、カフェ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ 遊技場、ダンスホール	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハ 風俗営業等を営む店舗	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニ カラオケボックス等	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	イ 待合、料理店等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ 飲食店	20	19	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	百貨店、マーケット等	25	23	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	イ 旅館、ホテル等	37	12	3	7	1	6	2	0	5	0	0	0	1	0
	ロ 共同住宅、マンション等	2,096	852	564	264	103	70	66	25	39	27	11	9	28	38
6	イ 病院、診療所	40	24	5	4	1	4	1	1	0	0	0	0	0	0
	ロ 老人福祉施設等	17	9	4	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハ デイサービス等	18	15	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニ 幼稚園、特別支援学校	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	小学校、各種学校等	190	103	65	10	5	6	1	0	0	0	0	0	0	0
8	図書館、美術館	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ イ以外の公衆浴場	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	車両停車場、航空機発着場	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	神社、寺院	13	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	イ 工場、作業場	249	188	43	8	4	1	1	0	2	1	1	0	0	0
	ロ 映画スタジオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	イ 自動車車庫	50	15	18	11	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ 飛行機格納庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	倉庫	41	33	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	前各号以外の事業所	414	264	61	36	20	12	15	3	0	0	1	0	0	2
16	イ 特定の複合防火対象物	455	284	69	43	17	17	7	5	2	2	4	4	0	1
	ロ イ以外の複合防火対象物	429	292	56	28	23	11	6	4	3	1	0	3	1	1

消防同意件数

令和8年4月1日現在

令和7年度の同意件数 (件)

防火対象物の区分		地 域	豊田市
1	イ	劇場、映画館	
	□	公会堂、集会場	6
2	イ	キャバレー、カフェ	
	□	遊技場、ダンスホール	
	ハ	風俗営業等を営む店舗	
	ニ	カラオケボックス等	
3	イ	待合、料理店等	
	□	飲食店	4
4		百貨店、マーケット等	19
5	イ	旅館、ホテル等	
	□	共同住宅、マンション等	49
6	イ	病院、診療所	9
	□	老人福祉施設等	9
	ハ	デイサービス等	7
	ニ	幼稚園、特別支援学校	
7		小学校、各種学校等	5
8		図書館、美術館	
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	
	□	イ以外の公衆浴場	
10		車両停車場、航空機発着場	5
11		神社、寺院	
12	イ	工場、作業場	28
	□	映画スタジオ	
13	イ	自動車車庫	8
	□	飛行機格納庫	
14		倉庫	37
15		前各号以外の事業所	70
16	イ	特定の複合用途防火対象物	5
	□	イ以外の複合用途防火対象物	5
16の2		地下街	
16の3		準地下街	
17		文化財	
18		アーケード	
19		山林	
20		舟車	
専用住宅等			191
合 計			457

危険物規制対象物

令和8年4月1日現在 (件)

区分		製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所							
					小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外
施設数			1187	10	712	213	140	78	159	7	87	28
数 量 別	5倍以下		430		317	107	15	32	69	7	76	11
	5倍を超え 10倍以下		255	1	168	62	27	37	30		1	11
	10 " 50 "		275	4	133	27	54	9	32		5	6
	50 " 100 "		75	2	39	6	19		9		5	
	100 " 150 "		37		18	2	14		2			
	150 " 200 "		37		13	5	4		4			
	200 " 1,000 "		77	3	23	3	7		13			
	1,000 " 5,000 "		1		1	1						
	5,000 " 10,000 "											
	10,000倍を超えるもの											

区分		製造所等の別	小計	取扱所					事業所数
				給油	第一種販売	第二種販売	移送	一般	
施設数			465	235	2			228	519
数 量 別	5倍以下		113	22				91	
	5倍を超え 10倍以下		86	13				73	
	10 " 50 "		138	86	2			50	
	50 " 100 "		34	24				10	
	100 " 150 "		19	18				1	
	150 " 200 "		24	22				2	
	200 " 1,000 "		51	50				1	
	1,000 " 5,000 "								
	5,000 " 10,000 "								
	10,000倍を超えるもの								

消防団員職務報酬

支給対象者	支給単位	階級	金額（円）
基本団員	年額	団 長	136, 500
		副団長	86, 500
		分団長	62, 500
		部 長	40, 500
		班 長	37, 000
		団 員	36, 500
学生機能別団員	年額	団 員	5, 000

* 「学生機能別団員」とは機能別団員のうち、大学生等で構成された団員

消防団員出動報酬

支給対象者	支給単位	種別	出動時間の区分	金額（円）
基本団員 機能別団員	1 回	災害・警戒 出動	1 時間以下	2, 000
			1 時間を超え 3 時間以下	4, 000
			3 時間を超え 5 時間以下	6, 000
			5 時間を超え 7 時間以下	8, 000
		訓練等出動	一律	3, 000

* 「機能別団員」とは入団時に定めた特定の任務に限り従事する団員

* 「災害・警戒出動」とは火災等の災害が発生又は発生するおそれのある場合の出動

* 「訓練等出動」とは、消防署との合同訓練や出初式等の行事に参加する場合の出動

消防団員費用弁償

支給対象者	区分	金額
基本団員 災害支援 機能別団員	災害・警戒出動又は訓練 等出動の際に自家用車 を使用した場合	1 回当たり 3 0 0 円
特命任務 機能別団員	上記以外の場合	豊田市職員旅費条例（昭和 41 年 条例第 1 号）別表第 2 号に規定す る支給対象者の旅費相当額
学生機能別団員	一律	

消防団員退職報償金

(円)

階 級	勤 務 年 数						
	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満	30 年以上 35 年未満	35 年以上
団 長	239,000	344,000	459,000	594,000	779,000	979,000	1,079,000
副団長	229,000	329,000	429,000	534,000	709,000	909,000	1,009,000
分団長	219,000	318,000	413,000	513,000	659,000	849,000	949,000
部 長 班 長	204,000	283,000	358,000	438,000	564,000	734,000	834,000
団 員	200,000	264,000	334,000	409,000	519,000	689,000	789,000

消 防 団

豊田市消防団編成表

人 員 配 置							区 分		消防団機動力																																																																																																									
団長	副団長	方副団長	分団長	部長	班長	団員	分団計	方面隊計	方面隊	分 部	班	小型動力ポンプ	消防車 千：救助用機械材搭載型 ホ：ポンプ車																																																																																																					
1	1	1	1	1	1	21	65	198	第1方面隊	1	1 2	元城 竹生	元城、竹生																																																																																																					
											2 1	平芝	平芝																																																																																																					
											3 1	梅坪	梅坪																																																																																																					
											4 1	浄水	浄水																																																																																																					
											1 1	樹木	樹木																																																																																																					
											2 1	小坂	小坂																																																																																																					
											3 2	下市場 金谷	下市場、金谷																																																																																																					
											4 1	長興寺	長興寺																																																																																																					
											1 3	宮口 宮上 宮	宮口																																																																																																					
											2 2	本新 千足	本新、千足																																																																																																					
											3 2	深田 本地	深田																																																																																																					
											1 1	今	今																																																																																																					
											2 2	前山 渡合	前山																																																																																																					
											3 1	室	室																																																																																																					
											1 1	高橋	高橋																																																																																																					
											2 1	上野	上野																																																																																																					
											3 1	市木	市木																																																																																																					
											1 3	扶桑 平井 百々	扶桑																																																																																																					
											2 2	岩滝	岩滝																																																																																																					
											3 2	矢並 山中	矢並																																																																																																					
											1 1	野見	野見																																																																																																					
											2 1	広川	広川																																																																																																					
											3 3	古瀬間 大見	古瀬間、大見																																																																																																					
											1 1	九久平	九久平																																																																																																					
											2 2	幸海 穂積	幸海																																																																																																					
											3 1	岩倉	岩倉																																																																																																					
											4 2	桂野	桂野																																																																																																					
											1 3	林添 滝脇 長沢	林添																																																																																																					
											2 2	豊松 松平	豊松																																																																																																					
											3 3	坂上(仁王) 坂上(日明) 石楠	仁王																																																																																																					
											1 1	鷺嶋	鷺嶋																																																																																																					
											2 1	大林	大林																																																																																																					
											3 2	渡刈 豊栄	渡刈、豊栄																																																																																																					
											4 1	永覚	永覚																																																																																																					
											1 1	上郷	上郷																																																																																																					
											2 2	畝部東(中切) 榎塚東	畝部東																																																																																																					
											3 1	配津	配津																																																																																																					
											4 2	福受 和会	福受、和会																																																																																																					
											1 1	土橋	土橋(牛)																																																																																																					
											2 1	本	本																																																																																																					
											3 1	中	中																																																																																																					
											1 1	若林	若林																																																																																																					
											2 1	中根	中根																																																																																																					
											3 1	花園	花園																																																																																																					
											1 2	堤 上丘	堤、上丘																																																																																																					
											2 2	西岡 前林	西岡、前林																																																																																																					
											3 2	駒場 中田	駒場																																																																																																					
											1 2	八草 広幡	八草																																																																																																					
											2 2	大畑 篠原	篠原																																																																																																					
											3 3	保見 東保見 田初	保見、田初																																																																																																					
											4 2	貝津 伊保	貝津、伊保																																																																																																					
											1 2	猿投 加納	猿投、加納																																																																																																					
											2 2	亀首 舞木	亀首																																																																																																					
											3 2	乙部	乙部																																																																																																					
											1 1	四郷	四郷																																																																																																					
											2 1	御船	御船																																																																																																					
											3 3	越戸 花本	越戸																																																																																																					
											4 1	西広瀬	西広瀬																																																																																																					
											1 5	東広瀬 小峯 力石 藤沢 富田	東広瀬、力石、藤沢																																																																																																					
											2 2	寺下 成合	寺下																																																																																																					
											3 4	中金 芳友 野口 中切	中金、野口																																																																																																					
											1 1	1 2	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	12	194	第2方面隊	1	1 1	高橋	高橋																																																																																										
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	41				198	第3方面隊	1	2 1	大林	大林																																																																																							
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	61							229	第4方面隊	1	3 2	渡刈 豊栄	渡刈、豊栄																																																																																				
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	31										229	第4方面隊	2	4 1	永覚	永覚																																																																																	
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	22													229	第4方面隊	3	1 1	上郷	上郷																																																																														
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	50																229	第4方面隊	4	2 2	畝部東(中切) 榎塚東	畝部東																																																																											
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	58																			229	第4方面隊	5	3 1	配津	配津																																																																								
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	65																						229	第4方面隊	1	4 2	福受 和会	福受、和会																																																																					
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	61																									229	第4方面隊	2	1 1	土橋	土橋(牛)																																																																		
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																												229	第4方面隊	3	2 1	本	本																																																															
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																															229	第4方面隊	4	3 1	中	中																																																												
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																		229	第4方面隊	1	1 1	若林	若林																																																									
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																					229	第4方面隊	2	2 1	中根	中根																																																						
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																								229	第4方面隊	3	3 1	花園	花園																																																			
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																											229	第4方面隊	4	1 2	堤 上丘	堤、上丘																																																
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																														229	第4方面隊	5	2 2	西岡 前林	西岡、前林																																													
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																																	229	第4方面隊	1	3 2	駒場 中田	駒場																																										
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																																				229	第4方面隊	2	1 2	八草 広幡	八草																																							
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																																							229	第4方面隊	3	2 2	大畑 篠原	篠原																																				
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																																										229	第4方面隊	4	3 3	保見 東保見 田初	保見、田初																																	
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																																													229	第4方面隊	1	4 2	貝津 伊保	貝津、伊保																														
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																																																229	第4方面隊	2	1 2	猿投 加納	猿投、加納																											
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																																																			229	第4方面隊	3	2 2	亀首 舞木	亀首																								
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																																																						229	第4方面隊	4	3 2	乙部	乙部																					
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																																																									229	第4方面隊	1	1 1	四郷	四郷																		
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																																																												229	第4方面隊	2	2 1	御船	御船															
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																																																															229	第4方面隊	3	3 3	越戸 花本	越戸												
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																																																																		229	第4方面隊	4	4 1	西広瀬	西広瀬									
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																																																																					229	第4方面隊	1	1 5	東広瀬 小峯 力石 藤沢 富田	東広瀬、力石、藤沢						
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																																																																								229	第4方面隊	2	2 2	寺下 成合	寺下			
											1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	44																																																																																											229	第4方面隊	3	3 4	中金 芳友 野口 中切	中金、野口

消 防 団

1	1	1	1	2	18	108	第5方面隊	1	1	1	木瀬	木瀬 (ボ)		
		1	1	2	18			2	1	1	藤岡飯野	藤岡飯野 (ボ)		
		1	1	2	14			2	1	1	西中山	西中山		
		1	1	2	7			2	1	1	深見	深見		
	1	1	2	9	13	3	1	1	御作	御作				
	1	2	3	9	23	4	1	1	白川	白川				
	1	1	2	5	23	4	2	1	折平	折平				
	1	1	1	17	77	第6方面隊	1	1	1	大平	大平 (ボ)			
	1	1	1	2			2	1	1	乙ケ林	乙ケ林			
	1	1	1	9			3	1	1	北篠平	北篠平			
1	1	2	3	2			1	1	上仁木	上仁木				
1	1	2	2	23	2	2	1	雑敷	雑敷					
1	1	3	7	23	3	1	1	◎永太郎	永太郎					
1	1	3	8	18	3	1	1	小原	小原					
1	1	1	3	18	3	2	1	市場	市場					
1	1	1	1	2	23	215	第7方面隊	1	1	1	足助 (田町)	足助 (田町)		
		1	1	1	4			2	1	1	山谷	山谷		
		1	1	4	27			2	1	1	足助 (宮平)	足助 (宮平)		
		1	1	1	1			2	1	1	葛沢	葛沢		
		1	1	2	11			3	1	1	近岡	近岡		
		1	1	2	10			3	2	1	国谷	国谷		
	1	1	3	28	4	1	1	則定	則定					
	1	1	1	6	41	4	2	1	◎上佐切	上佐切				
	1	1	1	11	32	5	1	1	竜岡	竜岡				
	1	1	2	15	32	5	2	3	◎明川 ◎大多賀 ◎五反田	明川				
1	1	2	15	44	6	1	1	◎◎新盛	新盛					
1	1	2	9	44	6	2	2	◎大河原 ◎大蔵	大蔵					
1	1	2	10	44	6	3	2	◎御蔵 ◎月原	御蔵					
1	1	1	1	1	6	84	第8方面隊	1	1	1	◎◎下山田代 ◎花沢	下山田代、花沢		
		1	1	1	6			2	2	1	◎大沼	大沼 (ボ)		
		1	1	1	8			2	1	1	◎大沼	大沼 (ボ)		
		1	1	2	3			3	1	1	◎大沼	大沼 (ボ)		
		1	1	2	2			3	1	1	◎大沼	大沼 (ボ)		
		1	1	2	3			3	1	1	◎大沼	大沼 (ボ)		
	1	2	2	0	9	3	1	1	◎蘭 ◎和合	蘭、和合				
	1	1	1	0	9	3	2	1	◎蘭 ◎和合	蘭、和合				
	1	1	1	0	9	3	3	1	◎蘭 ◎和合	蘭、和合				
	1	1	2	7	29	4	1	1	◎阿蔵 ◎立岩 ◎野原	阿蔵、立岩、羽布				
1	1	2	6	29	4	2	2	◎阿蔵 ◎立岩 ◎野原	阿蔵、立岩、羽布					
1	1	2	6	29	4	3	2	◎阿蔵 ◎立岩 ◎野原	阿蔵、立岩、羽布					
1	1	1	2	1	5	56	第9方面隊	1	1	1	◎田津原	田津原		
		1	1	1	5			2	1	1	◎小渡	小渡 (ボ)		
		1	1	0	0			2	1	2	◎笹戸	笹戸		
		1	1	1	4			3	1	2	◎杉本 ◎太田	杉本		
		1	2	1	6			3	2	2	◎加塩 ◎榊野	榊野		
		1	1	1	3			12	4	1	1	◎榊本	榊本	
	1	1	1	4	12	4	2	1	◎伊熊					
	1	1	1	2	9	5	1	1	◎浅谷	浅谷				
	1	1	1	2	9	5	2	1	◎浅谷	浅谷				
	1	1	2	10	81	第10方面隊	1	1	1	◎◎稲武	稲武、稲武 (ボ)			
1	1	1	3	1			2	1	◎川手	川手				
1	1	1	5	3			1	1	◎大野瀬	大野瀬				
1	1	3	28	2			1	3	◎小田木 ◎黒田 ◎御所貝津	小田木、黒田、御所貝津				
1	1	2	17	21	3	1	2	◎武節 ◎桑原	武節 (ボ)、桑原					
0	0	0	1	2	25	28	28	広報指導部 部長+ (カラーガード隊9、ファイヤーガード隊11、PR隊7 ※ほか2名分団所属あり)						
	0	0	0	0	266	266	266	災害支援機能別 (1方面隊11) (2方面隊33) (3方面隊2) (4方面隊10) (静岡地区34) (小原地区15) (足助地区24) (下山地区34) (旭地区77 ※うち2名ラッパ隊機能別団員あり) (稲武地区26)						
	0	0	0	0	81	81	81	学生機能別団員 (中京大学25) (日本赤十字豊田看護大学37) (愛知工業大学0) (豊田工業高等専門学校3) (豊田地域看護専門学校16)						
1	3	10	43	120	205	1437	1805	1819	合計	43	115	171	165台	127台

●印は、シバウラ (85台) ◎は、トーハツ (82台) ※防災対策課管理分除く

その他

出動基準（災害発生場所によって車両選定が変更される場合があります。）

出動種別		出動区分	ポンプ車	救助 工作車	救急車	指揮車	はしご車	化学車	水槽車	資機材 搬送車	消火 排煙車	ドローン
火	小規模 建物	1次	2			1						
		2次	1									
	一般建物	1次	4	1	1	2			1			
		2次	2									
		3次	2									
	中層 建物	1次	4	1	1	2	1					
		2次	2				1		1			
		3次	2									
	高層 建物	1次	4	1	1	2	1					
		2次	2				1		1			
		3次	2									
	大規模 建物	1次	5	1	1	2	1	1	1			1
		2次	2									
	指定建物	1次	5	1	1	2	1	1	1			
		2次	2									
	特定 危険物	1次	5	1	1	2	1	2	1			
		2次	2									
	危険物	1次	3	1	1	2		1	1			
		2次	2					1	1			
		3次	2									
中層 危険物	1次	3	1	1	2	1	1	1				
	2次	2				1	1					
	3次	2										
高層 危険物	1次	3	1	1	2	1	1	1				
	2次	2				1	1					
	3次	2										
トンネル	1次	3	1	1	2			1			1	
	2次	2										
	3次	2										
林野	1次	3			1			1			1	
	2次	2			1			1				
	3次	2										
車両	1次	2		1	1							
	2次	2										
	3次	2										
鉄道	1次	2	1	2	2			1				
	2次	1	1	2					1			
	3次	2										
航空機	1次	2	1	2	2		1	1				
	2次	1					1	1				
	3次	2										
その他	1次	2			1							
	2次	1						1				
事後聞知	1次	1			1							

出動種別	小区分	出動区分	ポンプ車	救助工作車	救急車	指揮車	はしご車	化学車	水槽車	資機材搬送車	支援車	ドローン	
警	ガス	1次	1										
		2次		1		1							
戒	危険物	1次	1										
		2次				1		1	1				
探	水位	1次	1										
		2次	1										
索	一般	1次	1										
		2次				1							
その他	怪煙	1次	1										
		2次	1										
その他	ヘリ離着陸支援	1次	1										
救	一般	一般	1次	1	1	1	1						
		2次		1	1								
		3次	1										
		多数傷病者	1次	3	1	5	2				1	1	
		2次	1	1	3								
		3次	1		2								
	水難	一般	1次	2	1	1	2				1		1
		2次	2	1						1			
		3次	1										
	交通	一般	1次	1	1	1	1						
		2次	2	1	1								
		3次	1										
鉄道	多数傷病者	1次	3	1	5	2				1	1		
	2次	1	1	3									
	3次	1		2									
自然	一般	1次	2	1	2	2							
	2次	1	1	1	1	1						1	
	3次	1											
高所	一般	1次	1	1	1	1	1						
	2次	1											
	3次	1											
低所	一般	1次	1	1	1	1							
	2次	1											
	3次	1											
特殊	NBC	1次	3	1	1	2				1		1	
		2次	2	1									
		3次	1										
	爆発	1次	3	1	1	2					1		1
		2次	2	1	1								
		3次	1										
多数傷病者	1次	3	1	5	2					2	1	1	
	2次	1	1	3									
	3次	1		2									
山岳	一般	1次	2	2	1	2						1	
	2次	1	1	1									
	3次	1											
大規模	一般	1次	2	2	1	2						1	
		2次	1	1									
		3次	1										
	多数傷病者	1次	3	2	5	2					1	1	1
		2次	1	1	3								
		3次	1		2								
救急	救急	1次			1								
		2次			1								
	支援	搬送	1次	(1)	(1)	1						(1)	
搬送		1次	(1)	(1)	1						(1)		

* (1) はいずれか1隊

消防水利状況

令和8年4月1日現在

●消火栓 5,738基

管径別 (mm)	合計	5,738
	75未満	2
	75~ 300未満	5,180
	300以上	556

消火栓 地区別	合計	5,738
	猿投地区	1,148
	拳母地区	1,656
	高橋地区	650
	松平地区	277
	上郷地区	453
	高岡地区	1,057
	藤岡地区	494
	下山地区	3

■防火水槽 1,974基

容量別	合計	1,974
	40m ³ 以上	1,717
	40m ³ 未満	257

防火水槽 地区別	合計	1,974
	猿投地区	306
	拳母地区	245
	高橋地区	166
	松平地区	137
	上郷地区	89
	高岡地区	209
	藤岡地区	118
	小原地区	136
	足助地区	223
	下山地区	82
	旭地区	142
稲武地区	121	

◆指定水利 157か所

種類別	合計	157
	プール	85
	防火水槽	42
	池	21
	消火栓	1
	その他	3
	明治用水	5

月別気象状況

測定場所 豊田市消防本部

月 区分		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	最高値	最低値
雨量 (mm)	月積算	19.5	15.0	103.5	72.5	116.5	198.0	159.5	25.5	242.5	78.0	31.5	37.0	242.5	15.0
	日最大積算	15.0	6.5	25.5	26.5	25.5	59.5	56.5	20.0	194.0	20.5	14.5	12.5	194.0	6.5
風速 (m/s)	平均	2.9	3.6	3.3	3.2	2.7	2.4	2.9	2.6	2.5	2.3	2.5	2.9	3.6	2.3
	風向	北北西	北北西	北北西	北北西	南西	南西	南西	北東	北東	北東	北東	北北東	—	—
	最大瞬間	17.8	23.6	23.2	22.8	19.3	18.4	21.7	13.8	16.7	18.5	23.1	19.0	23.6	13.8
	最大瞬間風向	北北西	北	北	北北西	南東	北北西	南	北	北北西	北	北北西	北北西	—	—
気温 (℃)	平均	5.2	4.6	10.5	15.6	19.5	24.5	28.8	30.1	27.0	20.2	12.2	7.5	30.1	4.6
	最高	16.9	16.9	24.6	29.4	31.6	37.7	37.8	39.8	37.3	32.6	23.8	21.7	39.8	16.9
	最低	-3.3	-4.2	-0.5	3.1	7.3	12.7	21.0	23.4	17.3	6.5	1.4	-2.3	23.4	-4.2

* 最高値及び最低値は、10分間あたりの平均値（雨量・最大瞬間風速を除く。）。

○年間降雨日数 117日

○年間総雨量 1099.0mm

○時間最大降雨量 46mm 9月5日観測

豊田消防歌

吉田 稔 作 詞

片桐安夫 詩補作
作曲



みどり はぐくむ ころもの さとに うまれし われら ちいき のために



とーよ た しょう ぼう しめい に もえて さか



る もう か み も かえり み ず はげ



む ぞ きょう も ひ の ま も り

豊田消防歌

一 緑育くむ衣の里に

生まれしわれら地域ののために

豊田消防使命に燃えて

さかる猛火身も省みず

励むぞ今日も火の守り

二

東に流れる矢作の川に

誓うわれら市民のために

豊田消防団結かたく

迫る激流身も省みず

進むぞ今日も水の守り

三

西にそびえる七州の城

祈るわれら社会のために

豊田消防力を磨き

寄せる危難身も省みず

築くぞ今日も民の守り

「賛歌」豊田消防

岡田幸雄 作詞
片桐安夫 作曲

しちしゅうのぞむ さなげーやまー けやきの ゆうし あこーがれてー
せーいき はつーら つや くーしーんー の
わーかきちしが はせつどいそな えーも かーた く ゆ
るーぎなし とーよたしょうぼう わがほこり

「賛歌」豊田消防

一 七州望む猿投山

けやきの雄姿あこがれて
清気はつらつ躍進の
若き血潮がはせ集い
備えもかたくゆるぎなし
豊田消防わがほこり

二 流れは清し矢作川

ひまわりの灯に火がともし
あふれる勇気りんりんの
男一匹腕自慢
命を救い火を防ぐ
豊田消防わがほこり

三 衣の里のこの台地

ゆかしき歴史伝統を
永久に承け継ぐ丈夫ぞ
謹しみ磨く消防技
郷土の平和守るもの
豊田消防わがほこり

とよたの消防（第69号）

発行・編集 豊田市消防本部総務課
〒471-0879
豊田市長興寺5丁目17番地1
電話：0565（35）9717
FAX：0565（35）9709
メール：shoubou-soumu@city.toyota.aichi.jp

発行年月 令和8年5月

全国統一防火標語
(令和8年度)

火の確認
いい日を支える
いい習慣



WE
LOVE
とよた